

## サイバーショットの最新サポート情報

(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



## ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

## サイバーショットオフィシャル WEB サイト

<http://www.sony.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報をお届けしています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ..... <b>0120-333-020</b>	フリーダイヤル ..... <b>0120-222-330</b>
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ..... <b>050-3754-9577</b>	携帯電話・PHS・一部のIP電話 ..... <b>050-3754-9599</b>

※ 取扱説明書等の購入相談はこち  
らへお問い合わせください。



FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に  
「401」+「#」(本機や付属品)  
「404」+「#」(ソフトウェアPlayMemories Home)  
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1  
<http://www.sony.co.jp/>

# SONY®

DSC-RX1RM2

デジタルスチルカメラ

取扱説明書



4579865030

# ⚠ 警告 安全のために

→ 252 ~ 255ページも  
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



## 「安全のために」の注意事項を守る

### 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・  
においがしたら  
煙が出たら

- ➡ ① 電源を切る  
② 電池をはずす  
③ 相談窓口に連絡する

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

### ⚠ 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

### ⚠ 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

### ⚠ 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

### ⚠ 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

### 電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。



## 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 目次

安全のために .....	2
機能別目次 .....	12

## はじめに

お使いになる前に必ずお読みください .....	14
付属品を確認する .....	19
各部のなまえ .....	20
本体前面 .....	20
本体後面 .....	21
本体上面/側面 .....	22
本体底面 .....	24
ファインダーの使いかた .....	25
アイピースカップ(付属)を取り付ける .....	26
画面表示一覧 .....	28
モニターの画面表示 .....	28

## 機能一覧

ボタン/ダイヤルで選ぶ機能 .....	32
クイックナビの使いかた .....	33
操作方法を確認する .....	35
コントロールホイールの使いかた .....	35
コントロールダイヤルの使いかた .....	35
Fn (ファンクション)ボタンで選ぶ .....	36
Fn (ファンクション)に登録できる機能 .....	37

MENU (メニュー)ボタンで選ぶ設定 .....	38
(撮影設定) .....	39
(カスタム設定) .....	44
(ワイヤレス) .....	48
(アプリケーション) .....	49
(再生) .....	49
(セットアップ) .....	50
カメラ内ガイドを見る .....	54

## 準備する

バッテリー (電池) を充電する .....	55
充電にかかる時間 .....	58
パソコンに接続して充電する .....	58
外部電源で本機を使う .....	59
バッテリーを取り出す .....	60
メモリーカード(別売)を入れる .....	61
メモリーカードをフォーマットする .....	62
使用できるメモリーカード .....	62
日付と時刻を設定する .....	64
日時やエリアを確認する/合わせ直す .....	65
手ブレを抑えてきれいに撮る .....	66
正しく構える .....	66
動画の手ブレ補正 .....	67

## 基本撮影／再生

静止画を撮る .....	68
動画を撮る .....	70
再生する .....	71
静止画と動画を切り換える .....	72
削除する .....	73

## 撮影モードを変える

撮影モードを変える .....	74
モードダイヤルを回したときに希望のモードを選べるようにする .....	75
<b>AUTO</b> オートモード .....	75
<b>SCN</b> シーンセレクション .....	77
<b>■</b> スイングパノラマ .....	80
<b>P</b> プログラムオート .....	83
<b>A</b> 紋り優先 .....	84
<b>S</b> シャッタースピード優先 .....	85
<b>M</b> マニュアル露出 .....	87
<b>M</b> バルブ撮影 .....	89
撮影モードごとの設定可能機能 .....	91

## 画面の表示を変える

画面の表示を変える (DISP) .....	92
使用する画面表示を選ぶ .....	93
ヒストグラム .....	95
ライブビューの見えかたを変更する .....	96

## ピントを合わせる

ピントを合わせる .....	97
オートフォーカス .....	97
フォーカスロック .....	99
フォーカスエリア .....	100
<b>AF</b> 補助光 .....	102
<b>AF</b> プリAF .....	103
位相差AFエリア表示 .....	103
コンティニュアスAFエリア表示 .....	103
AF-S時の優先設定/AF-C時の優先設定 .....	104
マニュアルフォーカス .....	104
ピントが合った部分を強調表示する (ピーチング) .....	105
ピント拡大 .....	106
ダイレクトマニュアルフォーカス(DMF) .....	107
<b>MF</b> アシスト .....	107

AF/MFコントロール	108
瞳AF	108

## 明るさを調整する

露出補正	110
AEロック	113
測光モード	114

## ドライブ機能を使う

ドライブモードを選ぶ	115
プラケット撮影	117

## 応用撮影

ローパスフィルター効果を設定する	120
フラッシュ（別売）を使う	121
ワイヤレスフラッシュ	123
スローシンクロ	124
使用可能なフラッシュモード	125
調光補正	126
ISO感度を設定する	127
マルチショットNR	128
ISO AUTO低速限界	128
明るさ、コントラストを自動補正する	
(DRO/オートHDR)	130
Dレンジオプティマイザー	130
オートHDR	131
画像の仕上がりを設定する	133
ピクチャーエフェクト	133
クリエイティブスタイル	135
色合いを調整する（ホワイトバランス）	138
色温度・カラーフィルター	140
カスタムホワイトバランス	140
画像サイズを変える	142
$\blacksquare$ 画像サイズ	142
パノラマ：画像サイズ	142

画像の横縦比と画質を設定する	143
 横縦比	143
 画質	143
 RAW記録方式	144
顔を検出する	145
個人顔登録	147
オートフレーミング	148
スマイルシャッター	150
ズームする	152
ワンプッシュでズームする (スマートテレコンバーター)	152
ズーム機能を使う	153
画像ノイズを減らす	155
 長秒時NR	155
 高感度NR	155
色空間を設定する	157

## 動画撮影の設定

動画撮影の設定	158
動画の記録フォーマットについて	159
動画の設定を変更して撮影する	160
 記録方式	161
 記録設定	161
同時ビデオ記録	163
録音レベル	164
音声レベル表示	165
音声の記録について	165

# 再生機能を使う

再生時の機能を使う .....	166
静止画と動画を切り換える(ビューモード) .....	166
拡大して見る .....	166
一覧表示で見る .....	167
回転 .....	169
スライドショー .....	169
記録画像の回転表示 .....	170
保護する(プロテクト) .....	171
プリント指定する .....	172
画像を選択する .....	172
日付を入れる .....	173
削除する .....	174
画像選択削除 .....	174
まとめて画像を削除する .....	175
テレビやモニターにつなぐ .....	176
HDMI設定 .....	178
プラビア™リンク .....	179
4K静止画再生 .....	180

# カメラをカスタマイズする

本体の設定を変更する .....	181
メモリーカードなしレリーズ .....	181
オートレビュー .....	181
グリッドライン .....	181
■マーカー設定 .....	182
カスタムキー (撮影) .....	183
カスタムキー (再生) .....	186
モニター明るさ .....	186
ファインダー明るさ .....	187
表示画質 .....	187
パワーセーブ開始時間 .....	188
FINDER/MONITOR .....	188
□日付書き込み .....	188
著作権情報 .....	189

レンズ補正を設定する .....	190
レンズ補正(周辺光量) .....	190
レンズ補正(倍率色収差) .....	190
レンズ補正(歪曲収差) .....	190
メモリーカードへの記録方法を設定する .....	191
フォーマット .....	191
ファイル番号 .....	191
フォルダー形式 .....	192
記録フォルダー選択 .....	192
フォルダー新規作成 .....	193
管理ファイル修復 .....	193
アップロード設定(Eye-Fi) .....	194
好みの設定を登録する .....	196
本機に設定を登録する .....	196
本機のバージョンを確認する .....	198

## Wi-Fiを使う

Wi-Fi/NFCワンタッチ機能を使う .....	199
スマートフォン用アプリをインストールする (PlayMemories Mobile™) .....	199
スマートフォンにカメラの画像を転送する .....	200
スマートフォンをリモコンとして使う .....	202
Wi-Fiでパソコンに画像を保存する .....	203

## カメラに機能を追加する

カメラに機能を追加する	
(PlayMemories Camera Apps) .....	205
アプリケーションをダウンロードする .....	205
アプリケーションを起動する .....	206
アプリケーションをアンインストールする .....	207

# パソコンでできること

RAW画像を現像する(Image Data Converter) .....	208
Image Data Converterをインストールする .....	208
パソコンへ画像を取り込んで活用する	
(PlayMemories Home) .....	209
PlayMemories Homeをインストールする .....	210
パソコンからカメラを操作する	
(Remote Camera Control) .....	211
Remote Camera Controlをインストールする .....	211
本機とパソコンを接続する .....	212
USB接続方法を設定する .....	212
USB接続モードを設定する(USB LUN設定) .....	213
パソコンと接続する .....	213
画像を取り込んで見る(Windows) .....	214
画像を取り込んで見る(Mac) .....	215
パソコンとの接続を切断する .....	216
動画のディスクを作成する .....	217
動画ディスクの作りかたを選ぶ .....	217
パソコンで動画ディスクを作成する .....	218
パソコン以外の機器で動画ディスクを作成する .....	219

## 困ったときは／本機について

困ったときは .....	220
警告表示.....	229
本体のお手入れ.....	232
使用上のご注意.....	233
海外で使用するには .....	235
メモリーカードについて .....	236
バッテリーの充電について .....	238
ライセンスについて.....	240
保証書とアフターサービス.....	241
ヘルプガイドについて .....	242
撮影可能枚数/時間を確認する .....	243
バッテリーの使用時間と撮影/再生可能枚数.....	244
主な仕様.....	247
安全のために .....	252

<b>索引.....</b>	<b>256</b>
----------------	------------

# 機能別目次

ここでは、撮影でよく使う機能や、本機の特徴的な機能をピックアップして紹介します。

詳細は、( )内のページをご覧ください。

## よく使う撮影機能

### 露出補正(110)

露出を補正して、画像全体の明るさを補正します。

本機では、露出モード「M」でも、ISOがオートなら露出補正が可能です。

### ISO感度(127) /マルチショットNR (128)

明るさに対する感度を設定します。

ISO50 ~ 102400の範囲で調整可能です。

### ホワイトバランス(138)

色合いの調整を行います。

光源に適した色合いにしたり、色温度・カラーフィルターの組み合わせによる微調整も可能です。

### ドライブモード(115)

1枚撮影、連写、ブラケットなどの目的に合わせて撮影方法を変えることができます。

### フォーカスマード(97) /フォーカスエリア(100)

ピント合わせについてさまざまな設定を変更できます。

ピント合わせの方式や位置を、被写体に合わせてお好みで設定できます。

### ピント拡大(106) /MFアシスト(107)

マニュアルフォーカス時に画像を拡大して、ピントを確認しやすくします。

## 本機の特徴的な機能

### 42M静止画撮影(142)

非常に高解像の静止画撮影ができます。

### ファインダーで撮る(25)

本機に内蔵されているポップアップファインダーで撮影できます。

### ローパスフィルター効果(120)

被写体に合わせてローパスフィルター効果を変更できます。

### 高速・正確なオートフォーカス機能(97)

コントラストAF方式と399点検出の位相差AF方式を併用した、高速で正確なオートフォーカス。

### マクロモード(69)

花や料理などに近づいて撮るときに適しています。

## 本機の操作方法/カスタマイズ

### 表示情報(92)

本機はファインダーを上げた状態で目を近づけるとファインダー表示になり、離すとモニター表示になります(お買い上げ時の設定)。コントロールホイールのDISPを押すことで、表示内容を変えることができます。

### クイックナビ(33)

ファインダー撮影用画面のときにFnボタンを押すと、モニターが設定画面に移行します。コントロールダイヤル、コントロールホイールを使って直感的な操作が可能です。

### カスタマイズ(183)

本機にはお好みの機能を割り当てられるカスタムボタンがあります。また、AELボタンなどにも、お好みの機能を割り当てられます。

# お使いになる前に必ずお読みください

## 表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

## 撮影方法について

本機はモニターを使用して撮影するモニターモードと、ファインダーを使用して撮影するファインダーモードの2通りの撮影方法が可能です。

## 本機搭載の機能について

- ・本機は1080 60i記録対応機です。
- ・本機は1080 60p記録対応機です。従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するとの異なり、1080 60pではプログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

## 管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Home™ですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

## 撮影・再生に際してのご注意

- ・メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおおすすめします。

フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- ・長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](191ページ)を行ってください。
- ・必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- ・本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(233ページ)。

## メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたりすると、メモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

## 撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかつた場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。

## ZEISSレンズ搭載

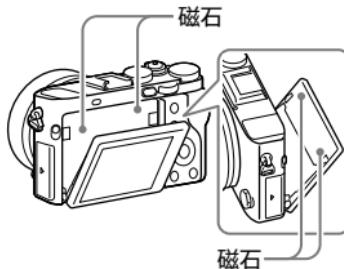
本機はZEISSレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。

本機のレンズは、ドイツカールツァイスの品質基準に基づき、カールツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

## モニターおよびファインダー、レンズ、イメージセンサーについてのご注意

- モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターやファインダー部を持って本機を持ち運ばないでください。
- ファインダーを下げるときに指をはさまないように注意してください。
- 上がったファインダー部に水滴や砂埃が付着すると故障の原因になります。
- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。カメラの内部が故障することがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。

- カメラ本体とモニターの裏には磁石が設置されています。フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物を挟まないでください。



- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。また、初めは画面が通常よりも少し暗くなります。本機内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。

## アクセサリーについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するよう設計されたソニー製アクセサリーのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## マルチインターフェースシューリーについてのご注意

- フラッシュなどのアクセサリーを本機のマルチインターフェースシューリーに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、最後まで差し込んでからネジを締め、本機にしっかりと固定されていることを確認してください。
- シンクロ端子が高電圧な市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用すると故障の原因になりますので使わないでください。

## ファインダーでの撮影について

高解像度、高コントラスト有機ELファインダーを搭載しています。視認性の良いファインダーを実現するため、様々な要素のバランスを重視した設計を行い、広い視野角と、長いアイポイントを実現しています。

- ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
- ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。

- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出ることがあります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

## 長時間撮影についてのご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

## XAVC S動画とAVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

XAVC S動画とAVCHD動画をパソコンに取り込むときは、ソフトウェア PlayMemories Homeを下記からインストールして使用してください。

<http://www.sony.net/pm/>

## 他機での動画再生に際してのご注意

- 本機で記録した動画は本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また他機で記録した動画は本機で再生できない場合があります。
- 本機で記録したAVCHD動画から作成したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。  
DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、AVCHD動画から作成したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は、対応機器以外では再生できません。
- XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

## 著作権についてのご注意

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- [著作権情報]の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときには、[撮影者名設定]と [著作権者名設定]欄は必ず空欄にしてください。
- [著作権情報]の使用によってトラブルや損害が生じても、弊社では一切の責任を負いかねます。

## 本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

## 本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温(25°C)下でのものです。バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

## 無線に関連する機能(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、[飛行機モード]で一時的に無効にできます。

## 認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。

MENUボタン →  (セットアップ) → [認証マーク表示]を選択してください。本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談下さい。

## この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2



この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

## ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

## ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

## ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

# 付属品を確認する

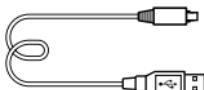
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

( )内の数字は個数です。

- カメラ(1)
- ACアダプター (1)  
ACアダプターの形状は、国/地域により異なります。
- バッテリーチャージャー (1)
- リチャージャブルバッテリー パックNP-BX1 (1)



- マイクロUSBケーブル(1)



- ショルダーストラップ(1)



取り付けかたは22ページをご覧ください。

- レンズキャップ(1)



- シューキヤップ(1) (本機に装着)
- アイピースカップ(1)



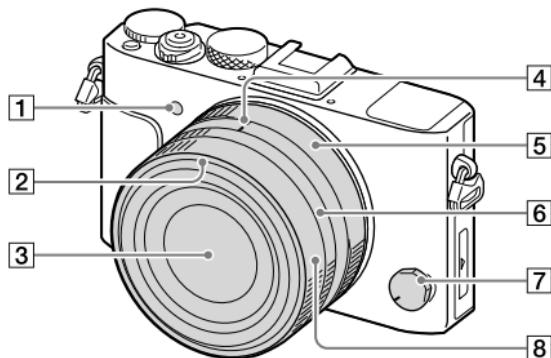
取り付けかたは26ページをご覧ください。

- クリーニングクロス(1)
- 取扱説明書(1)(本書)
- 保証書(1)

# 各部のなまえ

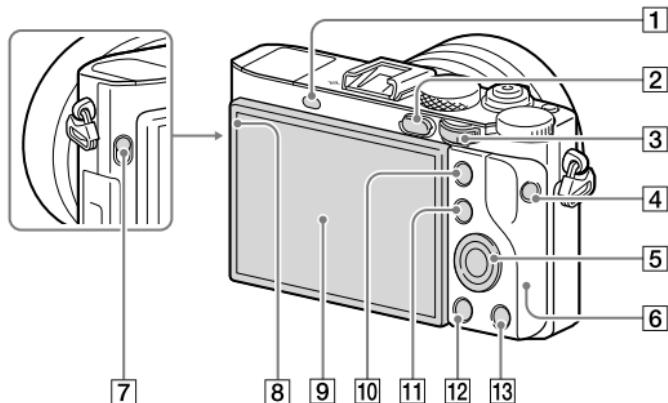
( )内の数字は参照ページです。

## 本体前面



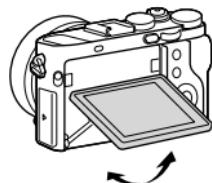
- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| <b>①</b> AF補助光発光部(102) /<br>セルフタイマーランプ<br>(115) | <b>⑤</b> 絞りリング(84)            |
| <b>②</b> レンズフード指標                               | <b>⑥</b> マクロ切り替えリング<br>(69)   |
| <b>③</b> レンズ                                    | <b>⑦</b> フォーカスモードダイヤル<br>(97) |
| <b>④</b> 絞り指標/マクロ切り替え指<br>標                     | <b>⑧</b> フォーカスリング(104)        |

## 本体後面



- [1] アイセンサー**
- [2] ▶(再生)ボタン(71)**
- [3] コントロールダイヤル(35)  
ムービー**
- [4] MOVIE(動画)ボタン(70)**
- [5] コントロールホイール(35)**
- [6] Wi-Fi受信部(内蔵)**
- [7] FINDER(ファインダーポップアップ)スイッチ(25)**
- [8] 明るさセンサー**
- [9] モニター(28、92)**

• モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



• 取り付ける三脚によってはモニターの角度が調整できなくなる場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからモニターの角度を調整してください。

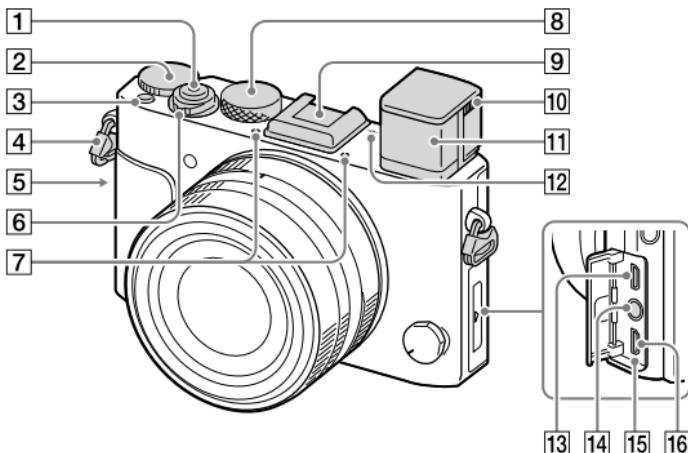
**[10] 撮影時 : AELボタン(32)  
再生時 : ⊕(拡大)ボタン(166)**

**[11] 撮影時 : Fnボタン(36、37)  
再生時 : ファンクションボタン(一覧表示)(167)**

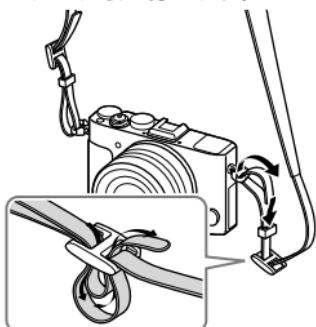
**[12] MENUボタン(38)  
メニュー**

**[13] 撮影時 : C2(カスタム2)ボタン(32)  
再生時 : 削除ボタン(73)**

## 本体上面/側面

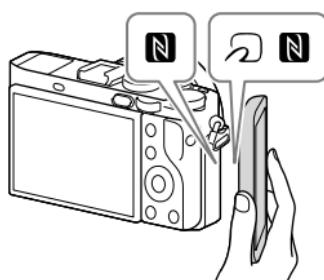


- ① シャッター ボタン (68)
- ② 露出補正 ダイヤル (110)
- ③ C1 (カスタム1) ボタン (32)
- ④ ショルダーストラップ取り付け部
  - ストラップの両方の先端をそ  
れぞれ取り付けます。



### ⑤ N (Nマーク) (199)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を接続するときにタッチします。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。



- NFC (Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

**[6] オン オフ (電源)スイッチ  
(64)**

**[7] 内蔵マイク<sup>\*1</sup>**

**[8] モードダイヤル(74)**

**[9] マルチインターフェース  
シュー<sup>\*2</sup> (121)**

- ファインダーを上げた状態では、一部のアクセサリーが取り付けられないことがあります。その場合は、ファインダーを下げるて使用してください。
- 一部のアクセサリーでは接続時にマルチインターフェースシュー後方からはみ出る場合がありますが、先端まで入っていれば取り付けできます。

**[10] 視度調整スライダー (25)**

- ファインダー内の画像表示がはっきり見えるように、ご自身の視度に合わせてスライダーを動かします。

**[11] ファインダー (25)**

**[12] ⊖ イメージセンサー位置表  
示(98)**

**[13] HDMIマイクロ端子(176)**

**[14] ✕ (マイク)端子<sup>\*3</sup> (165)**

- 外部マイクを接続すると自動的に外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

**[15] 充電ランプ**

**[16] マルチ/マイクロUSB端子<sup>\*2</sup>  
(213)**

- この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

<sup>\*1</sup>動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。

<sup>\*2</sup>マルチインターフェースシュー、マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/cyber-shot/>

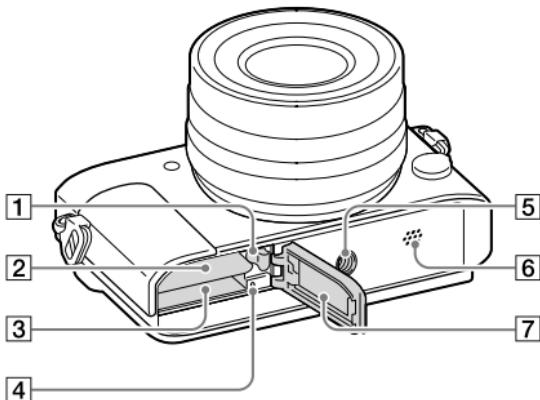
アクセサリーシューリー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。



**Accessory Shoe**

<sup>\*3</sup>外部マイクを接続すると、HDMIマイクロ端子とマルチ/マイクロUSB端子にケーブルを接続できなくなります。

## 本体底面



① バッテリーロックレバー

② バッテリー挿入口(56)

③ メモリーカード挿入口

(61)

④ アクセスランプ

⑤ 三脚ネジ穴

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使います。

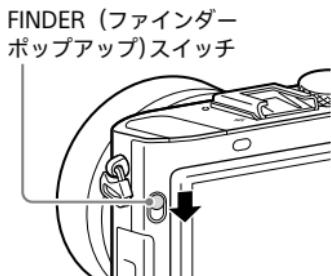
ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

⑥ スピーカー

⑦ バッテリー / メモリーカードカバー (56、61)

# ファインダーの使いかた

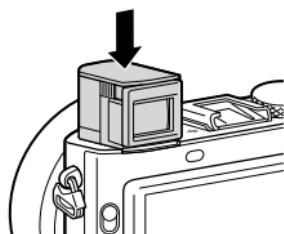
- 1** **FINDER (ファインダーポップアップ)スイッチ**を下げる、ファインダーを上げる。



- 2** 視度調整スライダーを動かして、ファインダー内の画像がはっきりと見えるように調整する。



**ファインダーを収納するには**  
ファインダーの上部を押し下げてください。

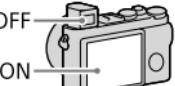
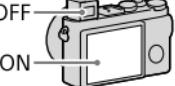


## ご注意

- ファインダーを上げるときに、ファインダー部を押さえないようにしてください。
- ファインダーを収納するときは、接眼部が途中で引っかかるないように、ファインダーをゆっくりと押し下げてください。
- ファインダー部をつかんでカメラを持ち運ばないでください。

## ファインダーとモニター表示の切り換えについて

ファインダーとモニターの表示は、ファインダーの状態と[FINDER/MONITOR]の設定(188ページ)によって異なります。

[FINDER/MONITOR] の設定	オート	ファインダー (マニュアル)	モニター (マニュアル)
ファインダーが閉じ ているとき			
ファインダーに目を 近づけているとき	 	 	 
ファインダーから目 を遠ざけているとき	 	 	 

## 電子ビューファインダー（別売）について

本機は、別売の電子ビューファインダー FDA-EV1MKに対応しています。別売の電子ビューファインダーを本機に装着しているときは、本機のファインダーは使用できません。

### ご注意

- 別売の電子ビューファインダー使用時は、[ファインダー明るさ](187ページ)は変更できますが、[ファインダー色温度](50ページ)は変更できません。

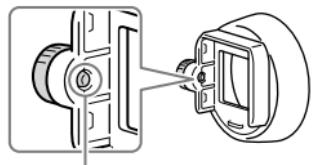
## アイピースカップ(付属)を取り付ける

アイピースカップを取り付けると、ファインダーと目の間から光が入りにくくなるため、ファインダーが見やすくなります。

- 1 FINDER（ファインダーポップアップ）スイッチを下げて、ファインダーを上げる(25ページ)。

## 2 ネジの先端がアイピースカップの内側に出でていないことを確認する。

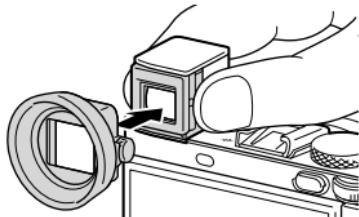
- ネジの先端が出ているときは、ネジを緩めてください。



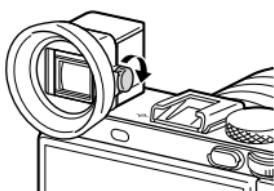
ネジの先端

## 3 フайнダーの接眼部を指で押さえながら、アイピースカップを差し込む。

- 「カチッ」という感触がするまで差し込んでください。



## 4 ネジを締めて固定する。



### アイピースカップを取りはずすには

アイピースカップのネジを緩めてから取りはずしてください。

#### ご注意

- アイピースカップを取り付けるとファインダーは収納できなくなります。
- アイピースカップを取り付けた状態でファインダーを押し下げないでください。本機やアイピースカップが破損するおそれがあります。
- アイピースカップを取り付けた状態で視度調整スライダー（25ページ）を動かしにくい場合は、アイピースカップを取りはずしてから視度を調整してください。
- アイピースカップを取り付けると、一部のアクセサリーが取り付けられなくなります。

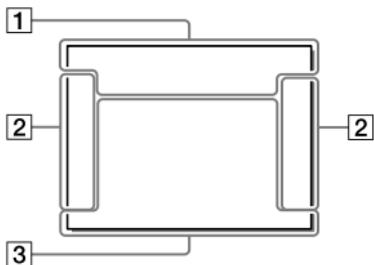
# 画面表示一覧

## モニターの画面表示

お買い上げ時は[全情報表示]になっています。

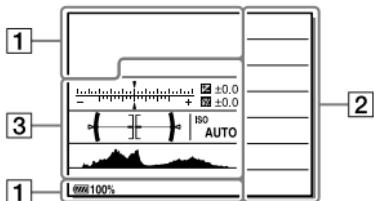
コントロールホイールのDISPを押すと、ファインダーを見ながら撮影するときのモニター表示になったり、ヒストグラムを表示できます(92ページ)。表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

### モニター撮影用

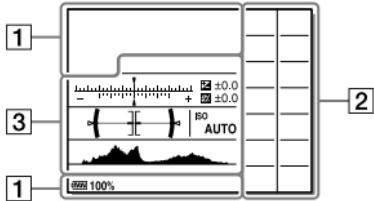


### ファインダー撮影用

オートモード/シーンセレクション時



P/A/S/M/スイングパノラマ時



### 再生時

基本情報画面



ヒストグラム画面



1

表示	意味
	撮影モード(74)
	登録番号(196)
	シーン認識マーク(76)
	メモリーカード(61, 236) / アップロード(194)
100	撮影可能枚数
3:2  4:3  16:9 1:1	静止画の画像横縦比(143)
42M 38M 36M 28M 18M 16M 15M 12M 11M 9.4M 8.9M 7.1M 	静止画の画像サイズ(142)
RAW RAW+J RAW RAW+J X.FINE FINE STD	静止画の画質(143)
120p 60p 60i 30p 24p	動画のフレームレート(161)

表示	意味
	動画の記録設定(161)
	バッテリー容量(59)
	バッテリー残量警告(59)
	USB給電中(59)
	フラッシュ充電表示(121)
	設定効果反映Off(96)
	AF補助光(102)
	NFC有効(199)
	飛行機モード(48)
	動画音声記録オフ(165)
	風音低減オン(165)
	手ブレ補正オフ/オン、手ブレ警告(67)
	温度上昇警告
	管理ファイルフル警告(230) / 管理ファイルエラー警告(230)
	スマートズーム/全画素超解像ズーム/デジタルズーム(153)

表示	意味
	ビューモード(166)
<b>100-0003</b>	フォルダーファイル番号(191)
	プロジェクト(171)
<b>XAVC S HD AVCHD MP4</b>	動画の記録方式(161)
<b>DPOF</b>	DPOF(プリント)指定(172)
<b>AUTO</b>	オートフレーミング 画像(148)
<b>50</b> <b>FH</b> <b>FX</b>	同時ビデオ記録(163)
<b>-PC-</b>	PCリモート(212)
	ブライトモニタリング(185)
<b>④</b>	著作権情報書き込み オン(189)

表示	意味
	調光補正(126)
 	フォーカスモード(97)
	フォーカスエリア(100)
	顔検出(145) /スマイルシャッター(150)
	測光モード(114)
	ホワイトバランス(オート、プリセット、カスタム、色温度、カラーフィルター)(138)
	Dレンジオプティマイザー(130) /オートHDR(131)
	ローパスフィルター効果(120) /ローパスフィルター効果切り換え中警告
	クリエイティブスタイル(135) /コントラスト、彩度、シャープネス

表示	意味
      	ドライブモード (115)
           	BRK C    BRK S 0.3EV3  0.3EV3             
           	BRK    BRK WB HI DRO LO             
           	BRK C    BRK LPF    WB HI            
           	FLASHER MODE (121) / 赤目軽減 (122)

表示	意味
     	ピクチャーエフェクト (133)
[ ]	スマイル検出感度インジケーター (150)
(C)	著作権情報あり (189)
PEAK PEAK HI MID PEAK PEAK LO OFF	ピーキング (105)

## 3

表示	意味
●ロック オンAF	ロックオンAF用ガイド表示 (100)
-5+5+5+5+5+5+	プラケットインジケーター (88、118)
	露出補正 (110) / メータードマニュアル (88)
STBY	動画の録画スタンバイ
REC 0:12	動画の記録時間 (分 : 秒)
● (○) (○)	フォーカス (68、98)
1/250	シャッタースピード (85)
F3.5	絞り値 (84)

表示	意味
ISO400	ISO感度 (127)
ISO AUTO	
*	AEロック (113)
	シャッタースピードインジケーター (94)
	絞りインジケーター (94)
	ヒストグラム (95)
	水準器 (94)
CH1  CH2	音声レベル (165)
D-R OFF DRO 	Dレンジオプティマイザー (130) / オート HDR/オートHDR画像警告 (131)
	ピクチャーエフェクトエラー (134)
2015 - 1 - 1 10:37PM	撮影日時
3/7	画像番号/ビューモード内画像枚数
	スポット測光サークル (114)
	スマートテレコンバーター (152)
	マクロ (69)

# ボタン/ダイヤルで選ぶ機能

下記のボタンを使って、それぞれの機能を設定、または操作できます。  
各ボタンの配置は「各部のなまえ」をご覧ください(20ページ)。

モードダイヤル(74)	撮影モードを切り換える。
MENUボタン(38)	メニュー画面を表示する。
MOVIEボタン(70)	動画を撮影する。
AELボタン(113) / $\oplus$ ボタン(166)	画面全体の露出を固定する/再生時に画像を拡大する。
Fnボタン(33、36、37) / ボタン(167)	Fnボタンを使って設定する機能の設定画面を表示する。[ファインダー撮影用]画面では、クリックナビ画面に入る/画像を一覧表示する。
露出補正ダイヤル(110)	露出補正值を選ぶ。
ボタン(71)	画像を再生する。
■ボタン(73) / C2ボタン(183)	再生時に画像を削除する/撮影時によく使う機能のボタンにする。お買い上げ時は機能を割り当てられていません。
C1ボタン(183)	よく使う機能のボタンにする。撮影時と再生時で別の機能を割り当てられる。お買い上げ時は下記の機能が割り当てられている。 撮影時：ISO感度 再生時：カスタムキー（撮影）に従う
フォーカスマードダイヤル(97)	被写体の動きに応じたピント合わせの方法に設定する。
マクロ切り替えリング(69)	より近距離で被写体を撮影したい場合にモードを変更する。
絞りリング(84)	絞り値(F値)を手動で設定する。
フォーカスリング(104)	ピントの合う距離を手動で設定する。
FINDERスイッチ(25)	ポップアップファインダーを上げる。

# クイックナビの使いかた

ファインダー撮影用画面のとき、変更したい項目をダイレクトに操作できます(クイックナビ)。

**1 MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [DISPボタン] → [背面モニター]で[ファインダー撮影用]を選び、[実行]を選ぶ。**

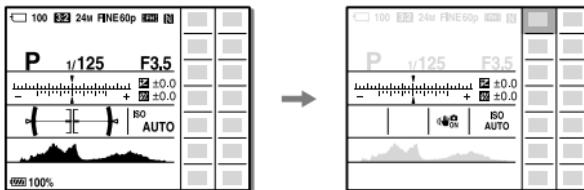
**2 コントロールホイールのDISPを押して、[ファインダー撮影用]画面にする(92ページ)。**

**3 Fnボタンを押してクイックナビ画面にする。**

オートモード/シーンセレクション時



P/A/S/M/スイングパノラマ時



• 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

**4 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押して、設定する機能を選ぶ。**

## 5 コントロールホイールを回して希望の設定にする。

- 一部の機能は、コントロールダイヤルを回して微調整値の設定もできます。
- 項目を選んでいるときにコントロールホイール中央の●を押すと、その項目設定用の専用画面になります(36ページ)。
- もう一度Fnボタンを押すと、クイックナビ画面から元の画面に戻ります。

### クイックナビで選択可能な機能

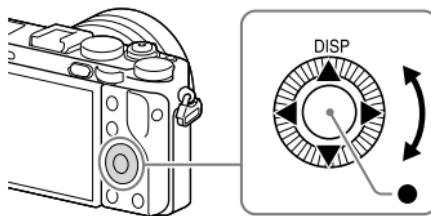
ライブモード	フラッシュモード	調光補正
フォーカスエリア	露出補正	ISO感度
測光モード	ホワイトバランス	DRO/オートHDR
クリエイティブスタイル	ピクチャーエフェクト	ローパスフィルター効果
顔検出/スマイルシャッター	画像サイズ	横縦比
画質	手ブレ補正	オートモード
シーンセレクション	ピーリングレベル	

### ご注意

- クイックナビ画面でグレーになっている項目は、変更できません。
- [クリエイティブスタイル](135ページ)では、専用画面に入らないと操作できない設定もあります。

# 操作方法を確認する

## コントロールホイールの使いかた



- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は中央の●を押すと決定されます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。
- コントロールホイールの▲には画面表示切換(DISP)の機能が割り当てられています(92ページ)。
- 撮影時の▼/◀/▶/●ボタンと回転操作には好みの機能を割り当てられます(183ページ)。
- 再生時に、コントロールホイールを回したり、◀/▶を押したりすると、前/次の画像を表示できます。

## コントロールダイヤルの使いかた



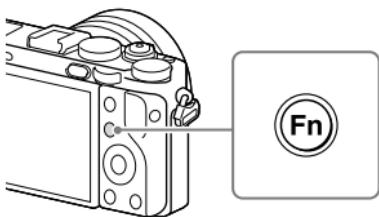
コントロールダイヤルを回して、撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

# Fn (ファンクション)ボタンで選ぶ

Fn (ファンクション)ボタンにはよく使う機能を12個まで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

**1 コントロールホイールのDISPを押して、[ファインダー撮影用]画面以外にする(92ページ)。**

**2 Fnボタンを押す。**

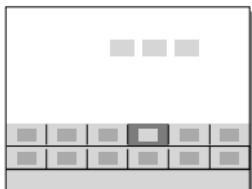


**3 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で設定したい項目を選ぶ。**

- 登録できる機能の一覧と、登録方法は37ページをご確認ください。

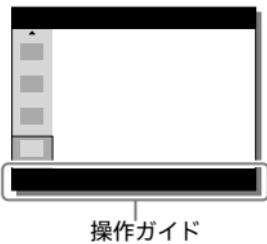
**4 コントロールホイールを回して  
希望の設定を選び、コントロール  
ホイール中央の●を押す。**

- 一部の機能は、コントロールダイヤル  
を回して設定値の微調整もできます。



## 専用画面で設定するには

手順3で、設定した項目を選んで中央の  
●を押すと、その項目の専用設定画面  
になります。操作ガイドに従って設定  
してください。



## Fn (ファンクション)に登録できる機能

Fn (ファンクション)ボタンを押したときに表示される機能を選べます。

**MENUボタン → Ⓜ(カスタム設定) → [ファンクションメニュー設定] → 希望の場所に機能を設定する。**

Fnボタンで設定できる機能は以下のとおりです。

ドライブモード	ブラケット時のセルフタイマー	フラッシュモード
調光補正	フォーカスエリア	露出補正
ISO感度	ISO AUTO低速限界	測光モード
ホワイトバランス	DRO/オートHDR	クリエイティブスタイル
撮影モード	ピクチャーエフェクト	ローパスフィルター効果
中央ボタン押しロックオンAF	顔検出/スマイルシャッター	美肌効果
オートフレーミング	画像サイズ	横縦比
画質	手ブレ補正	録音レベル
ゼブラ	グリッドライン	マーカー表示
音声レベル表示	ピーキングレベル	ピーキング色
未設定		

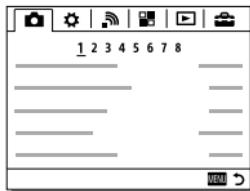
# MENU (メニュー)ボタンで選ぶ設定

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する基本設定を変更したり、機能の実行を行えます。

**1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。**

**2 コントロールホイールを回したり、  
▲/▼/◀/▶を押したりして設定し  
たい項目を選び、中央の●を押す。**

- 画面上部のアイコンを選んで、◀/▶を押すと他のメニューへ移動できます。



**3 設定値を選択して、中央の●を押して決定する。**

**タイルメニューを表示するには**

MENUボタンを押したときに、タイルメニューを表示するかを設定します。

MENUボタン → (セットアップ)  
→ [タイルメニュー] → [入]を選ぶ。



タイルメニュー

 (撮影設定)

 <b>画像サイズ(142)</b>	静止画のサイズを選択する。 (L:42M/M:18M/S:11M (3:2のとき) L:38M/M:16M/S:9.4M (4:3のとき) L:36M/M:15M/S:8.9M (16:9のとき) L:28M/M:12M/S:7.1M (1:1のとき))
 <b>横縦比(143)</b>	静止画の横縦比を選択する。 (3:2/4:3/16:9/1:1)
 <b>画質(143)</b>	静止画の画質を設定する。 (RAW/Raw+JPEG/エクストラファイン/ ファイン/スタンダード)
 <b>RAW記録方式 (144)</b>	RAW画像の記録方式を選択する。 (圧縮/非圧縮)
 <b>パノラマ：画像サイズ (142)</b>	パノラマ画像のサイズを選択する。 (標準/ワイド)
 <b>パノラマ：撮影方向 (82)</b>	パノラマの撮影方向を設定する。 (右/左/上/下)
 <b>記録方式(161)</b>	動画を記録するときの記録方式を設定する。 (XAVC S HD/AVCHD/MP4)
 <b>記録設定(161)</b>	動画のサイズを選択する。 (60p 50M/30p 50M/24p 50M/ 120p 50M (XAVC S HDのとき) 60i 24M(FX)/60i 17M(FH)/ 60p 28M(PS)/24p 24M(FX)/ 24p 17M(FH) (AVCHDのとき) 1920×1080 60p 28M/ 1920×1080 30p 16M/ 1280×720 30p 6M (MP4のとき))

<b>同時ビデオ記録(163)</b>	XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画を同時に記録するかを設定する。 (入/切)
<b>ドライブモード(115)</b>	連続撮影などの撮影方法を設定する。 (1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/ セルフタイマー/セルフタイマー(連続)/ 連続ブラケット/1枚ブラケット/ ホワイトバランスブラケット/ DROブラケット/ ローパスフィルターブラケット)
<b>ブラケット設定(119)</b>	ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。 (ブラケット時のセルフタイマー/ ブラケット順序)
<b>フラッシュモード(121)</b>	フラッシュの発光方式を設定する。 (発光禁止/自動発光/強制発光/ スローシンクロ/後幕シンクロ/ ワイアレス)
<b>調光補正(126)</b>	フラッシュの発光量を調整する。 (-3.0EV ~ +3.0EV)
<b>赤目軽減発光(122)</b>	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。 (入/切)
<b>フォーカスエリア(100)</b>	ピント合わせの位置を選ぶ。 (ワイド/中央/フレキシブルスポット/ 拡張フレキシブルスポット/ロックオンAF)
<b>AF補助光(102)</b>	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 (オート/切)

<b>露出補正(110)</b>	画像全体の明るさを補正する。 (-5.0EV ~ +5.0EV)
<b>ISO感度(127)</b>	ISO感度を設定する。 (マルチショットNR/ISO AUTO/ISO 50 ~ ISO 102400)
<b>ISO AUTO低速限界 (128)</b>	ISO AUTO時に、ISO感度が変わり始める 低速側のシャッタースピードを設定する。 (より高速/高速/標準/低速/より低速/ 1/4000 ~ 30")
<b>測光モード(114)</b>	明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ/中央重点/スポット)
<b>ホワイトバランス (138)</b>	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色 合いを調整する。 (オート/太陽光/日陰/曇天/電球/ 蛍光灯：温白色/蛍光灯：白色/ 蛍光灯：昼白色/ 蛍光灯：昼光色/ フラッシュ /色温度・カラーフィルター / カスタム1 ~ 3/カスタムセット)
<b>DRO/オートHDR (130)</b>	明るさ、コントラストを自動補正する。 (切/Dレンジオプティマイザー / オートHDR)
<b>クリエイティブスタイル (135)</b>	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整も できる。 (スタンダード/ビビッド/ニュートラル/ クリア/ディープ/ライト/ポートレート/ 風景/夕景/夜景/紅葉/白黒/セピア/ スタイルボックス1 ~ 6)

<b>ピクチャーエフェクト (133)</b>	好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ポスタリゼーション/レトロフォト/ソフトハイキー/パートカラー/ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/水彩画調/イラスト調)
<b>ズーム(152)</b>	ズームの倍率を設定する。
<b>ピント拡大(106)</b>	撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。
<b>包围長秒時NR (155)</b>	シャッタースピードを1秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 (入/切)
<b>包围高感度NR (155)</b>	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (標準/弱/切)
<b>ローパスフィルター効果 (120)</b>	ローパスフィルター効果を設定する。 (切/標準/強)
<b>中央ボタン押しロックオンAF (101)</b>	撮影画面で中央ボタンを押したとき、被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定する。 (切/入)
<b>顔検出/スマイルシャッター (145)</b>	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。 (切/入(登録顔優先)/入/スマイルシャッター)
<b>包围美肌効果(146)</b>	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (入(高、中、低)/切)

<b>■オートフレーミング(148)</b>	人物の顔やマクロ撮影する被写体、またはロックオンAFでとらえた被写体を検出して、撮影するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。 (切/オート)
<b>オートモード(75)</b>	オート撮影の方法を選ぶ。 (おまかせオート/プレミアムおまかせオート)
<b>シーンセレクション(77)</b>	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 (ポートレート/スポーツ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート/人物ブレ軽減)
<b>動画(70、158)</b>	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/シャッタースピード優先/マニュアル露出)
<b>手ブレ補正(67)</b>	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。 (入/切)
<b>■色空間(157)</b>	再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB/AdobeRGB)
<b>■オートスローシャッター(160)</b>	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 (入/切)
<b>音声記録(165)</b>	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 (入/切)
<b>録音レベル(164)</b>	録音レベルを調整する。 (0 ~ 31)
<b>風音低減(165)</b>	動画撮影時、風音を低減する。 (入/切)

<b>登録(196)</b>	好みのモード、カメラの設定を登録する。 (1 ~ 3)
----------------	--------------------------------

## ✿ (カスタム設定)

<b>ゼebra(112)</b>	明るさ調整の目安になる縞表示を設定する。 (切/70 ~ 100/100+)
<b>MFアシスト(107)</b>	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 (入/切)
<b>ピント拡大時間</b>	拡大表示する時間を設定する。 (2秒/5秒/無制限)
<b>グリッドライン(181)</b>	構図を合わせるための線を表示する。 (3分割/方眼/対角+方眼/切)
<b>マーカー表示(182)</b>	動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかを設定する。 (入/切)
<b>マーカー設定(182)</b>	動画撮影時に表示されるマーカーを設定する。 (センター / アスペクト / セーフティゾーン / ガイドフレーム)
<b>音声レベル表示(165)</b>	音声レベルを画面に表示するかどうかを選ぶ。 (入/切)
<b>オートレビュー (181)</b>	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 (10秒/5秒/2秒/切)
<b>DISPボタン(93)</b>	コントロールホイールのDISPを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。 (背面モニター / ファインダー)

<b>ピーリングレベル (105)</b>	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 (高/中/低/切)
<b>ピーリング色(105)</b>	輪郭を強調表示するピーリング表示の色を設定する。 (レッド/イエロー/ホワイト)
<b>露出設定ガイド</b>	撮影画面で露出設定を変更したときに表示するガイドの設定をする。 (切/入)
<b>ライブビュー表示 (96)</b>	モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 (設定効果反映On/設定効果反映Off)
<b>コンティニュアスAFエリア表示 (103)</b>	コンティニュアスAF時にフォーカスエリアを表示するかどうかを設定する。 (入/切)
<b>位相差AFエリア表示 (103)</b>	位相差AFのエリア表示を設定する。 (入/切)
<b>AFプリAF (103)</b>	シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。 (入/切)
<b>ズーム設定(153)</b>	全画素超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうか設定する。 (スマートズームのみ/ 入:全画素超解像ズーム/ 入:デジタルズーム)
<b>FINDER/MONITOR (188)</b>	電子ビューファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定する。 (オート/ファインダー(マニュアル)/モニター(マニュアル))

<b>メモリーカードなしレリーズ (181)</b>	メモリーカードが入っていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。(許可/禁止)
<b>AF-S時の優先設定 (104)</b>	フォーカスマードが[シングルAF]または[DMF]のときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。 (フォーカス優先/レリーズ優先/バランス重視)
<b>AF-C時の優先設定 (104)</b>	フォーカスマードが[コンティニュアスAF]のときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。 (フォーカス優先/レリーズ優先/バランス重視)
<b>▽シャッター半押しAEL</b>	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効。 (オート/入/切)
<b>露出補正の影響 (111)</b>	露出補正值をフラッシュの調光に反映するかどうかを設定する。 (定常光+フラッシュ / 定常光のみ)
<b>露出補正值のリセット (111)</b>	露出ダイヤルが0の状態で電源を切ったとき、現在値を保存するかどうかを設定する。 (保持/リセット)
<b>個人顔登録(147)</b>	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 (新規登録/優先順序変更/削除/全て削除)
<b>▽日付書き込み (188)</b>	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。 (入/切)

レンズ補正(190)	レンズ補正の種類を選ぶ。 (周辺光量補正/倍率色収差補正/ 歪曲収差補正)
ファンクションメニュー設定 (37)	Fn (ファンクション) ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 (ドライブモード/ ブラケット時のセルフタイマー/ フラッシュモード/調光補正/ フォーカスエリア/露出補正/ISO感度/ ISO AUTO低速限界/ 測光モード/ホワイトバランス/ DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ 撮影モード/ピクチャーエフェクト/ ローパスフィルター効果/ 中央ボタン押しロックオンAF/ 顔検出/スマイルシャッター/ 美肌効果/ <del>オートフレーミング</del> / <del>画像サイズ</del> / <del>横縦比</del> / <del>画質</del> / <del>手ブレ補正</del> /録音レベル/ゼブラ/ グリッドライン/ <del>マーカー表示</del> / 音声レベル表示/ピークリングレベル/ ピークリング色/未設定)
カスタムキー (撮影) (183)	あらかじめキーに機能を設定しておくと、 撮影時にキーを押すだけで設定しておいた 機能を実行できる。 (コントロールホイール/ カスタムボタン1/カスタムボタン2/ 中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタン/ AELボタン)
カスタムキー (再生) (186)	あらかじめキーに機能を設定しておくと、 再生時にキーを押すだけで設定しておいた 機能を実行できる。 (カスタムボタン1)

<b>MOVIE (動画)ボタン (70)</b>	MOVIEボタンの有効/無効を設定します。 (常に有効/動画モードのみ有効)
<b>ダイヤル/ホイールロック</b>	Fnボタンを長押しして、コントロールダイヤル/コントロールホイールを一時的に無効にする機能を設定する。Fnボタンを長押しすることでロックまたはロック解除する。 (入/切)

## Wi-Fi (ワイヤレス)

<b>スマートフォン転送 (201)</b>	スマートフォンに画像を表示、転送する。 (カメラから選ぶ/スマートフォンから選ぶ)
<b>パソコン保存(203)</b>	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
<b>テレビ鑑賞</b>	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。
<b>ワンタッチ(NFC) (199)</b>	ワンタッチ(NFC)にアプリケーションを1つ割り当てる。 撮影時にNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、そのアプリケーションが起動する。
<b>飛行機モード</b>	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 (入/切)
<b>アクセスポイント簡単登録 (204)</b>	Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)ボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
<b>アクセスポイント手動登録 (204)</b>	手動でアクセスポイントを登録できる。

<b>機器名称変更</b>	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
<b>MACアドレス表示</b>	本機のMACアドレスを表示する。
<b>SSID・PWリセット</b>	スマートフォン接続の接続情報をリセットする。
<b>ネットワーク設定リセット</b>	すべてのネットワーク設定をリセットする。

## ■ (アプリケーション)

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト PlayMemories Camera Apps™に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。

- 本機には、お手持ちのスマートフォンをカメラのリモコンとして使用できるアプリケーション[スマートリモコン内蔵版]が事前インストールされています。

なお、MENUボタン →  (セットアップ) → [設定リセット] → [初期化]にしても、[スマートリモコン内蔵版]は削除されません。

## □ (再生)

<b>削除(174)</b>	画像を削除する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像)
<b>ビューモード(166)</b>	画像を日付ごとや静止画/動画のフォルダごとに再生する。 (日付ビュー / フォルダービュー (静止画) / フォルダービュー (MP4) / AVCHDビュー / XAVC S HDビュー)
<b>一覧表示(167)</b>	画像を一覧表示する。 (9枚/25枚)

<b>記録画像の回転表示 (170)</b>	縦向きで記録した静止画の再生方法を設定する。 (オート/マニュアル/切)
<b>スライドショー (169)</b>	画像を連続再生する。 (リピート/間隔設定)
<b>回転(169)</b>	画像を回転する。
<b>拡大(166)</b>	再生画像を拡大表示する。
<b>4K静止画再生</b>	HDMI接続した4K対応テレビに4K解像度で静止画を出力する。
<b>プロテクト(171)</b>	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像/ このフォルダーを全て解除/ この日付を全て解除)
<b>プリント指定(172)</b>	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (画像選択/全画像解除/印刷設定)

## (セットアップ)

<b>モニター明るさ(186)</b>	モニターの明るさを設定する。 (オート/マニュアル/屋外晴天)
<b>ファインダー明るさ (187)</b>	電子ビューファインダー使用時、電子ビューファインダーの明るさを設定する。 (オート/マニュアル)
<b>ファインダー色温度</b>	ファインダーの色温度を設定する。
<b>音量設定</b>	動画再生時の音量を設定する。

<b>電子音</b>	ピントが合ったときや、セルフタイマー操作時の電子音の有無を設定する。 (入/シャッター /切)
<b>アップロード設定 (194)</b>	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。 (入/切)
<b>タイルメニュー (38)</b>	MENUボタンを押したときに、タイルメニューを表示するかを設定する。 (入/切)
<b>モードダイヤルガイド (75)</b>	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。 (入/切)
<b>削除確認画面</b>	削除の確認画面で、[削除]と[キャンセル]のどちらを選択された状態にするかを設定する。 (「削除」が先/「キャンセル」が先)
<b>表示画質(187)</b>	表示画質を設定する。 (高画質/標準)
<b>パワーセーブ開始時間 (188)</b>	省電力モード(パワーセーブ)になるまでの時間を設定する。 (30分/5分/2分/1分/10秒)
<b>デモモード</b>	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 (入/切)
<b>HDMI設定(178)</b>	HDMIに関する設定を行う。 (HDMI解像度/24p/60p出力切換/HDMI情報表示/HDMI機器制御)
<b>USB接続(212)</b>	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 (オート/マスストレージ/MTP/PCリモート)

<b>USB LUN設定(213)</b>	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 (マルチ/シングル)
<b>USB給電(59)</b>	本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。 (入/切)
<b>日時設定(65)</b>	時計、日付の設定をする。
<b>エリア設定(65)</b>	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
<b>著作権情報(189)</b>	撮影する静止画の著作権情報を設定する。 (著作権情報書き込み/撮影者名設定/ 著作権者名設定/著作権情報表示)
<b>フォーマット(191)</b>	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
<b>ファイル番号(191)</b>	ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番/リセット)
<b>記録フォルダー選択 (192)</b>	静止画と動画(MP4)を記録するフォルダーを設定する。
<b>フォルダー新規作成 (193)</b>	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
<b>フォルダー形式(192)</b>	静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。 (標準形式/日付形式)
<b>管理ファイル修復 (193)</b>	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
<b>メディア残量表示</b>	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。

バージョン表示(198)	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する (表示されるのは認証情報の一部のみになります)。
設定リセット	設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。 (初期化/撮影設定リセット)

# カメラ内ガイドを見る

[カスタムキー (撮影)]で希望のボタンにカメラ内ガイドの機能を設定します。カメラ内ガイドでは、MENUの機能や設定に関する説明を表示します。

**MENUボタン → ⚭ (カスタム設定) → [カスタムキー (撮影)]  
→ 希望のボタン → [カメラ内ガイド]を選ぶ。**

- MENUボタンを押して、コントロールホイールで説明を見たい項目を選び、[カメラ内ガイド]を設定したボタンを押してください。

# バッテリー（電池）を充電する

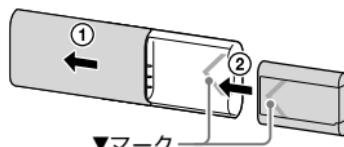
初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。

充電したバッテリーは、使わなくても少しづつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

## バッテリーチャージャーを使って充電する

### 1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れる。

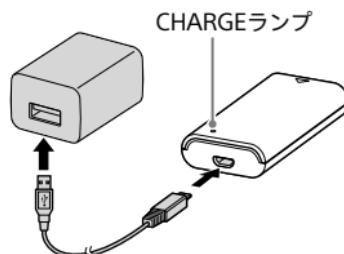
- バッテリーチャージャーのトップカバーを開けて、バッテリーの▼マークとバッテリーチャージャーの▼マークの方向を合わせて、「カチッ」と音がするまでバッテリーを差し込む。



### 2 バッテリーチャージャーのトップカバーを閉じる。

### 3 バッテリーチャージャーとACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎACアダプターをコンセントに取り付ける。

または、電源に接続したパソコンのUSB端子にマイクロUSBケーブルでつなぎ、パソコンから充電する。



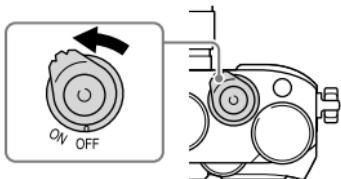
- 充電が始まるとCHARGEランプ（オレンジ色）が点灯します。
- 充電が終了するとCHARGEランプが消えます。
- CHARGEランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

### ご注意

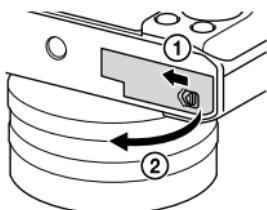
- CHARGEランプが点灯しないときは、バッテリーがしっかりと取り付けられているか確認してから一度マイクロUSBケーブルをはずし、再度接続してください。
- USBハブなどを使用せず、バッテリーチャージャーを直接パソコンに接続してください。

## 本機を使って充電する

1 ON/OFF (電源)スイッチを  
「OFF」にする。



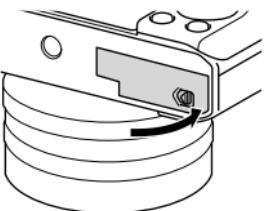
2 カバーのオープンレバーを  
スライドして、カバーを開ける。



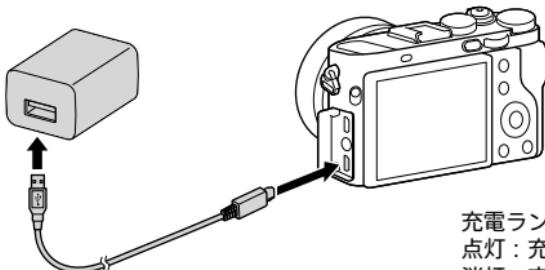
3 バッテリーの端でロックレバー  
を押しながら入れ、バッテリーが  
ロックされるまで押し込む。



4 カバーを閉じる。



## 5 本機とACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに取り付ける。



充電ランプ

点灯：充電中

消灯：充電終了

点滅：充電エラー、または充電に適した温度範囲外での充電による充電一時待機

カメラの充電ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まる。

- 充電中は、ON/OFF（電源）スイッチを「OFF」にしてください。
- 充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。
- 充電ランプが点滅した場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。

### ご注意

- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10°C～30°Cの環境で行ってください。
- ACアダプターは、手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプ/CHARGEランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーを取りはずし、再度充電してください。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

## 充電にかかる時間

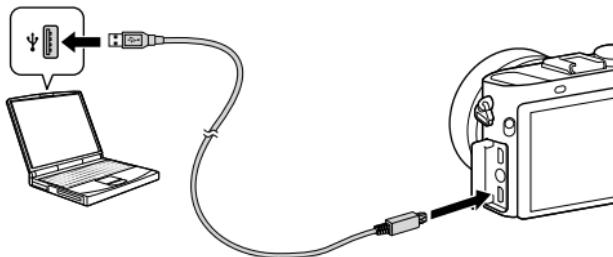
充電にかかる時間は、付属のACアダプターとバッテリーチャージャーで約155分、付属のACアダプターと本機で約150分です。

### ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25°Cの環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

## パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。本機の電源を切った状態でつないでください。



### ご注意

- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。また同時に使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

バッテリー残量を確認するには  
モニターの残量表示マークで確認してください。

残量						[電池がなくなりました]
	多				少	撮影できません

### ご注意

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

## 外部電源で本機を使う

付属のACアダプターを使って、コンセントから電力を供給しながら使用できます。

---

1 バッテリーを本機に入れる(56ページ)。

---

2 マイクロUSBケーブル(付属)とACアダプター(付属)で、本機とコンセントをつなぐ。

---

## ご注意

- ・バッテリーの残量がないと動作しません。充電したバッテリーを本機に入れてください。
- ・外部電源で本機を使用する場合は、USB給電中を表すアイコン(■■■)がモニターに表示されていることをご確認のうえ、本機をご使用ください。
- ・給電しながらのご使用中は、本機からバッテリーを取りはずさないでください。バッテリーを取りはずすと本機の電源が切れます。
- ・アクセスランプ(24ページ)が点灯しているときはバッテリーを取りはずさないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- ・電源を入れて使用している間は、ACアダプターと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- ・ACアダプターと接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的にバッテリーの電源を使用する場合があります。
- ・USB給電中は、本体内的の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。
- ・外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。またご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。

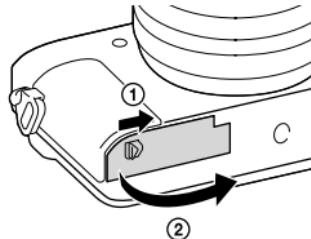
## バッテリーを取り出す

電源を切り、アクセスランプ(24ページ)が点灯していないことを確認し、ロックレバーをずらして、バッテリーを引き出します。  
このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。



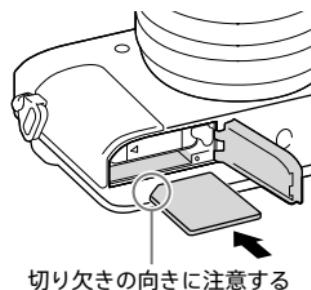
# メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーのオープンレバーをスライドして、カバーを開ける。

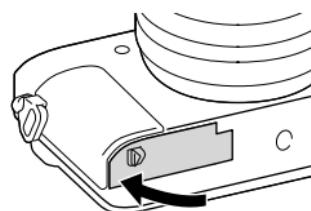


2 メモリーカードを入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。



3 カバーを閉じる。



## メモリーカードを取り出すには

バッテリー / メモリーカードカバーを開けて、アクセスランプ(24ページ)が点灯していないことを確認し、メモリーカードを1度押します。

## メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします。

- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- フォーマットするには、MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット] を選びます。

## 使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画		
		MP4	AVCHD	XAVC S
メモリースティック PRO デュオ	○	○ (Mark2のみ)	○ (Mark2のみ)	—
メモリースティック PRO-HG デュオ™	○	○	○	—
メモリースティックマイクロ™ (M2)	○	○ (Mark2のみ)	○ (Mark2のみ)	—
SDメモリーカード	○	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1</sup>	—
SDHCメモリーカード				
SDXCメモリーカード	○	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>
microSD メモリーカード	○	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1</sup>	—
microSDHC メモリーカード				
microSDXC メモリーカード	○	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>

\*<sup>1</sup> SDスピードクラス4 : CLASS④ 以上、またはUHSスピードクラス1 : U1 以上

\*<sup>2</sup> 以下の条件をすべて満たすメモリーカード

- 容量64GB以上

- SDスピードクラス10 : CLASS⑩、またはUHSスピードクラス1 : U1 以上

- 記録できる枚数/時間については、243 ~ 246ページをご覧ください。

JP 容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

## ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリースティックマイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。

対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

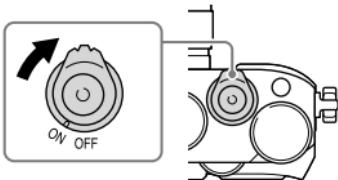
# 日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときや設定値リセットを行ったあとは、日時設定の画面が表示されます。

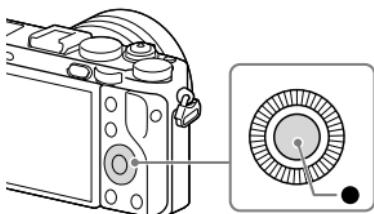
## 1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

日時設定を要求する画面になる。

- 電源を切るときは、「OFF」にする。



## 2 モニターの表示で[実行]が選ばれていることを確認し、コントロールホイール中央の●を押す。



## 3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

## 4 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して[日時]を選び、中央の●を押す。

[サマータイム:]：日本では、サマータイムは[切]にする。

[表示形式:]：日付表示順を選ぶ。

## 5 ▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の設定を選び、中央の●を押す。

- [日時]を設定する場合、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。
- [日時]を設定するときは、▲/▼を押して数値を変更する。

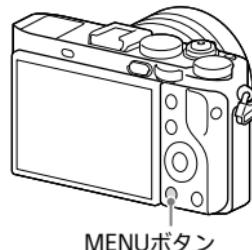
## 6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで中央の●を押す。

**日時設定を中止するには**  
MENUボタンを押します。

### 日時やエリアを確認する/合わせ直す

日時設定画面は、初めて電源を入れたときや、内蔵バックアップ電池が消耗したときに自動で開きます。2回目以降はメニューで設定してください。

**MENUボタン →  (セットアップ)**  
→ [日時設定]または[エリア設定]を選択。



準備する

### 設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切やバッテリーの有無に関係なく保持するために、充電式バックアップ電池を内蔵しています(234ページ)。

# 手ブレを抑えてきれいに撮る

「手ブレ」とは、撮影時にカメラが動き、不鮮明な画像になる現象のことです。

## 正しく構える

上半身を安定させて、カメラが動かないように構える。

ファインダー モード時



ファインダー モード時  
(縦位置)



モニター モード時



### ポイント①

片手でカメラのグリップを持ち、もう片方の手でレンズの下側を支える。

### ポイント②

両足を肩幅に広げて、下半身を安定させる。

### ポイント③

脇を軽く締める。

低い姿勢で撮影するときは、膝のうえに、肘などを乗せるなどして、上半身を安定させる。

## 動画の手ブレ補正

本機は手ブレ補正機能を搭載しており、動画撮影時に手ブレを抑制します。手ブレ補正機能は動画撮影中にのみ働きます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [手ブレ補正] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

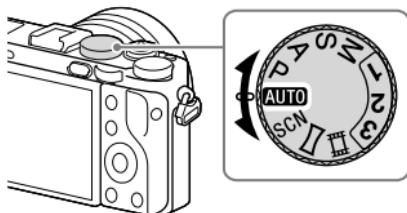
- 手ブレ補正是動画撮影時のみ有効です。静止画撮影時にはご使用いただけません。

# 静止画を撮る

[オートモード]では、本機が適切だと判断した値で設定され、被写体や環境を選ばずに、手軽に撮影できます。

**1 ON/OFF (電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。**

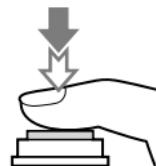
**2 モードダイヤルを **AUTO** (オートモード)にする。**



**3 本機を構え、構図を決める。**

**4 シャッターボタンを半押しして、  
ピントを合わせる。**

ピントが合うと、●または(○) (フォーカス表示)が点灯する(98ページ)。



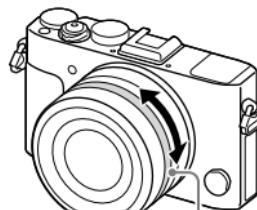
**5 シャッターボタンを深く押し込んで、撮影する。**

[オートフレーミング]が[オート]の場合、人物の顔やマクロ撮影する被写体、またロックオンAFでとらえた被写体を検出して撮影すると、自動的に最適な構図に切り出し(トリミング)した画像が記録される。トリミング前の画像と、トリミングされた画像の2枚が記録される。



## 撮影のテクニック

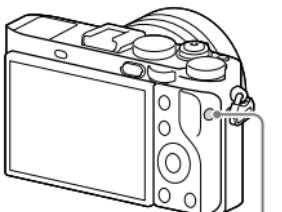
- マクロ切り替えリングを回して「0,2m-0,35m」にするとマクロ撮影になり、ピントが合う最短距離が約0.2 mになります。花や料理などに近づいて撮るときに適しています。



# 動画を撮る

## 1 MOVIE (動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- お買い上げ時の設定では、[MOVIE (動画)ボタン]が[常に有効]に設定されているため、すべての撮影モードから動画撮影を開始できます。



MOVIE (動画) ボタン

## 2 もう一度MOVIE (動画)ボタンを押して、撮影を終了する。

### ご注意

- 動画撮影中はカメラの作動音などが記録されてしまうことがあります。[音声記録]を[切]にすると、音声が記録されないようにできます(165ページ)。
- 1回の連続撮影時間は環境温度や本機の使用状態により、撮影可能時間が短くなる場合があります。「動画の連続撮影についてのご注意」(246ページ)を確認してください。
- []が表示された場合は、本機の温度が上がっています。本機の電源を切り、温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、熱く感じることがあります。故障ではありません。また、[しばらく使用できません カメラの温度が下がるまでお待ちください]という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 動画撮影時、ご使用状況によっては、ショルダーストラップ取り付け部(三角環)の音が記録されることがあります。

# 再生する

1 ▶ボタンを押す。



2 コントロールホイールの◀/▶で画像を選ぶ。

・動画を再生する場合は、コントロールホイール中央の●を押す。

動画再生中に▼を押すと、操作パネルが表示されます。

操作パネル	できること
▶	再生
■	一時停止
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
▶▶▶	スロー再生
◀◀◀	スロー逆再生
▶▶▶▶	次の動画
◀◀◀◀	前の動画
▶▶▶▶▶	コマ送り
◀◀◀◀◀	コマ戻し
▶▶▶▶▶▶	音量設定
▶▶▶▶▶▶▶	操作パネルを閉じる

## ご注意

- ・本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。

## 静止画と動画を切り換える

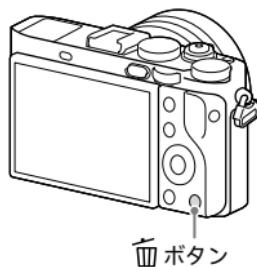
静止画を再生するには、[ビューモード]を[フォルダービュー (静止画)]に、動画を再生するには、[フォルダービュー (MP4)]、[AVCHDビュー]または[XAVC S HDビュー]にする必要があります。また、[日付ビュー]を選ぶと、動画と静止画が混在で日付ごとに表示できます。

**MENUボタン → □ (再生) → [ビューモード] → 希望のモードを選ぶ。**

# 削除する

一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

- 
- 1 削除したい画像を表示して、  
■ボタンを押す。**



- 2 コントロールホイールの▲/▼で[削除]を選び、中央の●を押す。**

- まとめて画像を削除したいときは、MENUボタン → □(再生) → [削除]を選びます。

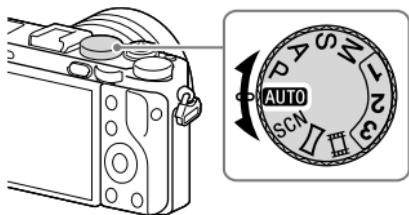
---

## ご注意

- プロテクトされている画像は削除できません。

# 撮影モードを変える

モードダイヤルを回して、希望の撮影モードを選ぶ。



本機には、以下の撮影モードがあります。

<b>AUTO</b> (オートモード) (75)	本機が適切だと判断した値で設定され、被写体や環境を選ばずに、手軽に撮影できる。
<b>P</b> (プログラムオート) (83)	露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整できる。
<b>A</b> (絞り優先) (84)	絞りを調整し、ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できる。
<b>S</b> (シャッタースピード優先) (85)	シャッタースピードを手動調整し、動くものの表現を変えて撮影できる。
<b>M</b> (マニュアル露出) (87)	露出(シャッタースピードと絞り)をコントロールダイヤルと絞りリングで手動設定する。
<b>1/2/3</b> (登録呼び出し) (197)	(撮影設定)メニューの[登録]であらかじめ登録した設定を選んで呼び出す。
<b>SCN</b> (シーンセレクション) (77)	撮りたい被写体や環境に合ったモードを選ぶと、被写体に適した設定で撮影できる。
 (スイングパノラマ) (80)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
 (動画) (160)	動画の撮影設定を変更して撮影する。

## モードダイヤルを回したときに希望のモードを選べるようにする

モードダイヤルを回したときに撮影モードの説明を表示して、その撮影モード内の項目を変えることもできます。

**1 MENUボタン →  (セットアップ) → [モードダイヤルガイド] → [入]を選ぶ。**

**2 モードダイヤルで希望の撮影モードを選ぶ。**

選んだ撮影モードのガイドが表示される。

**3 コントロールホイール中央の●を押す。**

変更できる項目がある場合は、コントロールホイールを回したり、▲/▼を押して希望のモードを選ぶ。

### AUTO オートモード

**1 モードダイヤルを AUTO (オートモード) にする。**

**2 被写体にカメラを向け、ピントを合わせて撮影する。**

 (おまかせオート)	本機が適切だと判断した値で撮影する。
 (プレミアムおまかせオート)	本機が撮影状況を認識して、自動的に設定を行う。必要に応じて連続撮影し、合成や抽出によって最適な画像を保存する。

## シーン認識

カメラがシーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。

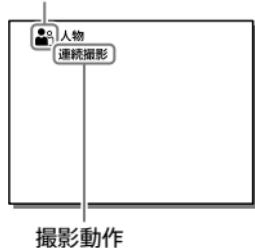
[プレミアムおまかせオート]時は、認識したシーンに最適な撮影動作も表示される。

認識シーン：☽(夜景)、▲(風景)、  
✿(逆光&人物)、人物(人物)、▣(逆光)、  
✿(マクロ)、♪(夜景&人物)、

⌚(スポットライト)、⌚(低照度)、⌚(赤ちゃん)、  
⌚(三脚)、🏃(動き)、🏃(動き(明るい))、🏃(動き(暗い))

撮影動作：連続撮影、スローシンクロ、オートHDR、日中シンクロ、  
スローシャッター、手持ち夜景

シーン認識マーク



## モードを切り換えるには

メニューからオート撮影の方法を選べます。

**MENUボタン → [CAMERA] (撮影設定) → [オートモード] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- ・[▣画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]のときは撮影動作が制限されます。

## SCN シーンセレクション

こんなときに適しています

- 撮影状況に合わせて用意された設定で撮る。

**1 モードダイヤルを SCN (シーンセレクション)にする。**

**2 ピントを合わせて撮影する。**

 <b>(ポートレート)</b>	<p>背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンズに近い方の目にピントを合わせると、いきいきした印象になる。</li> <li>逆光のときは、レンズフード(別売)をつけて撮る。</li> <li>フラッシュで目が赤くなってしまうときは、赤目軽減機能(122ページ)を使う。</li> </ul>	
 <b>(スポーツ)</b>	<p>高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。 シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャッターボタンを半押ししたままシャッターチャンスを待つ。</li> </ul>	
 <b>(風景)</b>	<p>風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。</p>	

◆(夕景)	夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。	
☽(夜景)	<p>暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャッタースピードが遅くなるので、三脚を使う。</li> <li>明かりの少ない全体的に暗い夜景のときは、写真がうまく仕上がらないことがある。</li> </ul>	
♪(手持ち夜景)	<p>三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の場合はノイズを軽減する効果が弱くなる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>動きの大きな被写体</li> <li>主要被写体とカメラの距離が近すぎる</li> <li>空、砂浜、芝生など、似たような模様が続く被写体</li> <li>波や滝など、常に模様が変化する被写体</li> </ul> </li> <li>蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、ブロック状のノイズが発生することがある。</li> </ul>	
✿(夜景ポートレート)	<p>夜景を背景に手前の人を撮る。フラッシュを取り付けて使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャッタースピードが遅くなるので、三脚を使う。</li> </ul>	



## (人物ブレ軽減)

室内で人物撮影する場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録する。



- 以下の場合はノイズを軽減する効果が弱くなる。
  - 動きの大きな被写体
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空、砂浜、芝生など、似たような模様が続く被写体
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、ブロック状のノイズが発生することがある。

## シーンを切り換えるには

メニューからお好みのシーンを選べます。

**MENUボタン → [撮影設定] → [シーンセレクション] → 希望の設定を選ぶ。**

### 撮影のテクニック

- より画像の仕上がりにこだわって撮影したい場合は、モードダイヤルを「P」、「A」、「S」、「M」にしてクリエイティブスタイル(135ページ)を使用すると、露出やISOなどの機能を自分で設定して撮影できる。

### ご注意

- シーンセレクションでは、露出やISOなど、多くの機能がカメラまかせになり設定変更できなくなります。
- フラッシュは各シーンセレクションモードごとに自動発光/発光禁止が設定されています。この設定を変更することもできます(121、125ページ)。

## □スイングパノラマ

こんなときに適しています

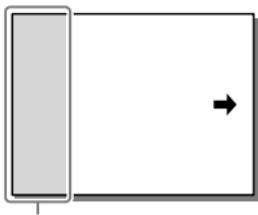
- 広大な景色や高層の建築物をそのままの迫力で撮る。

1 モードダイヤルを □ (スイングパノラマ)にする。

2 明るさ、ピントを合わせたい被写体にカメラを向け、シャッター ボタンを半押しする。

- 撮影前にコントロールダイヤルで撮影方向を変更できます。

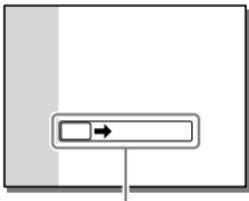
3 シャッターを半押しした状態で、構図の端にカメラを向ける。



撮影されない部分

4 シャッター ボタンを深く押し込む。

5 画面に表示されている矢印の方に向かって、カメラをガイドの終わりまで動かす。



ガイド

## ご注意

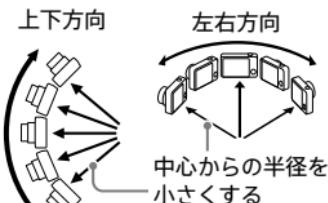
- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。カメラを前後や左右に傾けないで、まっすぐに動かして撮影してください。
- 暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- パノラマ撮影される画角全体と、AE/AFロックしたときの画角とで、明るさやピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。このようなときは、AE/AFロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合はパノラマ撮影に適していません。
  - 動いている被写体
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空、砂浜、芝生など、似たような模様が続く被写体
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体
  - 太陽や電灯など、周囲との明るさの差が大きい被写体
- 以下の場合はパノラマ撮影が中断されることがあります。
  - カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  - ブレすぎた場合
- パノラマ撮影中は連続撮影となり、シャッター音が撮影終了まで鳴り続けます。
- パノラマ撮影では、以下の機能が使用できません。
  - 顔検出/スマイルシャッター
  - オートフレーミング
  - DRO/オートHDR
  - ピクチャーエフェクト
  - 美肌効果
  - 長秒時NR
  - 高感度NR
  - ロックオンAF
  - ズーム
  - ドライブモード
  - ブライトモニタリング

- ・パノラマ撮影では、以下の機能は設定値が固定されます。
  - [ISO感度]は[ISO AUTO]に固定
  - [フォーカスエリア]は[ワイド]に固定
  - [フラッシュモード]は[発光禁止]に固定

## スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で円を描くように画面の矢印方向に動かしてください。パノラマ撮影は、止まっている被写体の撮影に適しています。

- ・シャッターボタンを半押しして、ピントや露出をロックしてから、カメラを動かしてください。
- ・複雑な形状や景色が画面の端に偏っていると、うまく合成できないことがあります。その場合は、複雑な部分が画面の中央になるように構図を調整して撮影してください。



## 画像サイズを変更するには

画像サイズは、MENUボタン → (撮影設定) → [パノラマ : 画像サイズ]で希望の設定を選べます。

## 撮影方向を変更するには

カメラを動かす方向を設定します。

MENUボタン → (撮影設定) → [パノラマ : 撮影方向] → 希望の設定を選ぶ。

## パノラマ画像を見るには(スクロール再生)

パノラマ画像を選び、コントロールホイール中央の●を押す。

- ・もう一度中央の●を押すと一時停止します。一時停止中に▲/▼/◀/▶を押して手動でスクロール再生できます。

## P プログラムオート

こんなときに適しています

- 露出はカメラにまかせ、ISO感度、クリエイティブスタイル、Dレンジオプティマイザーなど、好みの設定に変更したい。

**1 モードダイヤルを「P」にする。**

**2 撮影機能を希望の設定にする(97 ~ 157ページ)。**

**3 ピントを合わせて撮影する。**

### プログラムシフト

カメラが設定した適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。

ピントを合わせた状態でコントロールダイヤルを回し、絞り値とシャッタースピードの組み合わせを選んでください。

撮影モード表示は、「P\*」になります。



## A 紋り優先

こんなときに適しています

- 被写体だけをくっきりとさせて、前後をぼかしたい。紋りを開けるほど、ピントの合う範囲が狭くなる(被写界深度が浅くなる)。
- 風景の奥行きを表したい。紋り込むほど、ピントの合う範囲が前後に広がる(被写界深度が深くなる)。

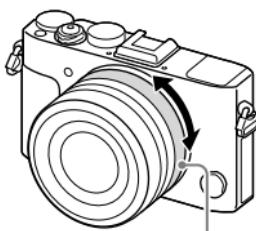
1 モードダイヤルを「A」にする。

2 紋りリングを回して、紋り値(F値)を選ぶ。

紋り値を小さくする：被写体の前後がぼける。

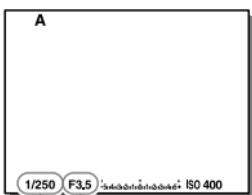
紋り値を大きくする：被写体の前後までくっきりとピントが合う。

- 設定した紋り値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、シャッタースピードが点滅する。この場合は、紋り値を変更する。



絞りリング

ファインダー表示



絞り値(F値)

シャッタースピード

### 3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、シャッタースピードは自動で設定される。

#### 撮影のテクニック

- 設定した絞り値によっては、シャッタースピードが遅くなる場合がある。シャッタースピードが遅いときは、三脚を使用する。

### S シャッタースピード優先

#### こんなときに適しています

- 一瞬を静止させたように撮りたい。シャッタースピードが速いほど、一瞬の動きを捉える。
- 動きの軌跡を写し、躍動感や流動感を表現したい。シャッター速度が遅いほど、軌跡が写せる。

### 1 モードダイヤルを「S」にする。

## 2 コントロールダイヤルでシャッタースピードを選ぶ。

- 設定したシャッタースピードで適正露出にならないと本機が判断した場合は、絞り値が点滅する。この場合は、シャッタースピードを変更する。



コントロールダイヤル



ファインダー表示

## 3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、絞り値が自動的に設定される。

### 撮影のテクニック

- シャッタースピードを遅くして撮るときは、三脚を使う。
- 室内スポーツを撮影するときは、ISO感度を高くする。

### ご注意

- ISO感度は高くするほど、ノイズは増えます。
- [長秒時NR]を[入]にしているときは、シャッタースピードを1秒または1秒より遅くして撮影(長時間露光)すると、シャッターを開けていた時間と同時にノイズ軽減処理をします。処理中は撮影できません。

## M マニュアル露出

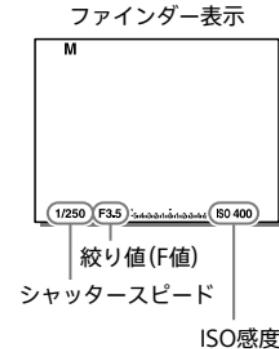
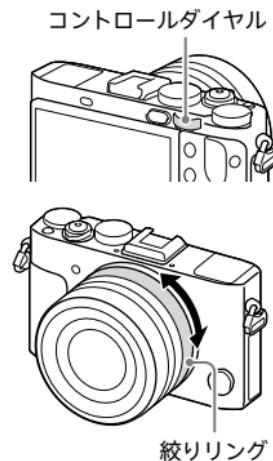
こんなときに適しています

- 紋り値とシャッタースピードの両方を調節して、自分の好みの露出で撮る。

### 1 モードダイヤルを「M」にする。

### 2 シャッタースピードを調整するときはコントロールダイヤルを回し、紋り値を選ぶときは絞りリングを回す。

- マニュアルモードでもISOを[ISO AUTO]に設定できます。ISOを[ISO AUTO]に設定したときには、設定した紋り値とシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。
- ISOが[ISO AUTO]のとき、設定した値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度が点滅します。この場合はシャッタースピードまたは紋り値を変更します。



### 3 露出を合わせて撮影する。

- ISO感度を[ISO AUTO]以外にしたときは、メータードマニュアル\*で露出値を確認します。

十側：明るく写る

一側：暗めに写る

\* Mモード設定時、適正露光に対するアンダー/オーバーを示します。モニターでは数値で、ファインダーでは測光インジケーターに-2～+2の範囲で表示されます。

モニター表示

M

1/250 F3.5  ISO 400

メータードマニュアル

ファインダー表示

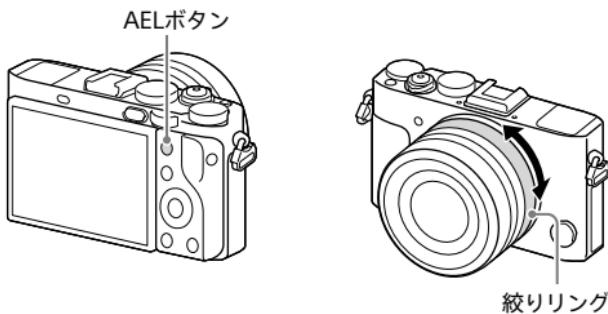
1/250 F3.5  ISO 400

メータードマニュアル

### マニュアルシフト

設定した露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。

AELボタンを押しながら絞りリングを回し、絞り値とシャッタースピードの組み合わせを選んでください。



## M バルブ撮影

こんなときに適しています

- 花火の光が尾を引くような画像を撮る。
- 星の軌跡を撮る。

### 1 モードダイヤルを「M」にする。

### 2 コントロールダイヤルを[BULB]

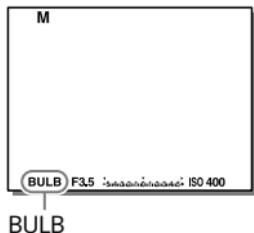
が出るまで左に回す。

- ISOが[ISO AUTO]のとき、[BULB]に設定すると、ISO感度はISO AUTOの下限値に固定される。



撮影モードを変える

ファインダー表示



### 3 紋りリングで絞り値(F値)を選ぶ。



---

## 4 シャッターボタン半押しでピントを合わせる。

---

## 5 必要な時間、シャッターボタンを押し続けて撮影する。

シャッターボタンを押し続けている間、シャッターが開いたままになる。

---

### 撮影のテクニック

- 三脚に取り付けて撮影する。
- 打ち上げ花火などのときは、マニュアルフォーカスにしてピントを無限遠にする。同じような場所に上がる花火であらかじめピントを決めて撮影する。
- 本機はJIS B 7104規格のレリーズケーブルに対応しています。

### ご注意

- 露光時間が長いほど、画面内のノイズは目立ちやすくなります。
- 画質を低下させずにバルブ撮影を行うためには、本機の温度が下がった状態で撮影を開始することをおすすめします。
- 撮影後はシャッターが開いていた時間分だけ、ノイズ軽減処理(長秒時ノイズリダクション)が行われます。処理中は撮影できません。画質よりも撮影タイミングを優先する場合は、[長秒時NR]を[切]にしてください(155ページ)。
- 以下の機能を使用しているときは、[BULB]に設定できません。また[BULB]に設定しているときに以下の機能を使うと、シャッタースピードは一時的に30秒になります。
  - [スマイルシャッター]
  - [オートHDR]
  - [マルチショットNR]
  - [ピクチャーエフェクト]の[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]
  - [ドライブモード]の[連続撮影]、[速度優先連続撮影]、[セルフタイマー(連続)]、[連続ブラケット]、[ローパスフィルターブラケット]
- 画像がブレやすくなるため、三脚や、シャッターボタンのロック機能を持つリモートコマンダー\*(別売)のご使用をおすすめします。

\* リモートコマンダーはマルチ/マイクロUSB端子での接続に対応したものをお使いください。

# 撮影モードごとの設定可能機能

選んでいる撮影モードによって、設定できない機能があります。

○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

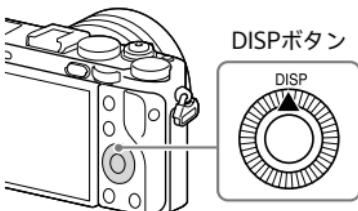
撮影モード		露出補正 (110)	セルフタイマー (115)	連続撮影 (115)	顔検出 (145)	スマイルシャッター (150)	オートフレーミング (148)
AUTO (75)	i <sup>+</sup> i <sup>+</sup>	×	○	○	○	○	○
SCN (77)	⌚	×	○	×	○	○	○
	🏃	×	×	○	○	○	×
	▲	×	○	×	×	×	○
	◐	×	○	×	×	×	○
	🌙	×	○	×	×	×	○
	PALM	×	○	×	○	×	×
	👤	×	○	×	○	○	○
	👤(👤)	×	○	×	○	×	×
□ (80)		○	×	×	×	×	×
P (83)		○	○	○	○	○	○
A (84)		○	○	○	○	○	○
S (85)		○	○	○	○	○	○
M (87)	×	*	○	○	○	○	○
▣ (160)		○*	×	×	○	×	×

\* 撮影モード「M」のときは、ISOが[ISO AUTO]のときのみ露出補正が可能です。

# 画面の表示を変える(DISP)

撮影情報画面の表示は、お買い上げ時はコントロールホイールのDISPを押すたびに下記のように切り替わります。

ファインダー表示を変更する場合には、ファインダーをのぞきながらDISPを押してください。

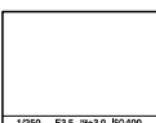


## 撮影時(モニター)

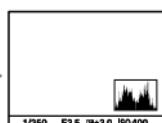
全情報表示



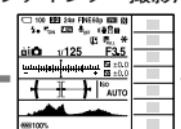
情報表示なし



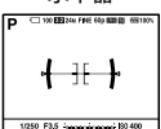
ヒストグラム



ファインダー撮影用

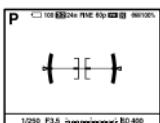


水準器



## 撮影時(ファインダー)

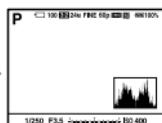
水準器



情報表示なし

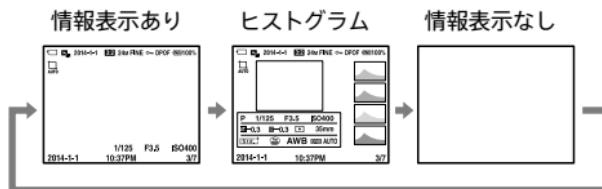


ヒストグラム



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

## 再生時(モニター／ファインダー)



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。
- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します(白とび黒つぶれ警告)。
- 再生時の設定は、オートレビューでも反映されます。

## 使用する画面表示を選ぶ

使用する画面表示を選ぶことができます。コントロールホイールの DISPを押して画面を切り換えると、選択した画面のみが表示されます。モニターとファインダーは別に設定できます。

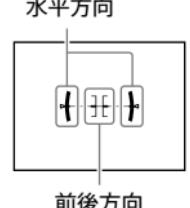
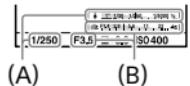
**1 MENUボタン → ⚭ (カスタム設定) → [DISPボタン] → [背面モニター]または[ファインダー]を選ぶ。**

**2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で希望の画面を選んで、中央の●を押す。**

**3 希望の画面を選び、[実行]を選んで中央の●を押す。**

<b>グラフィック表示</b>	シャッタースピードと絞り値を グラフィカルに表現し、露出の 仕組みをわかりやすくイメージ 化して表現する。 シャッタースピードインジケー ター (A) / 絞りインジケーター (B) のバーが現在の値を指す。
<b>全情報表示</b>	撮影画面にすべての情報を表示する。
<b>情報表示なし</b>	撮影画面に情報を表示しない。
<b>ヒストグラム</b>	ヒストグラムを表示する(95ページ)。
<b>水準器</b>	カメラの前後左右の傾きを指標 で示す。水平、平衡状態のときは、 表示が緑色になる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機を前または後に大きく傾 けると、水準器の誤差が大き くなる。</li> <li>• 傾きがほぼ補正された状態で も±1°程度の誤差が生じるこ とがある。</li> </ul>
<b>ファインダー撮影用*</b>	ファインダーをのぞいて撮影するスタイルに適し た表示になる(28ページ)。

\* [背面モニター]時のみ選択可能。



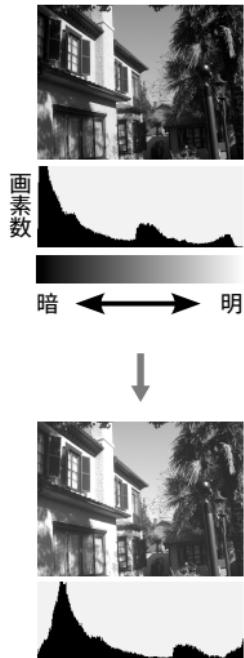
前後方向

## ヒストグラム

ヒストグラムとは輝度分布のことです、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

露出補正をかけると、ヒストグラムもそれに応じて変化します。

ヒストグラムの左右両端のデータは、白とび/黒つぶれした部分があることを表しています。このような部分は、撮影後、画像をパソコンで補正しても再現することはできません。必要に応じて露出補正をしてから撮影してください。



画面の表示を変える

### ご注意

- ヒストグラムは、撮影結果ではなく、画面で見ている画像のヒストグラムになります。絞り値などにより結果が異なります。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
  - フラッシュ発光したとき
  - 夜景などの低輝度な被写体のとき

## ライブビューの見えかたを変更する

ライブビューに各種設定を反映させた表示をするかどうかを設定できます。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [ライブビュー表示] → 希望の設定を選ぶ。**

<b>設定効果反映On</b>	すべての設定を反映させ、撮影結果に近い状態でライブビューを表示する。撮影結果をライブビュー画面で確認しながら撮影する場合に有効。
<b>設定効果反映Off</b>	露出やホワイトバランス、クリエイティブスタイル、ピクチャーエフェクトなどの設定を反映せずにライブビュー表示をする。エフェクトをかけて撮影する場合などにも、見やすい状態でライブビューが表示され、構図確認が容易になる。

### ご注意

- 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]、[スイングパノラマ]、[動画]、[シーンセレクション]のときは[設定効果反映Off]に設定できません。
- [設定効果反映Off]に設定時は、表示されるライブビューと撮影した画像の明るさなどが一致しません。

### 撮影のテクニック

- スタジオフラッシュなど他社製フラッシュを使用時には、設定されたシャッタースピードによってライブビューが暗くなる場合がある。ライブビュー表示を[設定効果反映Off]に設定することで、ライブビューが明るく表示され、構図確認が容易になる。

# ピントを合わせる

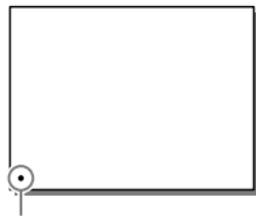
ピント合わせには、オートフォーカスを使う方法と手動で合わせる方法(マニュアルフォーカス)があります。

## オートフォーカス

**1 フォーカスマードダイヤルを回して、「S (シングルAF)」または「C (コンティニュアスAF)」を選ぶ。**

**2 シャッターボタンを半押しして、  
ピントの状態を確認して撮影する。**

- ピントが合うと、フォーカス表示が●または(C)になる(98ページ)。
- ピントが合うと、ピントが合った  
フォーカスエリアが緑色になる。



フォーカス表示

S (シングルAF)	シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、ピントはそこで固定される。
C (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを半押ししている間中、ピントを合わせ続ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ピントが合ったときの電子音は鳴らない。</li> <li>• フォーカスロックはできない。</li> </ul>

### 撮影のテクニック

- 動きのない被写体では、[シングルAF]を使う。
- 動いている被写体にピントを合わせるときは、[コンティニュアスAF]を使う。
- ピント合わせに使うフォーカスエリアを選びたいときは、  
[フォーカスエリア]で設定する(100ページ)。

## フォーカス表示の意味

フォーカス表示	状況
●点灯	ピントが合って固定されている。
(○)点灯	ピントが合っている。被写体の動きに合わせてピント位置が変わる。
(×)点灯	ピント合わせの途中。
●点滅	ピントが合っていない。

## ピントが合いにくい被写体

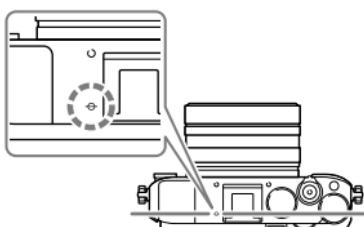
下記のときは、ピントが合いにくい場合があります。

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体
- フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき
- ビルの外観など、繰り返しパターンの連続するもの

## 撮影距離を正確に測るには

本機上面の  $\odot$  マークがイメージセンサー \*面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、この線の位置を参考にしてください。

\* イメージセンサー：光を電気信号に変える部分



## ご注意

- 最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎていないか、確認してください。

## フォーカスロック

- 
- 1 ピントを合わせたい被写体に  
フォーカスエリアを合わせ、  
シャッターボタンを半押しする。  
ピントが固定される。
- あらかじめ、フォーカスモードダイヤルを「S（シングルAF）」に設定してください。



- 
- 2 シャッターボタンを半押しした  
まま、撮りたい構図に戻す。



- 
- 3 シャッターボタンを押し込んで撮影する。
- 

ピントを合  
わせる

## フォーカスエリア

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [フォーカスエリア] → 希望の項目を選ぶ。**

 (ワイド)	モニター全体を基準に自動でピントを合わせる。
 (中央)	常に中央部のフォーカスエリアでピントを合わせる。
 (フレキシブルスポット)	モニター上の好きなところに測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。
 (拡張フレキシブルスポット)	フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周辺のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。
    (ロックオンAF)	シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。 フォーカスエリア設定画面でロックオンAFにカーソルを合わせて、◀/▶でロックオンAFの開始エリアを変更できる。 追尾開始エリアをフレキシブルスポットまたは拡張フレキシブルスポットにすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。

## ご注意

- 撮影モード[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]、シーンセレクション時、またはロックオンAF中、スマイルシャッター使用時は[ワイド]に固定され、他のフォーカスエリアに変更できません。
- 連続撮影時やシャッターボタンを一気に押し込んだときなどには、フォーカスエリアが点灯しないことがあります。
- モードダイヤルが~~ムカシ~~(動画)になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- 以下の場合は、中央付近の被写体を優先したAF動作になる場合があります。
  - ズーム撮影時
  - [AF補助光]使用時
- ロックオンAFが動いている場合は、追尾している被写体を優先したAFになります。

## 位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

## ご注意

- 絞り値がF9.0以上のときは、位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。

## 中央ボタン押しロックオンAF

被写体が動いても、被写体を追尾し続けます。

- 
- 1 MENUボタン →  (撮影設定) →  
[中央ボタン押しロックオンAF] → [入]を選ぶ。

- 
- 2 ターゲット枠を被写体に合わせて、コントロールホイール中央の●を押す。

追尾を解除する場合は、もう一度●を押す。

- 被写体を見失っても、再度被写体が現れると発見し復帰することができます。

### 3 シャッター ボタンを押し込み撮影する。

#### ご注意

- 以下のときは、ロックオンAF機能がうまく働かないことがあります。
  - 動きが速すぎる被写体
  - 小さすぎる、または大きすぎる被写体
  - 被写体と背景が同系色
  - 暗いシーン
  - 明るさが変わるシーン
- 以下のときは、ロックオンAF機能は働きません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - 撮影モードが[シーンセレクション]の[手持ち夜景]または[人物ブレ軽減]
  - マニュアルフォーカス
  - デジタルズーム中
- ロックオンAFを開始すると、[フォーカスエリア]は自動的に[ワイド]に固定されます。
- 追尾している被写体を見失って一定期間経過後は復帰できないことがあります。

#### ■AF補助光

暗い場所でピントを合わせるために使う補助光を設定できます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [■AF補助光] → 希望の設定を選ぶ。**

#### ご注意

- フォーカスマードダイヤルが「C (コンティニュアスAF)」のときは、AF補助光は発光しません。

## 図プリAF

シャッター半押し前に、カメラが自動でピントを合わせます。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [図プリAF] → [入]を選ぶ。**

## 位相差AFエリア表示

位相差AF測距点を表示するかしないかを設定します。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [位相差AFエリア表示] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- ・ 絞り値がF9.0以上のときは、位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。

## コンティニュアスAFエリア表示

コンティニュアスAF時に、フォーカスエリアで[ワイド]を選んでいるとき、ピントが合ったフォーカスエリアを表示するかしないかを設定します。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [コンティニュアスAFエリア表示] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- ・ [フォーカスエリア]が[中央]、[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときは、[コンティニュアスAFエリア表示]の設定にかかわらず、ピントを合わせたあとはエリアの測距枠が緑色に点灯します。

## AF-S時の優先設定/AF-C時の優先設定

オートフォーカスのときにピントが合っていなくてもシャッターを切れるようにするかどうかの設定をします。[シングルAF] (AF-S) と [コンティニュアスAF] (AF-C) で別々に設定できます。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [AF-S時の優先設定] または [AF-C時の優先設定] → 希望の設定を選ぶ。**

- [レリーズ優先] を選ぶと、ピントが合っていなくてもシャッターが切れます。
- [フォーカス優先] を選ぶと、ピントが合うまでシャッターは切れません。
- [バランス重視] を選ぶと、ピントとシャッターが切れるタイミングのバランスを取ります。

## マニュアルフォーカス

オートフォーカスが効きにくいときは、手動でピントを合わせると便利です。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

**1 フォーカスマードダイヤルを「MF (マニュアルフォーカス)」にする。**

**2 フォーカスリングを左右に回して、被写体が最もはっきり見えるようにする。**

- フォーカスリングを回すと、ピント位置までの距離の目安が画面に表示されます。



### ご注意

- ファインダー使用時は、視度調整が正しくないと、ファインダー上の正確なピントが得られません。

## ピントが合った部分を強調表示する(ピーキング)

マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調表示します。微細なピント合わせが必要とされるマクロやポートレート撮影に便利です。

ピーキングのレベルとピーキングの色を設定することができます。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [ピーキングレベル] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- 画像のシャープな部分をピントが合ったと判断するため、被写体によって強調表示効果が異なります。
- HDMI接続時はピーキングが表示されません。

### ピーキングの色を設定するには

ピントが合った部分の輪郭を強調するピーキングの色を設定します。

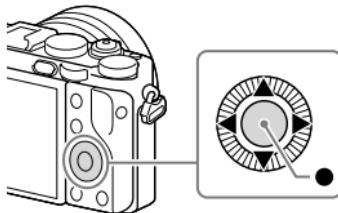
**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [ピーキング色] → 希望の設定を選ぶ。**

## ピント拡大

マニュアルフォーカス時に撮影前の画像を拡大してピントの確認ができます。

1 MENUボタン →  (撮影設定) → [ピント拡大] を選ぶ。

2 コントロールホイール中央の●を押して画像を拡大し、▲/▼/◀/▶で拡大位置を調整する。



3 ピントの確認、調整をする。

- ・  (削除)ボタンを押すと拡大位置が中央に戻ります。
- ・ シャッター ボタンを半押しすると、拡大表示は解除されます。
- ・ 拡大表示する時間は、MENUボタン →  (カスタム設定) → [ピント拡大時間] で設定できます(44ページ)。

4 シャッター ボタンを押し込み撮影する。

- ・ 拡大表示中にシャッター ボタンを押しても撮影できますが、記録される画像は全体表示の範囲になります。
- ・ 撮影後、拡大表示は解除されます。

## ダイレクトマニュアルフォーカス(DMF)

オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動で微調整できます(ダイレクトマニュアルフォーカス)。

最初からマニュアルフォーカスでピントを合わせるよりもすばやくピント合わせができ、マクロ撮影などに便利です。

---

**1 フォーカスマードダイヤルを「DMF (ダイレクトマニュアルフォーカス)」にする。**

**2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。**

**3 シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを回してピントを調整する。**

- フォーカスリングを回すと、ピント位置までの距離の目安が画面に表示されます。

## MFアシスト

マニュアルフォーカスマードやダイレクトマニュアルフォーカスマードでピント合わせをするときに、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。

---

**1 MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [MFアシスト] → [入]を選ぶ。**

**2 フォーカスリングを回してピントを合わせる。**

画像が拡大される。拡大倍率は、コントロールホイール中央の●を押すたびに変わる。

- 拡大表示する時間は、MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [ピント拡大時間]で設定できます(44ページ)。

## ご注意

- 動画撮影のとき、[MFアシスト]は使用できません。

## AF/MFコントロール

撮影中にカメラのホールディングを崩すことなく、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます(AF/MFコントロール)。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

**MENUボタン → ⚙(カスタム設定) → [カスタムキー (撮影)] → 希望のボタン → [押す間AF/MFコントロール]または [再押しAF/MFコントロール] を選ぶ。**

[押す間AF/MFコントロール]：ボタンを押し続けている間、フォーカスモードが切り換わる。

[再押しAF/MFコントロール]：ボタンを再度押すまで、フォーカスモードが切り換わる。

## 瞳AF

ボタンを押している間、人物の目にピントを合わせます。

目にピントが合うと、目に枠が表示されます。フォーカスモードダイヤルが「S (シングルAF)」のときは、一定時間で枠が消えます。

**MENUボタン → ⚙(カスタム設定) → [カスタムキー (撮影)] → 希望のボタン → [瞳AF] を選ぶ。**

## ご注意

- 状況によっては、目にピントが合わせられない場合があります。目にピントが合わせられないときは、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- 人物の顔を検出できない場合、[瞳AF]は使用できません。
- フォーカスモードダイヤルを「MF（マニュアルフォーカス）」に設定しているときなど、状況によっては使用できない場合があります。
- 以下のときは、[瞳AF]がうまく働かないことがあります。
  - メガネ（サングラス）をかけた状態
  - 前髪がかかった状態
  - 低照度、逆光時
  - 目を閉じた状態
  - 影がかかった状態
  - ピントが大きくずれた状態
  - 被写体の動きが大きいとき
- 被写体の動きが大きいときは、目の枠の表示がずれことがあります。

# 露出補正

通常は、露出が自動的に設定されます（自動露出）。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、-側に補正すると、画像全体を暗くできます（露出補正）。

## MENUで設定するには

露出補正ダイヤルが0のときに、-5.0EV～+5.0EVの間で設定できます。

**1 露出補正ダイヤルを0に合わせる。**

**2 MENUボタン →  (撮影設定) → [露出補正] → 希望の設定を選ぶ。**

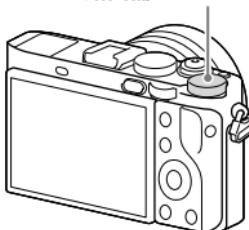
## 露出補正ダイヤルで設定するには

-3.0EV～+3.0EVの間で設定できます。

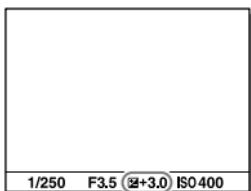
**1 露出補正ダイヤルを回す。**

- +（オーバー）側：画像が明るくなる。
- （アンダー）側：画像が暗くなる。

露出補正ダイヤル

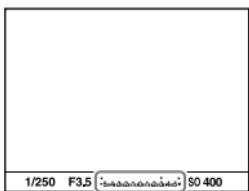


モニター表示



露出補正值

ファインダー表示



露出補正值

## 2 ピントを合わせて撮影する。

### 撮影のテクニック

- 撮影した画像を見て補正值を調整する。
- ブラケット撮影機能を使うと、露出値を前後にずらした複数枚の画像が撮影できる(117ページ)。

### ご注意

- 撮影モードが「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」または「シーンセレクション」のときは、露出補正できません。
- 撮影モードが「M」のときは、「ISO AUTO」のときのみ露出補正が可能です。
- 露出補正ダイヤルとメニューの「露出補正」では、露出補正ダイヤルの設定が優先されます。
- 撮影時に画面で確認できる数値は-3.0EVから+3.0EVまでです。その範囲外に設定した場合は、撮影時の画面では明るさは変わりませんが、記録した画像には反映されます。

### 露出補正の影響を変えるには

フラッシュの調光にも反映するか、定常光だけに反映するか設定できます。

MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [露出補正の影響] →  
希望の設定を選ぶ。

### [露出補正]を覚えておくには

電源を切ったときに、露出値を0にするか、[露出補正]で設定していた値を覚えておくかを設定できます。

MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [露出補正值のリセット] →  
希望の設定を選ぶ。

## 明るさを確認しながら調節するには

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [ゼブラ] → 希望の設定を選ぶ。**

# AEロック

逆光や窓際などでの撮影で、背景と被写体に大きな明暗の差がある場合は、被写体が適正な明るさになる箇所で測光し、露出を固定して撮影します。被写体の明るさを抑えたいときは被写体よりも明るい箇所で測光し、被写体をより明るくしたいときは被写体よりも暗い箇所で測光し、画面全体の露出を固定します。

ここでは、測光モードを  (スポット) にして撮る例で説明します。

- 
- 1 MENUボタン →  (撮影設定) → [測光モード] → [スポット] を選ぶ。

- 2 露出を合わせる箇所に、ピントを合わせる。

- 3 AELボタンを押して、露出を固定する。

- \* (AEロックマーク) が点灯する。
- ・測光インジケーターには、固定された露出を基準にしたスポット測光サークル内の測光値も表示される。



明るさを調整する

• 1/500 F4.5 囲±0.0 ISO 400 \*

- 4 AELボタンを押したまま、撮影したい被写体にピントを合わせ、撮影する。

- ・露出値を一定に保ったまま連続で撮影するときは、撮影後もAELボタンを押したままにする。指を離すと露出固定は解除される。
- ・  (カスタム設定) メニューの [カスタムキー (撮影)] → [AELボタン] で [再押しスポットAEL] を選ぶと、ボタンを押し続けなくても露出を固定できる。

# 測光モード

MENUボタン →  (撮影設定) → [測光モード] → 希望の設定を選ぶ。

<input type="checkbox"/> (マルチ)	複数に分割した画面を各エリアごとに測光し、画面全体の最適な露出を決定する。
<input checked="" type="checkbox"/> (中央重点)	画面の中央部に重点をおきながら、全体の明るさを平均的に測光する。
<input type="checkbox"/> (スポット)	中央部のスポット測光サークル内のみで測光を行う。

## 撮影のテクニック

- 一般的な撮影では、[マルチ]を使う。
- フォーカスエリア内に明暗の差が大きい被写体がある場合は、適正な明るさで写したい被写体の露出をスポット測光で測って、AEロック撮影をする(113ページ)。

## ご注意

- 以下の場合、測光モードは[マルチ]に固定され、他の測光モードに変更できません。
  - 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]または[シーンセレクション]
  - ズームを使用しているとき

# ドライブモードを選ぶ

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ドライブモード] → 希望の設定を選ぶ。**

□ (1枚撮影)	通常の撮影方法。
■ (連続撮影)	シャッター <button>ボタン</button> を押している間、連続して撮影する。
■ (速度優先連続撮影)	シャッター <button>ボタン</button> を押している間、高速で連続撮影する(最高5枚/秒)。
⌚ (セルフタイマー)	5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。
⌚c (セルフタイマー(連続))	指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定した枚数を連続撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。
BRK C (連続ブラケット)	
BRK S (1枚ブラケット)	
BRK WB (ホワイトバランスブラケット)	詳しくは「ブラケット撮影」(117ページ)をご覧ください。
BRK DRO (DROブラケット)	
BRK LC (ローパスLPFフィルターブラケット)	

## 撮影のテクニック

- 連続撮影中にピントと露出を合わせ続けるには、以下の設定に変更する。
  - フォーカスマードダイヤルを「C（コンティニュアスAF）」にする。
  - 【シャッター半押しAEL】を【切】または【オート】にする。
- 連続撮影中は、フォーカスマードダイヤルが「S（シングルAF）」のときはピントは1枚目で固定され、「C（コンティニュアスAF）」のときは被写体にピントを合わせ続ける。
- セルフタイマー作動中の電子音を消すには、【電子音】を【切】または【シャッター】にする（51ページ）。
- ブラケット撮影時のセルフタイマーを設定するには、  
【ドライブモード】でブラケットを選択して、MENUボタン →  
（撮影設定） → [ブラケット設定] →  
[ブラケット時のセルフタイマー]を選ぶ。

## ご注意

- 撮影モードが【シーンセレクション】で【スポーツ】を選んでいるときは、1枚撮影できません。
- 以下のときは、【連続撮影】、【速度優先連続撮影】ができません。
  - 撮影モードが【スイングパノラマ】
  - 撮影モードが【シーンセレクション】の【スポーツ】以外のシーン
  - 【ピクチャーエフェクト】が【ソフトフォーカス】、【絵画調HDR】、  
【リッチトーンモノクロ】、【ミニチュア】、【水彩画調】、【イラスト調】
  - 【DRO/オートHDR】が【オートHDR】
  - 【スマイルシャッター】使用時

## ブラケット撮影

設定を段階的にずらして撮影することをブラケット撮影といいます。

<b>BRK C (連続ブラケット)</b>	露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を記録する。撮影が終わるまでシャッターボタンを押し続ける。
<b>BRK S (1枚ブラケット)</b>	露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。
<b>BRK WB (ホワイトバランスブラケット)</b>	選択されているホワイトバランス、色温度、カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。Loのときは $10MK^{-1}$ 、Hiのときは $20MK^{-1}$ の幅がずれる。 * $MK^{-1}$ ：色温度変換フィルターの色温度変換能力を示すために用いられる単位(ミレッドと同じ値)。
<b>BRK DRO (DROブラケット)</b>	Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。LoのときはDROLv1、Lv2、Lv3の画像が撮影される。HiのときはDROLv1、Lv3、Lv5の画像が撮影される。
<b>BRK C LPF (ローパスフィルターブラケット)</b>	[ローパスフィルター効果] (120ページ)を [標準]、[強]、[切] の順に切り換えて、合計3枚の画像を記録する。

### [連続ブラケット] / [1枚ブラケット]での例

基準の露出に対して、上下にずらす値の幅(段数)を指定すると、自動的に露出値をずらして合計3枚、5枚または9枚の画像を撮影します。



基準の露出は1枚目で設定されます。

## ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、ブラケット撮影できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]
- [連続ブラケット]、[1枚ブラケット]時に撮影モードが「M」で[ISO AUTO]のときは、ISO感度を変化させて露出値をずらします。撮影モードが「M」で[ISO AUTO]以外のときは、シャッタースピードを変化させて露出値をずらします。
- [連続ブラケット]、[1枚ブラケット]時に露出値を補正しているときは、補正している露出を基準に、露出をずらして撮影されます。
- フラッシュ発光時は[連続ブラケット]を選んでいても、調光量をずらして撮影するフラッシュブラケットになります。1枚ずつシャッターボタンを押して撮影してください。
- [ローパスフィルターブラケット]時にフラッシュ（別売）を使用する場合は、1枚ずつシャッターボタンを押して撮影してください。

## 露出ブラケット撮影時のインジケーター

	定常光*ブラケット 段数0.3段 3枚 露出補正±0.0段	フラッシュブラケット 段数0.7段 3枚 調光補正-1.0段
ファインダー	$-5\frac{1}{4} : 3\frac{1}{2} : 1\frac{1}{10} : 1\frac{1}{2} : 3\frac{1}{4} : 5 +$	表示されません
モニター (全情報表示/ヒストグラムのとき)	$-5\frac{1}{4} : 3\frac{1}{2} : 1\frac{1}{10} : 1\frac{1}{2} : 3\frac{1}{4} : 5 +$	$-4\frac{1}{3} : 2\frac{1}{10} : 0\frac{1}{1} : 2\frac{1}{2} +$
モニター (ファインダー撮影用のとき)	$\frac{5\frac{1}{4} : 3\frac{1}{2} : 1\frac{1}{10} : 1\frac{1}{2} : 3\frac{1}{4} : 5}{3\frac{1}{2} : 1\frac{1}{10} : 1\frac{1}{2} : 3} \pm 0.0$ (上段に表示)	$\frac{5\frac{1}{4} : 3\frac{1}{2} : 1\frac{1}{10} : 1\frac{1}{2} : 3\frac{1}{4} : 5}{4\frac{1}{3} : 2\frac{1}{10} : 1\frac{1}{2}} \pm -1.0$ (下段に表示)

\* 定常光：自然光や電球・蛍光灯など、フラッシュ光以外の総称。フラッシュ光が一瞬だけ光るのに対し、常に一定して存在する光なのでこう呼ばれます。

- ブラケット撮影時には、ブラケット撮影枚数分の指標がブラケットインジケーターに表示されます。
- ブラケット撮影を開始すると、撮影済みの指標が順に消えていきます。

## ブラケット撮影の設定を変更するには

ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定できます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ブラケット設定] → 設定したい項目を選ぶ。**

### ご注意

- [ローパスフィルターブラケット]の撮影順序は変更できません。

# ローパスフィルター効果を設定する

本機には光学式可変ローパスフィルターが搭載されています。ローパスフィルター効果を被写体に合わせて変更することで、解像感を優先したり、モアレや偽色を低減したりできます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ローパスフィルター効果] → 希望の設定を選ぶ。**

<b>LPP OFF (切)</b>	ローパスフィルター効果を使用しない。解像感を優先する。
<b>LPP STD (標準)</b>	解像感とモアレや偽色の低減効果のバランスを取ります。
<b>LPP HI (強)</b>	モアレや偽色の低減効果を優先する。

## ご注意

- ・ 本機の設定や被写体によっては、充分な効果が得られない場合があります。
- ・ 設定を切り換えている間はモニターに  が表示されます。その間も撮影はできますが、ローパスフィルター効果の設定は保証されません。その間に撮影された画像には、再生画面に  が表示されます。
- ・ 撮影モードが以下の場合は[ローパスフィルター効果]は[切]に固定され、変更できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [シーンセレクション]
  - [スイングパノラマ]
  - [動画]

# フラッシュ（別売）を使う

暗い場所での撮影では、フラッシュを使うと被写体を明るく写せ、手ブレを抑えるのにも役立ちます。また逆光などで被写体が暗くなる場合も、フラッシュにより、明るく写せます。フラッシュの使いかたについて詳しくは、フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

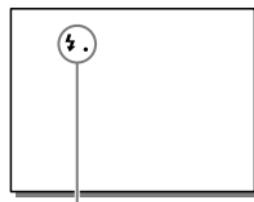
## 1 シューキャップをはずし、フラッシュ（別売）を取り付ける。

- マルチインターフェースキーにしつかり止まるまで、矢印の方向へ差し込んでからロックする。取り付け後にロックされていることを確認する。
- ファインダーを上げた状態では、フラッシュがファインダーに接触する場合があります。



## 2 フラッシュの電源を入れ、フラッシュの充電が完了したら、撮影する。

- 点滅：フラッシュ充電中。
- 点灯：フラッシュの充電が完了。
- 暗所での撮影など、オートフォーカスでピントが合いにくい状況でシャッターボタンを半押しすると、本機のAF補助光が発光する。



応用撮影

## 3 MENUボタン → (撮影設定) → [フラッシュモード] → 希望の設定を選ぶ。

- 撮影モードごとの選択可能なフラッシュモードについては、125ページをご覧ください。

④ (発光禁止)	発光しない。
AUTO (自動発光)	光量不足/逆光と判断したとき発光する。
⚡ (強制発光)	必ず発光する。
⚡ SLOW (スローシンクロ)	必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
⚡ REAR (後幕シンクロ)	露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。
⚡ WL (ワイヤレス)	フラッシュを本機に取り付けて撮影したときよりも被写体に陰影が付いて立体感を出すことができる。

#### 撮影のテクニック

- ・フラッシュ発光時は被写体から1m以上離れて撮影する。
- ・屋内での撮影や夜景撮影時、スローシンクロを使うと、人物と背景が明るく撮れる。
- ・後幕シンクロを使って、走っている自転車など、動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

#### 赤目を軽減して撮るには

フラッシュ撮影時に目が赤くなるのを軽減する設定に変更できます。

MENUボタン →  (撮影設定) → [赤目軽減発光] → [入]を選ぶ。

## ワイヤレスフラッシュ

- 1 シューキャップをはずし、HVL-F60M、HVL-F43M、HVL-F32M、HVL-F20Mを取り付ける(121ページ)。
- 2 取り付けたフラッシュをワイヤレスコントローラーに設定する。
- 3 MENUボタン →  (撮影設定) → [フラッシュモード] →  (ワイヤレス)を選ぶ。
- 4 ワイヤレス設定した他のフラッシュを本機から離して設置する。
- 5 テスト発光する場合は、本機のAELボタンを押す。

### ご注意

- ワイヤレスフラッシュ撮影している別のカメラの信号光を、本機で設定したワイヤレスフラッシュが受信してフラッシュが発光してしまう場合は、フラッシュのチャンネルを変更してください。チャンネルの変更について詳しくは、フラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- ワイヤレスフラッシュで撮影するには、コントローラーとワイヤレスフラッシュの2台のフラッシュが必要です。
- HVL-F20Mはコントローラーとしてのみ使用可能です。

### AELボタンの設定について

ワイヤレスフラッシュご使用の際には、 (カスタム設定)の [カスタムキー (撮影)] → [AELボタン] (183ページ)を、[押す間AEL]に設定しておくことをおすすめします。

## ワイヤレス光量比制御について

対応する複数のフラッシュと組み合わせて、ワイヤレス光量比制御も行えます。詳しくはフラッシュ (HVL-F60M、HVL-F43M) の取扱説明書をご覧ください。

### スローシンクロ

スローシンクロでシャッタースピードを遅くして撮ると、被写体だけではなく、背景も明るく撮れます。夜景を背景にしたフラッシュ撮影をする場合などに便利です。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [フラッシュモード] → [スローシンクロ] を選んで、撮影する。**

# 使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

○は対応可能、×は対応不可能を表しています。

選べないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード		⌚ (発光 禁止)	AUTO (自動 発光)	⚡ (強制 発光)	SLOW (スロー シンクロ)	REW (後幕 シンクロ)	VL (ワイヤ レス)
<b>AUTO</b> (75)	i <sup>+</sup> i <sup>+</sup>	○	○	○	×	×	×
<b>SCN</b> (77)	⌚	○	○	○	×	×	×
	煙	○	×	○	×	×	×
	▲	○	×	○	×	×	×
	▬	○	×	○	×	×	×
	☽	○	×	×	×	×	×
	✋	○	×	×	×	×	×
	👤	×	×	×	○	×	×
	👫	○	×	×	×	×	×
<b>□</b> (80)		○	×	×	×	×	×
<b>P</b> (83)		×	×	○	○	○	○
<b>A</b> (84)		×	×	○	○	○	○
<b>S</b> (85)		×	×	○	○	○	○
<b>M</b> (87)		×	×	○	○	○	○
<b>■</b> (160)		○	×	×	×	×	×

# 調光補正

フラッシュ撮影時は、露出補正とは別に、フラッシュの発光量を調整することで、フラッシュ光が届く主被写体の露出を変更できます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [調光補正] → 希望の数値を選ぶ。**

十側：発光量を増やす。

一側：発光量を減らす。

## ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、調光補正はできません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]
- 被写体がフラッシュ光の最大到達距離(調光距離)付近より遠くにあるときは、オーバー側(+側)の効果が出ないことがあります。また、近接撮影ではアンダー側(-側)の効果が出ないことがあります。

## 露出補正と調光補正の違い

露出補正では、シャッタースピード・絞り値・ISO感度(AUTOの場合)が変化することによって補正が行われます。

調光補正では、フラッシュの発光量のみが変化します。

# ISO感度を設定する

光に対する感度は、ISO感度(推奨露光指数)で表します。数値が大きいほど高感度になります。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ISO感度] → 希望の設定を選ぶ。**

- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増える。
- [マルチショットNR]を選んだ場合は、コントロールホイールの▶で設定画面を表示して、▲/▼で希望の数値を選ぶ。
- コントロールホイールで選ぶと1/3段ずつ数値を変更できる。コントロールダイヤルで選ぶと1段ずつ数値を変更できる。

## ご注意

- ISO100未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が少し狭くなります。
- 撮影モードが以下の場合、ISO感度は[ISO AUTO]に固定され、変更できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]
- 撮影モードが「P」、「A」、「S」、「M」のとき、ISO感度を[ISO AUTO]にすると、設定された範囲内で自動設定されます。

## ISO感度が[ISO AUTO]時に自動設定される範囲を変更するには

[ISO AUTO]を選択したときにコントロールホイールの▶を押して、[ISO AUTO 上限]、[ISO AUTO 下限]を選んで希望の数値を設定する。

## マルチショットNR

自動的に複数枚の連写を行い、画像を合成し、ノイズを軽減して記録します。

記録される画像は合成された1枚のみです。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ISO感度] → [マルチショットNR]を選ぶ。**

### ご注意

- ・ [画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]のとき、[マルチショットNR]は設定できません。
- ・ ISO感度が[マルチショットNR]に設定されているとき、フラッシュ、[Dレンジオプティマイザー]、[オートHDR]は使用できません。

## ISO AUTO低速限界

撮影モードが「P（プログラムオート）」または「A（絞り優先）」で[ISO AUTO]または[マルチショットNR]の[ISO AUTO]を選択したときに、ISO感度が変わり始めるシャッタースピードを設定できます。この機能は、動いている被写体を撮影するときに効果的です。手ブレを抑えながら、被写体ブレも軽減することができます。

詳しくはヘルプガイド(242ページ)をご覧ください。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ISO AUTO低速限界] → 希望の設定を選ぶ。**

<b>FASTER (より高速)</b>	[標準]よりも速いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、手ブレや被写体ブレを抑えることができる。
<b>FAST (高速)</b>	カメラが自動で設定する。
<b>STD (標準)</b>	
<b>SLOW (低速)</b>	[標準]よりも遅いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、ノイズの少ない写真を撮影できる。
<b>SLOWER (より低速)</b>	
<b>1/4000 ~ 30"</b>	設定したシャッタースピードでISO感度が変わり始める。

### 撮影のテクニック

- [より高速]、[高速]、[標準]、[低速]、[より低速]でISO感度が変わり始めるシャッタースピードの差は、それぞれ1段分です。

### ご注意

- [ISO AUTO 上限]を設定していて、上限までISO感度を上げても露出不足になる場合は、適正露出で撮影するために[ISO AUTO低速限界]で設定したシャッタースピードよりも低速になります。
- 以下の場合、設定されたシャッタースピードのとおりに動作しないことがあります。
  - 紋りによってシャッタースピードの最高速が変わったとき
  - [フラッシュモード]が[強制発光]または[ワイヤレス]で、暗いシーンをフラッシュ撮影するとき(低速側のシャッタースピードが、カメラが自動で判断したシャッタースピードで制限されるため)

# 明るさ、コントラストを自動補正する (DRO/オートHDR)

MENUボタン →  (撮影設定) → [DRO/オートHDR] →  
希望の設定を選ぶ。

<b>DRO (切) OFF</b>	DRO/オートHDR機能を使わない。
<b>DRO (Dレンジオプティマイザー)</b>	被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にする。
<b>HDR (オートHDR)</b>	露出の異なる3枚の画像を撮影し、適正露出の画像とアンダー画像の明るい部分、オーバー画像の暗い部分を合成することにより階調豊かな画像にする。 適正露出画像と、合成された画像の2枚が記録される。

## Dレンジオプティマイザー

1 MENUボタン →  (撮影設定) → [DRO/オートHDR] →  
[Dレンジオプティマイザー]を選ぶ。

2 コントロールホイールの◀/▶で最適化レベルを選ぶ。

<b>DRO (Dレンジオプティマイザー：オート)</b>	本機が自動で調整する。
<b>DRO (レベル設定) *</b>	撮影画像の階調を、画像の領域ごとに最適化する。Lv1 (弱) ~ 5 (強)で最適化レベルを選ぶ。

\* **DRO** と一緒に表示されるLv\_は、現在の設定値。

## ご注意

- 以下の場合、[Dレンジオプティマイザー]は[切]に固定されます。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - ISO感度が[マルチショットNR]
  - [ピクチャーエフェクト]が[切]以外
- シーンセレクションの[夕景]、[夜景]、[夜景ポートレート]、[手持ち夜景]、[人物ブレ軽減]では、[Dレンジオプティマイザー]は[切]に固定されます。これら以外のシーンセレクションでは[Dレンジオプティマイザー：オート]に固定されます。
- Dレンジオプティマイザー動作時は、ノイズが目立つ場合があります。特に補正効果を強めるときは、撮影後の画像を確認しながらレベルを選んでください。

## オートHDR

**1 MENUボタン →  (撮影設定) → [DRO/オートHDR] → [オートHDR]を選ぶ。**

**2 コントロールホイールの◀/▶で最適化レベルを選ぶ。**

 (オートHDR : 露出差オート)	本機が自動で調整する。
 (レベル設定) *	被写体の明暗差に応じて露出差を設定する。 1.0Ev (弱) ~ 6.0Ev (強) で最適化レベルを選ぶ。 例: 2.0Evでは-1.0Evの画像、適正露出の画像、+1.0Evの画像の3枚が合成される。

\* と一緒に表示される\_Evは、現在の設定値。

## 撮影のテクニック

- 一度の撮影で3回シャッターが切られるため、以下に注意する。
  - 動きや点滅発光などがない被写体のときに設定する。
  - 構図が変わらないように撮影する。

## ご注意

- [オートHDR]は、RAW画像には設定できません。
- 以下の場合、[オートHDR]を設定できません。
  - 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]、[スイングパノラマ]または[シーンセレクション]
  - ISO感度が[マルチショットNR]
  - [ピクチャーエフェクト]が[切]以外
- 撮影後、処理が終わるまで次の撮影はできません。
- 被写体の輝度差の状況や撮影環境によっては思い通りの効果を得られないことがあります。
- フラッシュ発光時は、効果がほとんど得られません。
- コントラストが低いシーンや、大きな手ブレ、被写体ブレが発生した場合は、良好なHDR画像が撮影できていないことがあります。カメラがこのような状態を検出した場合は、再生画像に **HDR**  を表示してお知らせします。必要に応じて、構図を変えたり、ブレに注意して撮影し直してください。

# 画像の仕上がりを設定する

## ピクチャーエフェクト

好みの効果を選んで、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ピクチャーエフェクト] → 希望のモードを選ぶ。**

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、コントロールホイールの◀/▶で希望の設定を選ぶ。

 OFF (切)	効果を使用しない。
 (トイカメラ)	周辺が暗く、シャープ感を抑えた柔らかな仕上がりになる。◀/▶で色合いを設定できる。
 (ポップカラー)	色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。
 (ポスタリゼーション)	原色のみ、または白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。◀/▶で[白黒]か[カラー]かを選択できる。
 (レトロフォト)	古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。
 (ソフトハイキー)	明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持ったような仕上がりになる。
 (パートカラー)	1色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。◀/▶で残す色を設定できる。
 (ハイコントラストモノクロ)	明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。
 (ソフトフォーカス)	柔らかな光につつまれたような雰囲気の仕上がりになる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

 (絵画調HDR)	絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。3回シャッターが切れる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。
 (リッチトーンモノクロ)	階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。3回シャッターが切れる。
 (ミニチュア)	ミニチュア模型を撮影したようにボケが大きく、鮮やかな仕上がりになる。◀/▶でボケる位置を設定できる。
 (水彩画調)	にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。
 (イラスト調)	輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

## ご注意

- ズームを使用するとき、ズーム倍率が高くなると[トイカメラ]の効果は弱くなります。
- [パートカラー]のとき、被写体や撮影条件によっては設定した色が残らないことがあります。
- 以下の場合、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。
  - 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]または[スイングパノラマ]
  - [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]
- [ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]のときは、撮影前に効果を確認できません。
- [絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]ではコントラストが低いシーンや、大きな手ブレ、被写体ブレが発生した場合に良好な結果が得られない場合があります。カメラがこのような状態を検出した場合は、再生画像に■を表示してお知らせします。必要に応じて、構図を変えたり、ブレに注意して撮影し直してください。

## クリエイティブスタイル

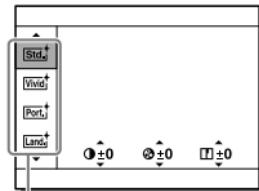
13種類の画像スタイルから画像の仕上がりを設定でき、各画像スタイルごとにコントラスト、彩度、シャープネスを微調整できます。

カメラまかせで撮影するシーンセレクションと異なり、露出(シャッタースピード/絞り)なども調整できます。

### 1 MENUボタン → (撮影設定)

→ [クリエイティブスタイル]を  
選ぶ。

- 13種類のクリエイティブスタイルと、  
任意に内容を登録できる6つのスタイル  
ボックス(のように左側に数字  
が入っているもの)が表示される。

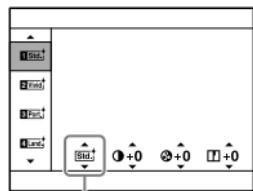


クリエイティブスタイル/  
スタイルボックス

### 2 コントロールホイールの▲/▼で 希望のクリエイティブスタイル

またはスタイルボックスを選ぶ。

- スタイルボックスを選んだときは、▶  
で右側に移動し、希望のクリエイティ  
ブスタイルを選ぶ。
- スタイルボックスを使えば、同じスタ  
イルでも微妙に設定を変えて呼び出す  
ことができる。

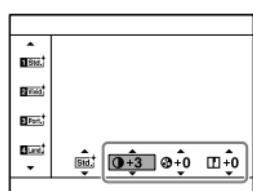


スタイルボックスを選  
んでいるときのみ表示

応用  
撮影

### 3 ● (コントラスト)、◎ (彩度)、

□ (シャープネス)を調整したい  
ときは、◀/▶で希望の項目を選  
び、▲/▼で値を選ぶ。



<u>Std.<sup>†</sup></u> <b>(スタンダード)</b>	さまざまなシーンを豊かな階調と美しい色彩で表現する。
<u>Vivid<sup>†</sup></u> <b>(ビビッド)</b>	彩度・コントラストが高めになり、花、新緑、青空、海など色彩豊かなシーンをより印象的に表現する。
<u>Ntr.<sup>†</sup></u> <b>(ニュートラル)</b>	彩度・シャープネスが低くなり、落ち着いた雰囲気に表現する。パソコンでの画像加工を目的とした撮影にも適している。
<u>Clear<sup>†</sup></u> <b>(クリア)</b>	ハイライト部分の抜けがよく、透明感のある雰囲気に表現する。光の煌めき感などの表現に適している。
<u>Deep<sup>†</sup></u> <b>(ディープ)</b>	濃く深みのある色再現にする。重厚感、存在感など、重みのある表現に適している。
<u>Light<sup>†</sup></u> <b>(ライト)</b>	明るく、すっきりとした色再現にする。爽快感、軽快感など明るい雰囲気の表現に適している。
<u>Port.<sup>†</sup></u> <b>(ポートレート)</b>	肌をより柔らかに再現する。人物の撮影に適している。
<u>Land<sup>†</sup></u> <b>(風景)</b>	彩度、コントラスト、シャープネスがより高くなり、鮮やかでメリハリのある風景に再現する。遠くの風景もよりくっきりする。
<u>Sunset<sup>†</sup></u> <b>(夕景)</b>	夕焼けの赤さを美しく表現する。
<u>Night<sup>†</sup></u> <b>(夜景)</b>	コントラストがやや低くなり、見た目の印象により近い夜景に再現する。
<u>Autm.<sup>†</sup></u> <b>(紅葉)</b>	紅葉の赤・黄をより鮮やかに表現する。
<u>B/W<sup>†</sup></u> <b>(白黒)</b>	白黒のモノトーンで表現する。
<u>Sepia<sup>†</sup></u> <b>(セピア)</b>	セピア色のモノトーンで表現する。
<u>1 Std.<sup>†</sup></u> <b>(スタイルボックス 1 ~ 6)</b>	お好みの設定を登録する。

● (コントラスト)、◎ (彩度)、□ (シャープネス)は、スタイルボックスごとに調整できます。

● (コントラスト)	十側に設定するほど明暗差が強調され、インパクトのある仕上がりになる。
◎ (彩度)	十側にするほど色が鮮やかになる。一側に設定すれば、控えめで落ち着いた色に再現される。
□ (シャープネス)	解像感を調整できる。十側に設定すれば輪郭がよりくっきりし、一側に設定すればやわらかな表現になる。

### ご注意

- 以下の場合、[クリエイティブスタイル]は[スタンダード]に固定され、他のクリエイティブスタイルには変更できません。
  - 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]または[シーンセレクション]
  - [ピクチャーエフェクト]が[切]以外
- [白黒]、[セピア]を選択しているときは、彩度の調整はできません。

# 色合いを調整する(ホワイトバランス)

被写体の色合いは、被写体を照らしている光の特性によって異なります。太陽光のもとで白く見えるものを基準にすると、下図のように色合いが変化します。

天候や照明	晴れ 	曇り 	蛍光灯 	電球 
光の特性	白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

画像の色合いが思った通りにならなかったときや、意図して色合いを変化させて雰囲気を表現したいときにホワイトバランス機能を使います。

## ご注意

- 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]または[シーンセレクション]のときは、[ホワイトバランス]は[オート]に固定され、他のホワイトバランスモードに変更できません。
- 水銀灯やナトリウムランプのみが光源の場合、光の特性上、正確なホワイトバランスが得られません。フラッシュを発光して撮影してください。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [ホワイトバランス] → 希望の設定を選ぶ。**

<b>AWB (オート)</b>	光源が自動判別され、適した色合いになる。
(太陽光)	被写体を照らしている光源を選ぶと、選んだ光源に適した色合いになる(プリセットホワイトバランス)。
(日陰)	
(曇天)	
(電球)	
-1 (蛍光灯：温白色)	• コントロールホイールの▶で、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できる。▲/▼/◀/▶で好みの色合いに設定する(140ページ)。
0 (蛍光灯：白色)	
+1 (蛍光灯：昼白色)	
+2 (蛍光灯：昼光色)	
(フラッシュ)	

### 撮影のテクニック

- 選んだ設定で思い通りの色が出ないときは、ホワイトバランスブレケット撮影を行う(117ページ)。

## 色温度・カラーフィルター

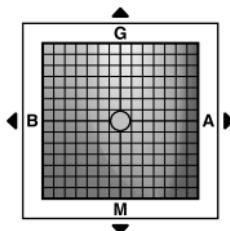
希望の色温度を選び、色温度とカラーフィルターの組み合わせで色合いの微調整ができます。

1 MENUボタン → **(撮影設定)** → [ホワイトバランス] → [色温度・カラーフィルター]を選ぶ。

2 コントロールホイールの▶を押して、▲/▼で色温度を設定する。

3 ▶を押して微調整画面を表示し、  
▲/▼/◀/▶で好みの色合いに設定  
する。

◀でブルー(B)方向、▶でアンバー(A)  
方向に微調整できる。  
▲でグリーン(G)方向、▼でマゼンタ(M)  
方向に微調整できる。



### ご注意

- ナトリウム灯/水銀灯の光源下ではカスタムホワイトバランスの使用をおすすめします。

## カスタムホワイトバランス

複数の種類の光源で照明されている場合などで、より正確に白さを表現したいときは、カスタムホワイトバランスの使用をおすすめします。3つの設定を登録できます。

1 MENUボタン → **(撮影設定)** → [ホワイトバランス] → [カスタムセット]を選ぶ。

- 
- 2 白く写したいものが中央部のフォーカスエリア付近を覆うようにカメラを構えて、コントロールホイール中央の●を押す。**  
シャッター音がして、取り込んだ値(色温度とカラーフィルター)が表示される。
- 

**3 ◀/▶で登録番号を選び、中央の●を押す。**

登録したカスタムホワイトバランス値が設定された状態で、撮影情報画面に戻る。

- この操作で登録したカスタムホワイトバランス値は、次に別の値が登録されるまで保持される。
- 

**ご注意**

- [カスタムWB設定エラー]というメッセージが表示されたときは、値が想定外であることを示しています(鮮やかな色の被写体に向けた場合など)。そのまま登録することは可能ですが、設定し直すことをおすすめします。カスタムWB設定エラーとなっている場合、撮影情報画面の■表示がオレンジ色になります(正しく登録された場合は白色になります)。

**登録したカスタムホワイトバランスを呼び出すには**

MENUボタン →  (撮影設定) → [ホワイトバランス] → 希望のカスタム登録番号を選ぶ。

- コントロールホイールの▶を押すと、微調整画面が表示され、色合いを微調整できる。

**ご注意**

- シャッターボタンを押すときにフラッシュを発光させると、フラッシュ光でカスタムホワイトバランスが登録されます。呼び出したあとの撮影でもフラッシュを発光させて撮影してください。

# 画像サイズを変える

## □ 画像サイズ

MENUボタン →  (撮影設定) → [□ 画像サイズ] → 希望のサイズを選ぶ。

[横縦比] が3:2のとき		[横縦比] が4:3のとき	
<b>L:42M</b>	7952×5304画素	<b>L:38M</b>	7072×5304画素
<b>M:18M</b>	5168×3448画素	<b>M:16M</b>	4592×3448画素
<b>S:11M</b>	3984×2656画素	<b>S:9.4M</b>	3536×2656画素
[横縦比] が16:9のとき		[横縦比] が1:1のとき	
<b>L:36M</b>	7952×4472画素	<b>L:28M</b>	5296×5296画素
<b>M:15M</b>	5168×2912画素	<b>M:12M</b>	3440×3440画素
<b>S:8.9M</b>	3984×2240画素	<b>S:7.1M</b>	2656×2656画素

### ご注意

- ・ [□画質] でRAW画像を選ぶと、RAW画像の画像サイズはL相当となります。画面に画像サイズは表示されません。

## パノラマ：画像サイズ

スイング撮影の画像サイズを設定します。[パノラマ：撮影方向] (82ページ) によって、サイズが異なります。

MENUボタン →  (撮影設定) → [パノラマ：画像サイズ] → 希望のサイズを選ぶ。

標準	撮影方向[上][下] : 3872×2160 撮影方向[左][右] : 8192×1856
ワイド	撮影方向[上][下] : 5536×2160 撮影方向[左][右] : 12416×1856

# 画像の横縦比と画質を設定する

## ▣ 横縦比

**MENUボタン →  (撮影設定) → [▣横縦比] → 希望の比率を選ぶ。**

<b>3:2</b>	通常の横縦比率。
<b>4:3</b>	パソコンで表示するのに適したサイズで撮影する。
<b>16:9</b>	ハイビジョンテレビ比率。
<b>1:1</b>	中判カメラのような構図で撮影できる。

### ご注意

- 撮影モードが[スイングパノラマ]のときは設定できません。

## ▣ 画質

**MENUボタン →  (撮影設定) → [▣画質] → 希望の設定を選ぶ。**

<b>RAW</b>	ファイル形式 : RAW デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>画像サイズは常に最大サイズで固定され、画面には画像サイズは表示されない。</li> </ul>
<b>RAW+J (RAW+JPEG)</b>	ファイル形式 : RAW+JPEG 上記RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像というように、両方の画像を記録したい場合に便利。 JPEGの画質は[FINE]になる。

<b>X.FINE</b> (エクストラファイン)	ファイル形式：JPEG 画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。
<b>FINE (ファイン)</b>	[X.FINE]、[FINE]、[STD]の順で圧縮率が大きくなり、データ量が少なくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。
<b>STD</b> (スタンダード)	

#### ご注意

- 撮影モードが[スイングパノラマ]のときは、[画質]は設定できません。

### RAW記録方式

MENUボタン → (撮影設定) → [RAW記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

<b>RAW (圧縮)</b>	圧縮RAW形式で記録する。
<b>RAW (非圧縮)</b>	非圧縮RAW形式で記録する。 [圧縮]よりもファイルサイズが大きくなる。

#### ご注意

- [非圧縮]に設定しているときは、画面表示のアイコンがRAWに変わります。また、非圧縮RAWで撮影された画像を再生すると、RAWが表示されます。

### RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImage Data Converterが必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
  - RAW形式の画像は、DPOF(プリント)指定はできません。
  - RAW形式の画像には、[オートHDR]、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。
- 本機で撮影したRAW画像は、1ピクセルに対して14ビットの分解能を持っています。ただし、以下の撮影時は、12ビットの分解能に制限されます。
  - 長秒時ノイズリダクション
  - バルブ撮影
  - 連続撮影(プレミアムおまかせオート時の複数枚連写なども含む)

# 顔を検出する

カメラが人物の顔を判別し、人物にあわせて、ピントや露出、画像処理、フラッシュの調整をします。

**MENUボタン → [撮影設定] → [顔検出/スマイルシャッター] → 希望の設定を選ぶ。**

[ OFF (切)	顔検出機能を使わない。
[ (入(登録顔優先))	[個人顔登録]で登録した顔を優先して顔検出を行う(147ページ)。
[ ON (入)	登録した顔を優先せずに顔検出を行う。
[ (スマイルシャッター)]	笑顔を検出して自動撮影する。

## 顔検出枠について

顔を検出すると、灰色の顔検出枠が表示されます。オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になり、シャッターボタンを半押しすると緑色になります。

- シャッターを半押ししたときに、オートフォーカス可能エリアに顔が検出されないときは、ピントを合わせたフォーカスエリアが緑色に表示されます。
- 複数の顔を検出した場合は、優先的に調整する顔を自動で選択し、1か所の顔検出枠が白色になります。それ以外の登録されている顔の検出枠は赤紫色になります。



## 美肌効果の設定をするには

顔検出時、被写体の肌をなめらかに撮影する効果を設定します。

**MENUボタン → (撮影設定) → [美肌効果] → 希望の設定を選ぶ。**

### 撮影のテクニック

- 顔検出枠とフォーカスエリアが重なるように構図を工夫する。

### ご注意

- 以下のときは、顔検出機能が使用できません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - [ピクチャーエフェクト]が[ポスタリゼーション]
  - ズーム使用時
  - ピント拡大時
  - 撮影モードが[シーンセレクション]の[風景]、[夜景]、[夕景]
  - [映像記録設定]が[120p 50M]
- 最大8人の顔を検出できます。
- 状況によっては、顔が検出されなかったり、顔以外を誤検出することがあります。

## 個人顔登録

顔情報を登録しておくと、登録した顔を優先して顔検出を行うことができます。

**1 MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [個人顔登録] → [新規登録] を選ぶ。**

**2 登録したい顔をガイド枠内に合わせて、シャッター ボタンを押して登録する顔を撮影する。**

**3 [実行] を選び、中央の●を押す。**

- 最大8人の顔を登録できる。
- 明るい場所で、正面を向いた顔を撮影する。帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れると、正しく登録できないことがある。

### 登録した顔の優先順を変更するには

複数の顔を登録したときは登録した順で優先順位が設定されます。優先順を変更することができます。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [個人顔登録] → [優先順序変更] → 優先順を変更する顔と変更先を選ぶ。**

### 登録した顔を削除するには

登録した顔を削除できます。

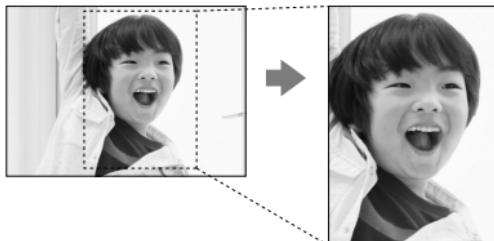
**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [個人顔登録] → [削除] → 削除する顔を選ぶ。**

- [全て削除] を選ぶと、すべての顔をまとめて削除できます。

#### ご注意

- [削除] を行っても、カメラ内に登録した顔のデータが残っています。カメラ内からも削除したい場合は、[全て削除]を行ってください。

## オートフレーミング



人物の顔やマクロ撮影する、またロックオンAFでとらえた被写体を検出して撮影すると、自動的に最適な構図に切り出し(トリミング)された画像が記録されます。トリミング前の画像と、トリミングされた画像の2枚が記録されます。

トリミングされた画像は、オリジナル画像と同じ画像サイズで記録されます。

- 撮影後のオートレビューでは、トリミングされた領域を示す枠が表示される。

**MENUボタン → (撮影設定) → [☑オートフレーミング] → 希望の設定を選ぶ。**

- お買い上げ時は、[切]に設定されています。

## ご注意

- 撮影モード[スイングパノラマ]、[動画]、[シーンセレクション]の  
[手持ち夜景]、[スポーツ]、[人物ブレ軽減]時は使用できません。
- 撮影状況によっては最適な構図でトリミングされない場合があります。
- [画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]のときは設定できません。
- 以下の場合、[オートフレーミング]は使用できません。
  - [ライブモード]が[連続撮影]、[セルフタイマー(連続)]、  
[連続ブラケット]、[1枚ブラケット]、[ホワイトバランスブラケット]、  
[DROブラケット]、[ローパスフィルターブラケット]
  - ISO感度が[マルチショットNR]
  - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
  - ズーム
  - マニュアルフォーカス
  - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、  
[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]

# スマイルシャッター

笑顔を検出すると自動で撮影します。

**1 MENUボタン → (撮影設定) → [顔検出/スマイルシャッター] → [入：普通の笑顔] → コントロールホイールの◀/▶で希望のスマイル検出感度を選ぶ。**

- ◉ (微笑み)、◉ (普通の笑顔)、◉ (大笑い)の3段階で、笑顔を検出する感度を変更できる。
- ・スマイルシャッター作動中は、画面にスマイル検出感度インジケーターが表示される。

**2 笑顔を待つ。**

笑顔を検出し、ピントが合い、スマイルレベルがインジケーターの◀を超えると、自動で撮影される。

- ・スマイルシャッターの対象となる顔を認識するとオレンジ色の顔検出枠が表示され、ピントの合っている顔検出枠が緑色になる。
- ・[オートフレーミング]を[オート]にしていると、最適な構図を決めて自動的にトリミングされる。



スマイル検出感度インジケーター

**3 終了するときは、MENUボタン → (撮影設定) → [顔検出/スマイルシャッター] → [スマイルシャッター]以外を選ぶ。**

## 撮影のテクニック

- 笑顔にピントを合わせるには、顔検出枠とフォーカスエリアが重なるようにする。
- 前髪が目にかかるないようにし、目は細めにする。
- 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。
- カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。
- 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。
- スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できる。  
撮影後はスマイルシャッターに戻る。

## ご注意

- 以下の場合、[スマイルシャッター]は使用できません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - 動画撮影時
  - 撮影モードが[シーンセレクション]の[手持ち夜景]、[人物ブレ軽減]、[風景]、[夜景]、[夕景]
  - [ピクチャーエフェクト]が[切]以外
- スマイルシャッター使用時、ライブモードは[1枚撮影]のみになります。
- 笑顔が検出されない場合はスマイル検出感度を設定してください。
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- スマイルシャッター中にロックオンAFで顔を追尾させると、その顔だけがスマイル検出の対象になります(101ページ)。

# ズームする

## ワンプッシュでズームする(スマートテレコンバーター)

スマートテレコンバーターを使って画像の中央部分を拡大表示し、記録できます。

**1 MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [カスタムキー (撮影)] → 希望のボタン → [スマートテレコンバーター]を選ぶ。**

**2 機能を割り当てたボタンを押す。**

- ズーム倍率は、ボタンを押すたびに、約1.4倍 → 約2.0倍 → オフに切り換わる。

ズーム倍率によって、画像サイズは以下の設定値になります。

ズーム倍率	画像サイズ
約1.4倍	MまたはS
約2.0倍	S

### ご注意

- 以下の場合は、スマートテレコンバーターは使用できません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]のとき
  - [画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]のとき
- スマートテレコンバーター中は[測光モード]が[マルチ]になります。
- 動画撮影中は、スマートテレコンバーターは使えません。

## ズーム機能を使う

### 本機で使用するズームを設定するには

使用するズームは、以下の手順で選べます。

MENUボタン →  (カスタム設定) → [ズーム設定] → 希望の設定を選ぶ。

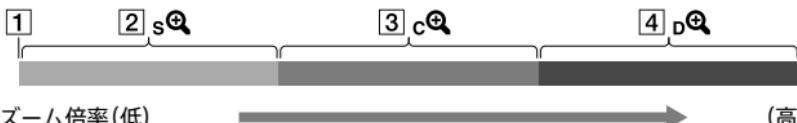
スマートズームのみ	画像を切り出せる範囲でズームする(画質は劣化しない)。
入：全画素超解像ズーム	画質を優先してズームする。
入：デジタルズーム	ズーム倍率を優先してズームする。

### 設定したズームを使用するには

MENUボタン →  (撮影設定) → [ズーム] を選び、コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回して希望のズーム倍率まで拡大する。

### モニターに表示されるアイコンについて

ズーム倍率によってモニターに表示されるアイコンが変わります。



- ① ズームなし(×1.0と表示される)。
- ② s スマートズーム：画像を部分的に切り出して拡大する。(画像サイズがM、Sのときのみ使用できます。)
- ③ c 全画素超解像ズーム：より高画質な画像処理により拡大する。([ズーム設定]が[入：全画素超解像ズーム]または[入：デジタルズーム]のときに使用できます。)
- ④ d デジタルズーム：画像処理により拡大する。([ズーム設定]が[入：デジタルズーム]のときに使用できます。)

設定	画像サイズ	ズーム倍率	
画像を切り出せる範囲でズームする(画質は劣化しない)。 スマートズームのみ	L	—	
	M	約1.5倍	
	S	約2倍	
画質を優先してズームする。 入:全画素超解像ズーム	L	約2倍	
	M	約3.1倍	
	S	約4倍	
ズーム倍率を優先してズームする。 入:デジタルズーム	L	約4倍	
	M	約6.2倍	
	S	約8倍	

## ご注意

- 以下の場合は、ズームは使用できません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]のとき
  - [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のとき
- 動画撮影中、スマートズームは使えません。
- ズームを使用しているときは、[測光モード]が[マルチ]になります。
- ズームを使用中は下記の機能が使用できません。
  - 顔検出/スマイルシャッター
  - ロックオンAF
  - [オートフレーミング]
- 動画撮影中にズームをする場合、[カスタムキー (撮影)]で希望のボタンに[ズーム]を設定してください。
- [記録設定]が[120p]の場合、ズーム機能は使用できません。

# 画像ノイズを減らす

## ☒ 長秒時NR

シャッタースピードを、1秒または1秒より遅くして撮影する(長時間露光)と、シャッターを開けていた時間と同時間のノイズ軽減処理をします。長時間露光時に目立つ粒状ノイズを軽減するためです。処理中はメッセージが表示され、撮影できません。画質を優先する場合は[入]を、撮影タイミングを優先するには[切]を選びます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [☒長秒時NR] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- 以下の場合、[☒長秒時NR]を[入]にしても、ノイズリダクションは働きません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - [ライブモード]が[連続撮影]、[速度優先連続撮影]、[連続ブラケット]または[ローパスフィルターブラケット]
  - 撮影モードが[シーンセレクション]の[スポーツ]または[手持ち夜景]
  - ISO感度が[マルチショットNR]
- 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]または[シーンセレクション]のときは、[☒長秒時NR]を[切]にできません。
- 撮影条件によっては、シャッタースピードが1秒以上でもノイズ軽減処理を行わない場合があります。

## ☒ 高感度NR

すべてのISO感度で作動しますが、特に高感度時に目立つノイズを効果的に低減します。通常は[標準]に設定されており、[弱]、[切]を選ぶこともできます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [☒高感度NR] → 希望の設定を選ぶ。**

## ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、[高感度NR]は設定できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]
- RAW画像には[高感度NR]は働きません。

# 色空間を設定する

色を数値の組み合わせによって表現するための方法、あるいは表現できる色の範囲のことを色空間といいます。画像の用途によって色空間を変更できます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [□色空間] → 希望の設定を選ぶ。**

sRGB	デジタルカメラの標準となっている色空間。画像調整を行わずに印刷する場合など、一般的な撮影ではsRGBを使う。
AdobeRGB	より広い色再現範囲を持っている色空間。鮮やかな緑色や赤色の多い被写体をプリントする場合に効果がある。 <ul style="list-style-type: none"><li>撮影した画像のファイル名は、“_DSC”で始まる。</li></ul>

## ご注意

- AdobeRGBは、カラーマネジメントおよびDCF2.0オプション色空間に対応したアプリケーションソフト、プリンター用です。非対応のソフト、プリンターでは、正しい色での表示、印刷ができないことがあります。
- AdobeRGBで撮影した画像は、AdobeRGB非対応機器で表示すると、低彩度となります。

# 動画撮影の設定

ここでは、動画の応用的な撮影方法を紹介します。

## 撮影のテクニック

- ピントを合わせてから、録画を開始する。
- ピントを合わせるエリアを指定したいときは、[フォーカスエリア]で設定する(100ページ)。
- 顔にピントを合わせ続けたい場合は、フォーカスエリア枠と顔検出枠が重なるように構図を工夫する。または[フォーカスエリア]を[ワイド]に設定する。
- 以下の設定は、静止画撮影のときの設定値をそのまま使用できる。  
ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/露出補正/  
測光モード/顔検出/Dレンジオプティマイザー/レンズ補正/  
ピクチャーエフェクト
- ISO感度、露出補正、フォーカスエリアは動画撮影中に設定を変更できる。
- [HDMI情報表示]を[なし]にすると、動画記録中でも撮影情報表示なしで記録画像を出力できる(178ページ)。

## ご注意

- フルサイズの動画を撮影するには、[手ブレ補正]を[切]にして撮影してください(67ページ)。
- カメラを太陽など強い光源に向けて撮影しないでください。カメラの内部が故障するおそれがあります。
- モニターの表示がファインダー撮影用の場合、動画撮影を開始すると全情報表示に切り替わります。
- XAVC S動画やAVCHD動画、MP4動画をパソコンに取り込むときは、PlayMemories Homeを使用してください(209ページ)。
- 低感度の動画撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。

- 動画の[プログラムオート]モードでは、絞りとシャッタースピードは自動で設定されるため、明るい環境下で高速シャッターとなり、被写体の動きが滑らかに写らない場合があります。他の露出モードにして、絞りやシャッタースピードを調整することで、より滑らかに撮影できる場合があります。
- 動画撮影時のISO感度は、ISO100～25600まで選べます。ISO100よりも小さい設定値の状態で動画撮影を始めると、ISO100に切り替わります。動画撮影を終えると元の設定値に戻ります。
- ISO感度を[マルチショットNR]に設定しているときは、一時的に[ISO AUTO]になります。
- 動画撮影時、[ピクチャーエフェクト]の[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]は設定できません。動画撮影が開始されると一時的に[切]になります。
- モードダイヤルが~~REC~~(動画)になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。

## 動画の記録フォーマットについて

本機は、「XAVC S」に対応しています。

### XAVC Sとは

高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質化することができます。

### XAVC S/AVCHD記録フォーマットとその特長

記録フォーマット	ビットレート	特長
XAVC S HD	約50 Mbps	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。
AVCHD	約28 Mbps（最大）	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。

- ビットレートとは、一定時間あたりの記録データ量です。

## 動画の設定を変更して撮影する

絞りやシャッタースピードなどの設定を変更して、思い通りにコントロールした動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを  (動画) にする。

2 MENUボタン →  (撮影設定) → [動画] → 希望の設定を選ぶ。

 (プログラムオート)	露出は本機が自動設定する。
 (絞り優先)	絞りを手動調整し、ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できる。
 (シャッタースピード優先)	シャッタースピードを手動調整し、動くものの表現を変えて撮影できる。
 (マニュアル露出)	露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

### オートスローシャッターについて

[ オートスローシャッター]を[入]にすると、暗いところまでノイズを抑えた撮影ができます。

[切]にすると暗いところでは[入]のときよりも画像が暗くなりますが、被写体のブレが少なく、動きがよりなめらかに撮影できます。

MENUボタン →  (撮影設定) → [ オートスローシャッター] → 希望のモードを選ぶ。

### ご注意

- 以下のときは、[ オートスローシャッター]は働きません。
  -  (シャッタースピード優先)
  -  (マニュアル露出)
  - [ISO感度] が[ISO AUTO]以外のとき

## ■ 記録方式

**MENUボタン → [撮影設定] → [記録方式] → 希望のモードを選ぶ。**

XAVC S HD	XAVC S規格の24p/30p/60p/120p動画を記録する。高ビットレートに対応した記録方式。 音声 : LPCM
AVCHD	AVCHD規格の60i/24p/60p動画を記録する。ハイビジョンテレビに適した記録方式。 音声 : Dolby Digital
MP4	MP4 (AVC)動画を記録する。WEBアップロードやメールに適した記録方式。 音声 : AAC

### ご注意

- [記録方式]を[XAVC S HD]にして撮影する場合は、64GB以上のSDスピードクラス10 : CLASS10、またはUHSスピードクラス1 : U1以上のSDXCメモリーカードが必要です(62ページ)。
- XAVC S HD 120p動画時の連続撮影時間は約5分です。XAVC S HD 120p動画撮影後、再度XAVC S HD 120p動画撮影を行う場合は、電源OFF状態でしばらく待ってから撮影してください。撮影時間が5分未満でも、撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。

## ■ 記録設定

ビットレートが高いほど、画質は向上します。

**MENUボタン → [撮影設定] → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。**

## [記録方式]が[XAVC S HD]のとき

記録設定	ビットレート	説明
60p 50M	約50 Mbps	1920×1080 (60p)の高画質で撮影する。
30p 50M	約50 Mbps	1920×1080 (30p)の高画質で撮影する。
24p 50M	約50 Mbps	1920×1080 (24p)の高画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
120p 50M	約50 Mbps	1280×720 (120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 • 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。

## [記録方式]が[AVCHD]のとき

記録設定	ビットレート	説明
60i 24M (FX)	最大24 Mbps	1920×1080 (60i)の高画質で撮影する。
60i 17M (FH)	平均約17 Mbps	1920×1080 (60i)の標準画質で撮影する。
60p 28M (PS)	最大28 Mbps	1920×1080 (60p)の高画質で撮影する。
24p 24M (FX)	最大24 Mbps	1920×1080 (24p)の高画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
24p 17M (FH)	平均約17 Mbps	1920×1080 (24p)の標準画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。

## [記録方式]が[MP4]のとき

記録設定	ピットレート	説明
1920×1080 60p 28M	平均約28 Mbps	1920×1080 (60p)の高画質で撮影する。
1920×1080 30p 16M	平均約16 Mbps	1920×1080 (30p)の標準画質で撮影する。
1280×720 30p 6M	平均約6 Mbps	1280×720 (30p)の小さいファイルサイズで撮影する。

### ご注意

- ・ [記録設定]を[60p 28M (PS)]または[60i 24M (FX)]、[24p 24M (FX)]にして撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHDディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。
- ・ 60p、24pの動画をテレビで見るときは、60p、24pに対応したテレビが必要です。対応していないテレビの場合、60iとして出力されます。
- ・ 以下のとき、[120p 50M]の設定はできません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [シーンセレクション]

## 同時ビデオ記録

XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画が同時に記録できます。

**MENUボタン → (撮影設定) → [同時ビデオ記録] → 希望の設定を選ぶ。**

入	XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画を同時に記録する。
切	同時ビデオ記録機能を使わない。

## ご注意

- XAVC S動画の[記録設定]を[60p]、[120p]に設定しているとき、AVCHD動画の[記録設定]を[60p]に設定しているとき、または[記録方式]が[MP4]のときは、[同時ビデオ記録]は[切]になります。
- 動画再生時、[ビューモード]で[日付ビュー]を選択すると、XAVC S動画とMP4動画、AVCHD動画とMP4動画が並んで表示されます。

## 録音レベル

レベルメーターを見ながら録音レベルを調整できます。

**MENUボタン →  (撮影設定) → [録音レベル] → コントロールホイールの◀/▶で希望のレベルを選ぶ。**

十側：録音レベルが上がる。

一側：録音レベルが下がる。

リセット：録音レベルを初期値に戻す。

## 撮影のテクニック

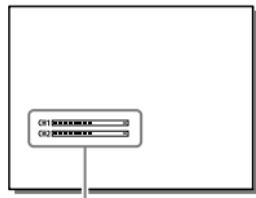
- 大きな音の動画を録画する場合は、録音レベルを低めに設定すると臨場感のある音声が記録できる。小さな音の動画を録画する場合は、録音レベルを高めに設定することで聞きやすい音声で記録できる。

## ご注意

- 録音レベルの設定値にかかわらず、リミッターは常に作動しています。
- [録音レベル]は撮影モードが[動画]のときのみ選べます。
- 録音レベルの調整は、内蔵マイクと $\bullet$  (マイク)端子入力に対して有効です。

## 音声レベル表示

音声レベルを画面に表示するかどうか  
を選びます。



音声レベル

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [音声レベル表示] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- 以下の場合には音声レベルが表示されません。
  - [音声記録] が[切]のとき
  - 画面表示が[情報表示なし]になっているとき
- 撮影モードは[動画]にしてください。動画時のみ、記録前に音声レベルの表示ができます。

## 音声の記録について

動画撮影中はカメラの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。音声を記録しないように設定できます。

**MENUボタン → 📹 (撮影設定) → [音声記録] → [切]を選ぶ。**

### 風音を低減するには

内蔵マイクからの入力音声の低域音をカットして、風音を低減できます。

**MENUボタン → 📹 (撮影設定) → [風音低減] → [入]を選ぶ。**

### ご注意

- [風音低減]を[入]に設定すると低い音の一部も低減されてしまう場合があります。風音がない場合は[切]にしてください。
- 別売りのマイク使用時は、[風音低減]の効果が得られません。

# 再生時の機能を使う

## 静止画と動画を切り換える(ビューモード)

再生方法を選びます。

**MENUボタン → □ (再生) → [ビューモード] → 希望のモードを選ぶ。**

日付ビュー	日付ごとに撮影した画像を表示する。
フォルダービュー (静止画)	静止画のみをフォルダーごとに表示する。
フォルダービュー (MP4)	動画(MP4)のみをフォルダーごとに表示する。
AVCHDビュー	AVCHD動画のみを表示する。
XAVC S HDビュー	XAVC S HD動画のみを表示する。

## 拡大して見る

静止画再生中に、画像の一部を拡大できます。写真のピントの具合を確認したいときなどに使います。

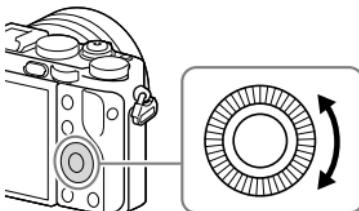
- 1 拡大したい画像を表示して、  
④ ボタンを押す。



---

## 2 コントロールホイールを回して 希望の大きさに拡大する。

- コントロールダイヤルを回すと、同じ拡大倍率のまま、前後の画像に切り換えられる。同じ構図で複数枚撮ったとき、ピントの合い具合を比較できる。



---

## 3 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で、拡大表示する場所を選ぶ。

---

### 拡大再生を終了するには

MENUボタンまたは、コントロールホイール中央の●を押すと、拡大前の画像に戻ります。

### 一覧表示で見る

再生時、同時に複数の画像を表示できます。

---

#### 1 ボタンを押す。

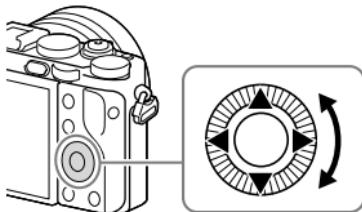
一覧表示画面になる。



再生機能を使う

---

**2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押したり、コントロールを回したりして、画像を選ぶ。**



---

### 1枚再生画面表示に戻るには

表示したい画像を選んでいる状態で、コントロールホイール中央の●を押します。

### 表示枚数を切り換えるには

一覧表示画面で表示される枚数を変更できます。

**MENUボタン → □(再生) → [一覧表示] → 希望の設定を選ぶ。**

### 再生表示を変更するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼で前/次のページを表示できます。また、左側のバーを選んでコントロールホイール中央の●を押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面になり、日付、またはフォルダーを選びます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます(166ページ)。



## 回転

1 回転したい画像を表示して、MENUボタン → □ (再生) → [回転] を選ぶ。

2 コントロールホイール中央の●を押す。

画像が左へ回転する。さらに回転させたいときは、手順2を繰り返す。

- 回転した画像は、本機の電源を切ったあとも、回転された状態のまま保持される。

通常再生画面に戻るには

MENUボタンを押す。

### ご注意

- 動画は回転できません。
- パソコンに取り込んだ画像は、PlayMemories Homeでは、正しく回転された状態で表示されます。使用するソフトウェアによっては回転していない状態で表示されることがあります。

## スライドショー

MENUボタン → □ (再生) → [スライドショー] → [実行] を選ぶ。

撮影した画像を順番に表示する。全画像の表示が終わると自動的に終了する。

- スライドショー再生中に、コントロールホイールの◀/▶で、画像を戻す/送ることができる。
- 一時停止はできない。

途中で終了するには

MENUボタンを押す。

画像を切り換える間隔を変更するには

MENUボタン → □ (再生) → [スライドショー] → [間隔設定] → 希望の秒数を選ぶ。

繰り返し再生するには

MENUボタン → □ (再生) → [スライドショー] → [リピート] → [入]を選ぶ。

### 記録画像の回転表示

画像を再生するときの向きを設定できます。

MENUボタン → □ (再生) → [記録画像の回転表示] → 希望の設定を選ぶ。

オート	本機を回転させると、本機の縦横を判断し、再生している画像が自動で回転します。
マニュアル	縦位置で撮影した画像を縦向きに表示します。また回転機能で表示する向きを設定した場合はその向きに表示します。
切	記録画像を常に横向きに表示します。

# 保護する(プロテクト)

画像を誤って消さないように保護(プロテクト)します。

1 MENUボタン → □ (再生) → [プロテクト] → [画像選択]を選ぶ。

2 コントロールホイールの◀/▶で保護したい画像を選んで、中央の●を押す。

- チェックボックスに△マークが付く。  
• 解除するときは、もう一度中央の●を押す。



3 他の画像も保護するときは、手順2を繰り返す。

- 日付、またはフォルダーのチェックボックスを選択すると、日付、またはフォルダー内の画像をまとめて選択することもできる。

4 MENUボタンを押す。

5 ▲/▼で[確認]を選び、中央の●を押す。

**画像の保護をまとめて解除するには**

表示しているフォルダーごとや日付ごとに、画像の保護をまとめて解除します。

MENUボタン → □ (再生) → [プロテクト] → [このフォルダーを全て解除]または[この日付を全て解除]を選ぶ。

## ご注意

- [ビューモード]の設定によって、表示される項目が異なります。

# プリント指定する

## 画像を選択する

撮影した静止画を、ご自分のプリンターでプリントする場合やプリント店に依頼する際に、あらかじめどの画像をプリントするかを指定しておくことができます。

指定方法は、下記の手順をご覧ください。

DPOF指定は、印刷後も残ったままとなります。印刷が終了したあとは、解除することをおすすめします。

---

**1 MENUボタン → □(再生) → [プリント指定] → [画像選択]を選ぶ。**

---

**2 コントロールホイールの◀/▶で画像を選び、中央の●を押す。**

- チェックボックスに△マークが付く。  
• 解除するときは、もう一度中央の●を押す。

---

**3 他の画像もプリントするときは、手順2を繰り返す。**

- 日付、またはフォルダーのチェックボックスを選択すると、日付、またはフォルダー内の画像をまとめて選択することもできる。

---

**4 MENUボタンを押す。**

---

**5 ▲/▼で[確認]を選び、中央の●を押す。**

### ご注意

- RAW画像にはDPOF指定はできません。
- プリントの枚数指定はできません。

## 日付を入れる

プリントする際に、プリンター側で日付を入れることができます。日付の入る場所(画像内/画像外、サイズなど)は、お使いのプリンターによって異なります。

**MENUボタン → □ (再生) → [プリント指定] → [印刷設定] → [日付プリント] → [入] → [実行] を選ぶ。**

### ご注意

- プリンターによっては、日付プリントの機能に対応していないものもあります。

# 削除する

不要な画像を選んで削除したり、まとめて削除できます。

一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

## ご注意

- ・プロテクトされている画像は削除できません。

## 画像選択削除

1 MENUボタン → □ (再生) → [削除] → [画像選択]を選ぶ。

2 コントロールホイールで削除したい画像を選び、中央の●を押す。

- チェックボックスに △ マークが付く。  
• 解除するときは、もう一度中央の●を押す。



合計枚数

3 他の画像も削除するときは、手順2を繰り返す。

- ・日付、またはフォルダーのチェックボックスを選択すると、日付、またはフォルダー内の画像をまとめて選択することもできる。

4 MENUボタンを押す。

5 コントロールホイールの▲/▼で[確認]を選び、中央の●を押す。

## まとめて画像を削除する

表示しているフォルダービュー内または日付内のすべての画像を削除します。

- 
- 1 MENUボタン → □ (再生) → [削除] →  
[このフォルダーの全画像]または[この日付の全画像]を選ぶ。
  - 2 コントロールホイールの▲/▼で[確認]を選び、中央の●を押す。
- 

### 希望のフォルダーまたは日付を表示するには

再生時に■を押して一覧画面を表示し、コントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼で希望のフォルダーまたは日付を選びます。

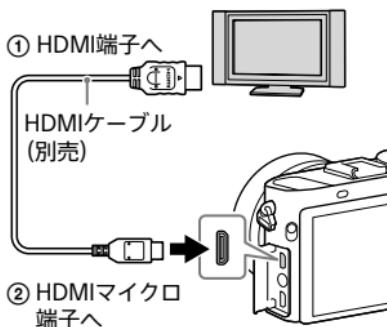
#### ご注意

- [ビューモード]の設定によって、表示される項目が異なります。

# テレビやモニターにつなぐ

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル(別売)と、HDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。

## 1 電源を切った状態で、本機とテレビを接続する。



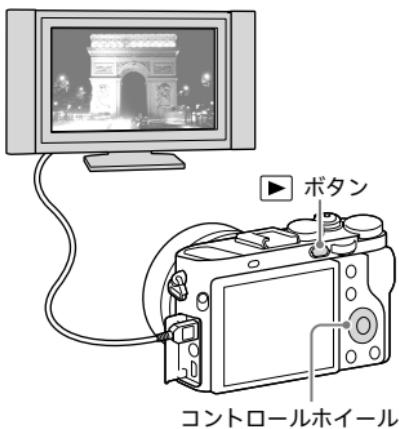
## 2 テレビの電源を入れ、入力を切り換える。

- ・テレビの取扱説明書もあわせてご確認ください。

## 3 本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示される。  
コントロールホイールの◀/▶で画像  
を選択。

- ・再生画面では本機のモニターは点  
灯しません。
- ・再生画面になっていないときは、  
▶ボタンを押してください。



## ご注意

- HDMIケーブルは、HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- HDMIケーブルは、本機側はHDMIマイクロ端子、テレビ側はテレビの端子にあったタイプのものをお使いください。
- テレビに正しく画面が表示されない場合は、 (セットアップ) の [HDMI設定] → [HDMI解像度] を接続するテレビに合わせて、[1080p] または [1080] にしてください。
- 一部の機器では正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因になります。

## ブラビア プレミアムフォト™について

本機はブラビア プレミアムフォトに対応しています。

ブラビア プレミアムフォトに対応したソニー製テレビにHDMIケーブルで接続出力すると、写真を今までになかった感動の高画質で快適にお楽しみいただけます。

ブラビア プレミアムフォト対応のUSB端子つきソニー製テレビでは、付属のマイクロUSBケーブルでも接続できます。

ブラビア プレミアムフォトとは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。

## HDMI設定

HDMIに関する設定を行います。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [HDMI設定] → 希望の設定を選ぶ。**

<b>HDMI解像度</b>	HDMI端子からテレビに出力する解像度を選ぶ。
<b> 24p/60p出力切換</b>	[  記録設定]で、[60p 28M(PS)]、[24p 24M(FX)]、[24p 17M(FH)]、[60p 50M]、[24p 50M]を選んでいるときの出力フォーマットを設定する。
<b>HDMI情報表示</b>	HDMI対応テレビ接続時に、テレビ側へ情報表示を行うかを設定する。
<b>HDMI機器制御</b>	ブラビア™リンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうかを設定する。

### **24p/60p出力切換**

[ 記録設定]で、[60p 28M(PS)]、[24p 24M(FX)]、[24p 17M(FH)]、[60p 50M]、[24p 50M]を選んでいるときの出力フォーマットを設定します。

---

**1 MENUボタン →  (セットアップ) → [HDMI設定] → [HDMI解像度] → [1080p]を選ぶ。**

---

**2 [ 24p/60p出力切換] → 出力したいフォーマットを選ぶ。**

---

## ブラビア™リンク

本機とブラビアリンクに対応のテレビをHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンで操作できます。

---

### 1 ブラビアリンクに対応したテレビと本機を接続する(176ページ)。

テレビの入力が自動で切り替わり、本機の画像が表示される。

---

### 2 リモコンの「リンクメニュー」ボタンを押す。

---

### 3 リモコンのボタンで操作する。

---

#### ご注意

- HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。
- 2008年以降に発売された「ブラビアリンク(リンクメニュー対応)」に対応したテレビで使用できます。また、リンクメニュー操作はお使いのテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 他社のテレビとHDMI接続する場合、テレビのリモコン操作で本機が不要な動きをする場合は、 (セットアップ) の[HDMI設定] → [HDMI機器制御]を[切]にしてください。

## 4K静止画再生

4K対応テレビに4K解像度で静止画を出力します。

---

**1 本機と4KテレビをHDMIケーブルで接続する(176ページ)。**

---

**2 MENUボタン → □(再生) → [4K静止画再生] → [確認]を選ぶ。**

---

### ご注意

- 4K対応テレビのみで使用できます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

# 本体の設定を変更する

## メモリーカードなしレリーズ

本機にメモリーカードを入れていない状態でもシャッターを切れるように設定します。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [メモリーカードなしレリーズ] → [許可] を選ぶ。**

### ご注意

- ・本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。

## オートレビュー

撮影直後に、撮影した画像を確認することができます。その表示時間を変更できます。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [オートレビュー] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- ・オートレビュー時は、[歪曲収差補正]などの画像処理前の画像を最初に表示したあとに、処理後の画像を表示することがあります。

## グリッドライン

構図合わせのための補助線であるグリッドライン表示を設定します。

**MENUボタン → ⚡ (カスタム設定) → [グリッドライン] → 希望の設定を選ぶ。**

## ■マークー設定

### ■マークー表示

入	マークーを表示する。 マークーは記録されません。
切	マークーを表示しない。

### ■マークー設定

センター	切	センターマークーを表示しない。
	入	画面の中心にマークーを表示する。
アスペクト	切	アスペクト比を表示しない。
	4:3、13:9、14:9、 15:9、1.66:1、 1.85:1、2.35:1	アスペクト比位置にマークーを表示する。
セーフティゾーン	切	セーフティゾーンを表示しない。
	80%、90%	一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマークーを表示する。
ガイドフレーム	切	ガイドフレームを表示しない。
	入	ガイドフレームを表示する。 被写体が水平/垂直になっているかを確認できます。

### ご注意

- マークー表示は、モードダイヤルが  (動画) のとき、または動画記録中に表示されます。
- [ピント拡大] 中は、マークーを表示できません。
- マークー表示は、モニターまたはファインダーのみに表示されます(外部に出力することはできません)。
- すべてのマークーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム] の交点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

## カスタムキー（撮影）

コントロールホイール/カスタムボタン1/カスタムボタン2/中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタン/AELボタンには、他の機能を割り当てることもできます。

**MENUボタン →  (カスタム設定) → [カスタムキー (撮影)] → 希望のキー → 希望の設定を選ぶ。**

### 割り当てられる機能について

スタンダード <sup>1)</sup>	ライブモード	プラケット時のセルフタイマー
フラッシュモード	調光補正	フォーカスエリア
露出補正	ISO感度	ISO AUTO低速限界
測光モード	ホワイトバランス	DRO/オートHDR
クリエイティブスタイル	ピクチャーエフェクト	ローパスフィルター効果
顔検出/スマイルシャッター	 美肌効果	 オートフレーミング
 手ブレ補正	録音レベル	 画像サイズ
 横縦比	 画質	カメラ内ガイド <sup>3)</sup>
登録	押す間AEL <sup>2)</sup>	再押しAEL
押す間スポットAEL <sup>2)</sup>	再押しスポットAEL	押す間AF/MFコントロール <sup>2)</sup>
再押しAF/MFコントロール	中央ボタン押しロックオンAF	瞳AF <sup>2)</sup>
ブライトモニタリング	スマートテレコンバーター	ズーム
ピント拡大	モニターミュート	MOVIE (動画)
ゼブラ	グリッドライン	 マーカー表示切換
音声レベル表示	ピーキングレベル	ピーキング色
FINDER/MONITOR切換	スマートフォン転送	ダウンロードアプリ
登録アプリ一覧	モニター明るさ	未設定

<sup>1)</sup> 中央ボタンにのみ設定できます。

<sup>2)</sup> 左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。

<sup>3)</sup> 中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。

コントロールホイールには、下記が設定できます。

ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/  
ピクチャーエフェクト/未設定

## カスタムキーでのみ設定できる機能

スタンダード	[フォーカスエリア]と [中央ボタン押しロックオンAF]の設定によって ボタンを押したときにできることが変わります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット] または[拡張フレキシブルスポット]のときボ タンを押すと、フォーカスエリアの位置を変更 できます。</li><li>• [フォーカスエリア]が[ワイド]、[中央]で、 [中央ボタン押しロックオンAF]が[入]のとき ボタンを押すと、 [中央ボタン押しロックオンAF]が起動します。</li><li>• [フォーカスエリア]が[ワイド]、[中央]で、 フォーカスマードダイヤルが「MF (マニュアルフォーカス)」以外、 [中央ボタン押しロックオンAF]が[切]のとき ボタンを押している間、AFを行います。</li></ul>
カメラ内ガイド	54ページ
押す間AEL	ボタンを押している間、AEロックします。
再押しAEL	ボタンを押すと、AEロックします。再度押すと 解除します。
押す間スポットAEL	113ページ
再押しきスポットAEL	113ページ
押す間AF/MFコントロール	108ページ
再押しAF/MFコントロール	108ページ
瞳AF	108ページ

ライトモニタリング	<p>夜空などの暗い場所でも、被写体を確認しやすくなる機能です。ボタンを押して実行します。再度押すと解除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ライトモニタリング]実行中は、[ライブビュー表示]は自動的に[設定効果反映Off]となり、ライブビュー表示には露出補正などの設定値は反映されません。暗い場所でのみのご使用をおすすめします。</li> <li>• 以下のとき、[ライトモニタリング]は自動的に解除されます。           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 本機の電源を切ったとき</li> <li>- モードダイヤルを操作したとき</li> <li>- マニュアルフォーカス以外に設定したとき</li> <li>- [MFアシスト]または[ピント拡大]を実行したとき</li> </ul> </li> <li>• [ライトモニタリング]実行中は、暗い場所でシャッタースピードが通常よりも低速になることがあります。</li> </ul>
スマートテレコンバーター	152ページ
モニターミュート	一度押すとモニターを黒画面にします。もう一度押すと黒画面を解除します。
FINDER/MONITOR切換	ファインダー表示とモニター表示を切り替えます。
ダウンロードアプリ	205ページ
登録アドリ一覧	206ページ

## カスタムキー（再生）

カスタムボタン1には、再生時の機能を割り当てることもできます。  
割り当てた機能は、再生時にのみ使用できます。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [カスタムキー（再生）]  
→ [カスタムボタン1] → 希望の設定を選ぶ。**

### 割り当てられる機能について

FINDER/MONITOR切換	スマートフォン転送	⊕拡大
一覧表示	回転	削除
カスタムキー（撮影）に従う		

### ご注意

- ・[カスタムキー（撮影）に従う]を選択すると、[カスタムキー（撮影）] (183ページ)で選択した機能が再生時にも割り当てられます。

## モニター明るさ

モニターの明るさをお好みの明るさに自動調整します。

**MENUボタン → 🖥 (セットアップ) → [モニター明るさ] →  
希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- ・[オート]設定時は、明るさセンサーを手などで覆わないようにしてお使いください。
- ・室内で[屋外晴天]にすると明るすぎるため、[マニュアル]または[オート]に設定してください。
- ・Wi-Fi機能使用時はモニターの明るさは[-2]に固定されます。

## ファインダー明るさ

本機は、被写体の明るさに合わせてファインダーの明るさを自動調整します。

これを手動で変えることもできます。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [ファインダー明るさ] → [マニュアル] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- Wi-Fi機能使用時はファインダーは使用できません。モニター表示になります。

## 表示画質

表示画質を設定します。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [表示画質] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- [高画質]に設定すると、[標準]に設定した場合よりもバッテリーの消費が多くなります。

## パワーセーブ開始時間

操作していないときにパワーセーブ(省電力)モードになるまでの時間を設定してバッテリーの消耗を防ぎます。パワーセーブ時でも、シャッターボタン半押しなどの操作をすれば、撮影が再開できます。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [パワーセーブ開始時間] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- USB給電時/テレビ接続時/別売のリモコンRMT-VP1K接続時はパワーセーブモードになりません。

## FINDER/MONITOR

モニター表示とファインダー表示の自動切り換えを無効にして、モニター表示または、ファインダー表示に固定できます。

**MENUボタン →  (カスタム設定) → [FINDER/MONITOR] → [ファインダー (マニュアル)]または[モニター (マニュアル)]を選ぶ。**

## □日付書き込み

撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定します。

**MENUボタン →  (カスタム設定) → [□日付書き込み] → 希望の設定を選ぶ。**

### ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- パソコンやプリンターで印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- 時刻は記録できません。
- RAW画像には、日付書き込みできません。

## 著作権情報

静止画を撮影したとき、ファイルに著作権情報を書き込むことができます。

MENUボタン →  (セットアップ) → [著作権情報] → 希望の項目を選ぶ。

著作権情報書き込み	入	静止画に著作権情報を書き込む。
	切	静止画に著作権情報を書き込まない。
撮影者名設定		撮影者名を設定する。
著作権者名設定		著作権者名を設定する。
著作権情報表示		設定した著作権情報を確認する。

### ご注意

- 撮影者名と著作権者名には、アルファベット、数字、記号のみ使用できます。
- [著作権情報]の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときには、[撮影者名設定]と[著作権者名設定]欄は必ず空欄にしてください。

# レンズ補正を設定する

レンズの周辺光量低下、倍率色収差、歪曲収差を自動で補正します。

## レンズ補正(周辺光量)

画面の周辺部が暗くなる場合に、自動で光量を補正します。  
お買い上げ時の設定は[オート]になっています。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [レンズ補正] →  
[周辺光量補正] → 希望の設定を選ぶ。**

## レンズ補正(倍率色収差)

画面周辺部で色ずれが起こる場合に、自動で色ずれを補正します。  
お買い上げ時の設定は[オート]になっています。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [レンズ補正] →  
[倍率色収差補正] → 希望の設定を選ぶ。**

## レンズ補正(歪曲収差)

画面の歪みが起こる場合に、自動で歪みを補正します。  
お買い上げ時の設定は[切]になっています。

**MENUボタン → ⚙ (カスタム設定) → [レンズ補正] →  
[歪曲収差補正] → 希望の設定を選ぶ。**

# メモリーカードへの記録方法を設定する

## フォーマット

フォーマットすると、プロジェクトしてある画像も含めて、すべてのデータが削除され、元に戻せません。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット] → [実行] を選ぶ。**

### ご注意

- フォーマット中はアクセスランプが点灯します。点灯中はメモリーカードを抜かないでください。
- メモリーカードのフォーマットは、本機で行ってください。パソコンでメモリーカードのフォーマットを行うと、フォーマットの形式によってはメモリーカードが使えなくなることがあります。
- メモリーカードによっては、フォーマットに数分かかる場合があります。
- バッテリー残量が1%以下のときは、フォーマットできません。

## ファイル番号

**MENUボタン →  (セットアップ) → [ファイル番号] → 希望の設定を選ぶ。**

連番	ファイル番号をリセットせず、9999までファイル番号を続ける。
リセット	新規のフォルダーにファイルを記録する場合にはファイル番号をリセットし、0001から番号を付ける。同一フォルダー内にファイルが存在している場合は、その続きから始まる。

### ご注意

- [リセット]を行うと、ファイル番号はリセットされます。

## フォルダー形式

撮影した静止画は、メモリーカードの中のDCIMフォルダーの下に自動生成されたフォルダーに保存されます。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [フォルダー形式] → 希望の設定を選ぶ。**

標準形式	フォルダーナー名が、フォルダーナー番号+MSDCFになる。 例：100MSDCF
日付形式	フォルダーナー名が、フォルダーナー番号+年月日(西暦下1桁月日4桁)になる。 例：10050405 (100フォルダーナー、2015年4月5日)

### ご注意

- 動画のフォルダー形式は変更できません。

## 記録フォルダー選択

標準形式フォルダーを選択中でフォルダーが2つ以上存在する場合、撮影した画像を保存するフォルダー（記録フォルダー）を選べます。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [記録フォルダー選択] → 希望のフォルダーを選ぶ。**

### ご注意

- 日付形式フォルダー設定中は、記録フォルダーの選択はできません。

## フォルダー新規作成

メモリーカードの中に、新しいフォルダーを作成します。

既存番号+1のフォルダーが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダーに記録されます。静止画用のフォルダーとMP4動画用のフォルダーが同時に作成されます。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [フォルダー新規作成] を選ぶ。**

### ご注意

- ・他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。
- ・1つのフォルダーファイルに記録できる画像は最大4000枚です。容量を超えると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。

## 管理ファイル修復

パソコンでファイルを操作したなどの原因で、画像を管理しているファイルに何らかの異常が発生すると、メモリーカード内の画像が再生できなくなります。

そのような場合に管理ファイルの修復を行います。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [管理ファイル修復] → [実行] を選ぶ。**

### ご注意

- ・充分に充電したバッテリーをお使いください。残量の少ないバッテリーを使用して行うと、データを破損するおそれがあります。

## アップロード設定(Eye-Fi)

市販のEye-Fiカードを使って、アップロード機能を使うことができます。Eye-Fiカードが本機のメモリーカードスロットに入っているとき、自動アップロード機能の設定メニューが表示されます。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [アップロード設定] → [入]を選ぶ。**

### 通信状態の画面表示

	待機中で、送信画像が無い
	アップロード待機中
	接続中
	アップロード中
	エラー発生

### ご注意

- Eye-Fiカードはご使用の前に、無線LANアクセスポイントや転送先を設定してください。詳しくはEye-Fiカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- Eye-Fiカードは一部の国、または地域で販売しています。
- Eye-Fiカードに関する問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国、または地域のみで使用が認められています。使用する国、または地域の法律に従ってお使いください。
- Eye-FiカードはワイヤレスLAN機能を持っています。飛行機の中など、使用を禁止されている場所では、Eye-Fiカードを本機に入れないとください。入っている場合は[アップロード設定]を[切]にしてください。  
[アップロード設定]が[切]になっていると画面上に  OFF が表示されます。
- 新しいEye-Fiカードを初めて使うときは、カードをフォーマットする前に、カードに書き込まれているEye-Fiマネージャーのインストールファイルをパソコンにコピーしてください。
- Eye-Fiカードは、ファームウェアを最新版にバージョンアップしてからお使いください。バージョンアップについて詳しくは、Eye-Fiカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 画像アップロード中はパワーセーブ機能は働きません。
-  (エラー発生)が表示された場合は、メモリーカードを抜き差しするか、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、Eye-Fiカードが壊れている可能性があります。
- 無線LANの通信は他の通信機器の影響を受けることがあります。通信状態が良くないときは、接続先のアクセスポイントに近づいてください。
- アップロードできるファイルについては、Eye-Fiカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機はエンドレスモードに対応していません。Eye-Fiを使用する前に、エンレスモードは必ずオフに設定してください。

# 好みの設定を登録する

## 本機に設定を登録する

よく使うモードや数値の組み合わせを3つまで本機に登録でき、モードダイヤルで簡単に呼び出せます。

1 本機を登録したい設定にする。

2 MENUボタン →  (撮影設定) → [登録] を選ぶ。

3 コントロールホイールの◀/▶で登録先の番号「1」、「2」または「3」を選び、中央の●を押す。

- 登録したあとも、設定を変更できます。

## 登録できる項目

撮影モード	シャッタースピード	ISO感度
 画像サイズ	 横縦比	 画質
パノラマ：画像サイズ	 記録方式	 記録設定
ドライブモード	フラッシュモード	フォーカスエリア
顔検出/スマイルシャッター	ローパスフィルター効果	測光モード
調光補正	ホワイトバランス	DRO/オートHDR
クリエイティブスタイル	ピクチャーエフェクト	パノラマ：撮影方向
同時ビデオ記録	ブラケット時のセルフタイマー	ブラケット順序
赤目軽減発光	 AF補助光	ISO AUTO 上限
ISO AUTO 下限	ISO AUTO低速限界	 長秒時NR
 高感度NR	中央ボタン押しロックオンAF	 美肌効果
 オートフレーミング	 手ブレ補正	 色空間
 オートスローシャッター	音声記録	録音レベル
風音低減		

## **登録を呼び出すには**

モードダイヤルの「1」、「2」、「3」から呼び出したい番号を選んでください。

## **登録した内容を変更するには**

呼び出したあとに希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

### **ご注意**

- プログラムシフトは登録できません。
- 一部の機能については、本機のダイヤルの位置と、実際に撮影に使われる設定とが一致しなくなります。本機のモニター情報をもとに撮影してください。

# 本機のバージョンを確認する

お手持ちのカメラのバージョンを表示します。本機のファームウェアのアップデートがリリースされたときなどに確認します。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [バージョン表示] を選ぶ。**

## ご注意

- バッテリー残量が  (残量が3個)以上でないと、アップデートは行えません。

# Wi-Fi/NFCワンタッチ機能を使う

本機のWi-Fi機能/NFCワンタッチ機能を使って次のことが行えます。

- スマートフォンにカメラの画像を転送する(200ページ)
- スマートフォンからカメラを操作する(202ページ)
- Wi-Fiでパソコンに画像を保存する(203ページ)
- Wi-Fiでテレビに画像を転送して鑑賞する(詳しくはヘルプガイド(242ページ)をご覧ください)

## スマートフォン用アプリをインストールする (PlayMemories Mobile™)

スマートフォン/タブレットにPlayMemories Mobileをインストールすると、次のことができるようになります。

- スマートフォン/タブレットにカメラの画像を転送する(200ページ)
- スマートフォン/タブレットからカメラを操作する(202ページ)

PlayMemories Mobileの最新情報、機能詳細はこちらをご覧ください。



PlayMemories  
Mobile



<http://www.sony.net/pmm/>

### ご注意

- すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

## スマートフォンにカメラの画像を転送する

静止画や、動画記録方式をMP4にして撮影した動画、および  
[同時ビデオ記録]で撮影されたMP4動画を転送できます。

- カメラのメモリーカードに保存されていない画像は、スマートフォン  
に転送できません。

### NFC対応のAndroidでワンタッチ接続する場合

- 1 スマートフォンの[設定]を起動  
して[その他の設定]を選び、  
[NFC/おサイフケータイ設定]の  
[NFC R/W P2P]または  
[Reader/Writer,P2P]にチェック  
を入れる。(初回のみ)

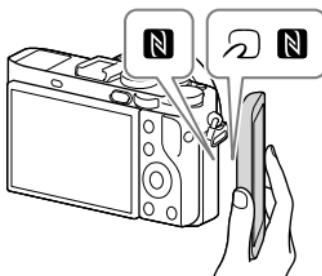


- 2 スマートフォンに転送したい画像を本機で再生する。

- 3 スマートフォンを、本機の[N]に  
1秒～2秒タッチする。

PlayMemories Mobileが起動し、本機の  
画像がスマートフォンに転送される。

- 転送された画像はAndroidのギャラ  
リー / アルバムに保存されます。



## ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- 本機とスマートフォンの画面に[N]が表示されていることを確認してください。
- 一部の[?]がついているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFCでうまく接続できない場合は「NFCを使わずに接続する場合」で接続してください。

## NFCを使わずに接続する場合

1 転送したい画像を本機で1枚再生する。

2 MENUボタン → [ワイヤレス] → [スマートフォン転送]  
→ [カメラから選ぶ] → [この画像]を選択。

3 本機に表示されたSSID (DIRECT-xxxx)とパスワードを見て、スマートフォンを操作する。



SSID                    パスワード

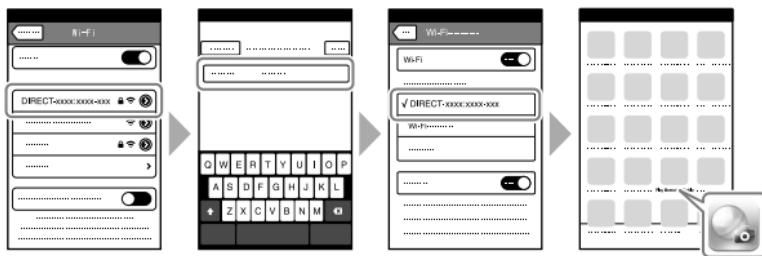
Androidの場合：

- ① PlayMemories Mobileを起動して、本機のSSID (DIRECT-xxxx)を選択。
- ② 本機に表示されているパスワードを入力する。(初回のみ)



## iPhone/iPadの場合：

- ① iPhone/iPadで[設定] → [Wi-Fi]を選び、本機のSSID (DIRECT-xxxx) を選ぶ。
- ② 本機に表示されているパスワードを入力する。(初回のみ)
- ③ SSID (DIRECT-xxxx) に接続したことを確認する。
- ④ ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



本機の画像がスマートフォンに転送される。

- 転送された画像はAndroidのギャラリー／アルバムまたは、iPhone/iPadのアルバムに保存されます。
- 上記の手順でスマートフォンを本機と接続できない場合は、スマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてから同じ操作をお試しください。または、本機でSSID/パスワードをリセットしてください。

## スマートフォンをリモコンとして使う

PlayMemories Mobileを使うと、カメラの撮影範囲をスマートフォンの画面で確認しながら静止画を撮影できます。カメラを撮影画面にして、以下の手順で接続してください。

**1 MENUボタン → □ (アプリケーション) → [アプリ一覧] → [スマートリモコン内蔵版] を選ぶ。**

**2 本機とスマートフォンを接続する(200、201ページ)。**

- NFC対応のAndroidをお使いの場合、本機を撮影画面にして本機のNとスマートフォンのNマークまたは□をタッチすると、ワンタッチで接続できます。

---

### 3 スマートフォンで本機を操作する。

---

#### ご注意

- 通信環境や相手機器によって通信距離は変わります。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、ライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

#### Wi-Fiでパソコンに画像を保存する

あらかじめ、無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターをパソコンにつないでください。

---

### 1 お使いのパソコンに専用のソフトウェアをインストールする。 (初回のみ)

Windows : PlayMemories Home

<http://www.sony.net/pm/>

Mac : ワイヤレス自動取り込み

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

- インターネット接続が必要です。
- すでに専用ソフトウェアがインストール済みの場合でも、必ず最新版をウェブサイトからインストールしてください。
- ソフトウェアのインストール後に、パソコンとカメラをマルチ/マイクロUSBケーブル(付属)で接続し、Wi-Fi取り込み設定を行ってください。

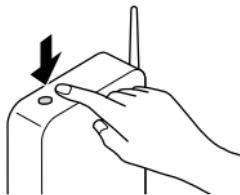
## 2 本機を無線アクセスポイントに接続する。(初回のみ)

以下のどちらかの手順で登録を行えない場合は、無線アクセスポイントの説明書をご参照いただくか管理されている方にお問い合わせください。

**お使いの無線アクセスポイントにWi-Fi Protected Setup (WPS) プッシュボタン\*がある場合：**

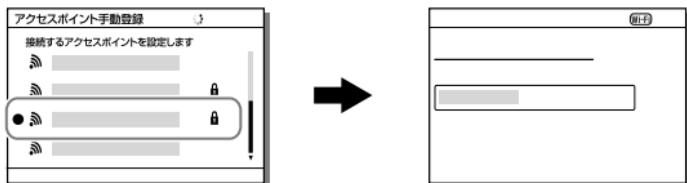
- ① カメラのMENUボタン → (ワイヤレス) → [アクセスポイント簡単登録] を選ぶ。
- ② 登録したい無線アクセスポイントの Wi-Fi Protected Setup (WPS) ボタン\*を押す。

\* 無線アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS)の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。



**お使いの無線アクセスポイントのSSIDとパスワードをご存知の場合：**

- ① カメラのMENUボタン → (ワイヤレス) → [アクセスポイント手動登録] を選ぶ。
- ② 接続したい無線アクセスポイントを選び、無線アクセスポイントのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。



## 3 パソコンが起動していない場合は、パソコンの電源を入れる。

## 4 本機のMENUボタン → (ワイヤレス) → [パソコン保存] を選ぶ。

自動的に画像保存が開始される。

- 2回目以降は新しく撮影した画像のみ保存します。
- 動画や複数枚の静止画を転送する場合、時間がかかります。

# カメラに機能を追加する (PlayMemories Camera Apps)

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト

 (PlayMemories Camera Apps) に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。

## アプリケーションをダウンロードする

### 1 パソコンでアプリケーションダウンロードサイトへアクセスする。

<http://www.sony.net/pmca/>

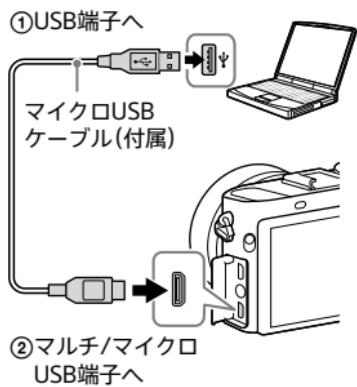
- ダウンロードに必要なパソコンの動作環境は、アプリケーションダウンロードサイトをご確認ください。

### 2 画面の指示に従って、サービスアカウントを取得する。(初回のみ)

- アカウントをお持ちの場合は、アプリケーションダウンロードサイトへサインインしてください。

### 3 お好みのアプリケーションを選び、画面の指示に従って本機にアプリケーションをダウンロードする。

- 画面の指示に従って、パソコンと本機をマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。



**本機のWi-Fi機能で直接ダウンロードするには**  
Wi-Fi機能を使って、パソコンを使用せずにダウンロードすることもできます。

**MENUボタン → ■ (アプリケーション) → [アプリ一覧] →  
[PlayMemories Camera Apps] を選び、画面の指示に従って  
ダウンロードする。**

- あらかじめサービスアカウントを取得してください。
- MENUボタン → ■ (ワイヤレス) → [アクセスポイント手動登録]  
→ 接続したいアクセスポイント → [IPアドレス設定]が  
[マニュアル]になっている場合は[オート]に変更してください。

### アプリケーションを起動する

**MENUボタン → ■ (アプリケーション) → [アプリ一覧] → 希望のアプリケーションを選んで起動する。**

### NFC機能を使ってアプリケーションを起動するには

[ワンタッチ(NFC)]を使うと、NFC機能搭載のAndroidスマートフォンを本機の■にタッチして、アプリケーションを呼び出すこともできます。

- ご購入時、[ワンタッチ(NFC)]には[スマートリモコン内蔵版]が割り当てられています。

### アプリケーションをすばやく起動するには

カスタムキーの設定で、[ダウンロードアプリ]、[登録アプリ一覧]を設定しておくと、撮影情報画面でカスタムキーを押すだけでアプリケーションを起動したり、アプリケーション一覧を表示できます。

### アプリケーションの並び順を変えるには

**MENUボタン → ■ (アプリケーション) → [アプリ一覧] →  
[アプリケーション管理] → [並べ替え] を選び、画面の指示に従って  
アプリケーションを並べ替える。**

## アプリケーションをアンインストールする

1 MENUボタン → ■ (アプリケーション) → [アブリ一覧] → [アプリケーション管理] → [管理と削除] を選ぶ。

2 アンインストールするアプリケーションを選ぶ。

3 □を選んでアンインストールする。

- アンインストールしたアプリケーションは再度インストールすることができます。詳しくはアプリケーションダウンロードサイトをご覧ください。

# RAW画像を現像する (Image Data Converter)

次のことがどうできます。

- RAW画像を再生し、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集
- ホワイトバランスや露出、クリエイティブスタイルなどの画像の調整
- 表示、編集した静止画をパソコンに保存  
RAWデータのまま保存する方法と、汎用ファイルフォーマット形式で保存する方法があります。
- 本機で撮影したRAW画像/JPEG画像の表示、比較
- 5段階でランク付け
- カラーラベルの設定

## Image Data Converterをインストールする

パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

<http://www.sony.co.jp/ids-sj/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、Image Data Converterのサポートページをご覧ください。  
<http://www.sony.co.jp/ids-sj/>
- Image Data Converterのメニューバーから表示できるヘルプでも、詳しい操作を確認できます。

# パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)

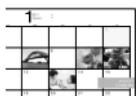
撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。  
XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は  
PlayMemories Homeが必要です。



取り込んだ画像を  
再生する



Windowsは以下の機能も使えます。



カレンダーで表  
示



動画ディス  
クを作成



ネットワー  
クサービスにアッ  
プロード

PlayMemories Online™  
で画像をシェア



- カメラとパソコンを接続し、PlayMemories Homeを起動して、[お知らせ]をクリックするとImage Data ConverterやRemote Camera Controlなどのソフトウェアがダウンロードできます。

## ご注意

- PlayMemories Online、各ネットワークサービスの利用にはインターネット接続が必要です。
- Mac用アプリケーションについては以下のURLをご覧ください。  
<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェアPMB (Picture Motion Browser)がインストールされている場合、PMBはPlayMemories Homeに上書きインストールされます。
- PMBの後継ソフトウェアPlayMemories Homeをご使用ください。
- [記録設定]を[60p 28M (PS)]または[60i 24M (FX)]、[24p 24M (FX)]にして撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

## PlayMemories Homeをインストールする

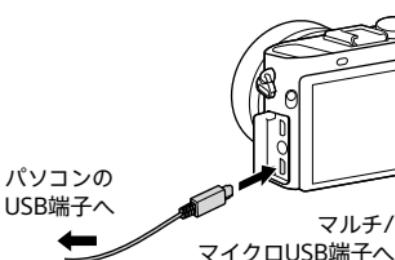
パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

<http://www.sony.net/pm/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、PlayMemories Homeのサポートページをご覧ください。  
<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>

## PlayMemories Homeで使用できる機能を追加する

本機とパソコンを接続すると、PlayMemories Homeに機能が追加される場合があります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを一度接続することをおすすめします。



# パソコンからカメラを操作する (Remote Camera Control)

パソコンと本機を接続してRemote Camera Controlをご利用になると、次のことができます。

- 本機の設定、撮影をパソコンで行います。
- 撮影した画像を直接パソコンに記録します。
- インターバルタイマー撮影を行います。

MENUボタン →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート]にしてから使います。詳しい使いかたは、ヘルプをご覧ください。

## Remote Camera Controlをインストールする

パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

Windows:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、ヘルプをご覧ください。

# 本機とパソコンを接続する

## USB接続方法を設定する

本機をパソコンなどとUSB接続するときの接続方法を設定します。

MENUボタン →  (セットアップ) → [USB接続] → 希望の設定を選ぶ。

オート	接続するパソコンやその他USB機器に応じて、MTPとマスストレージのどちらで接続するのか自動的に選択される。Windows 7、Windows 8の場合にはMTPで接続され、Windows 7、Windows 8特有の機能が使用できる。
マスストレージ	本機とパソコン、その他USB機器をマスストレージ接続する。
MTP	本機とパソコン、その他USB機器をMTP接続する。Windows 7、Windows 8の場合にはMTPで接続され、Windows 7、Windows 8特有の機能が使用できる。
PCリモート	Remote Camera Controlを使って、パソコンから撮影したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする。

### ご注意

- [USB接続]を[オート]に設定しているときは、接続に時間がかかる場合があります。
- Windows 7、Windows 8接続時にデバイスステージ\*が表示されない場合、[USB接続]を[オート]に設定してください。  
\* 接続されたカメラなどを管理できるメニュー画面(Windows 7、Windows 8の機能)です。

## USB接続モードを設定する(USB LUN設定)

本機をパソコンなどとUSB接続するとき、USB接続の機能を制限して互換性を高めます。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定します。

**MENUボタン →  (セットアップ) → [USB LUN設定] → 希望の設定を選ぶ。**

マルチ	通常はこちらを選ぶ。
シングル	[マルチ]で接続できないときは、こちらを選ぶ。

## パソコンと接続する

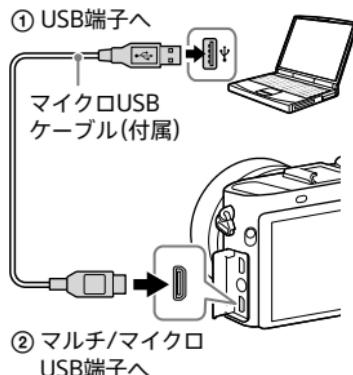
**1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる。**

**2 本機とパソコンの電源を入れる。**

**3  (セットアップ) の [USB接続] が [マスストレージ] になっていることを確認する。**

**4 本機とパソコンを接続する。**

- 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。  
作業が終わるまでお待ちください。



## 画像を取り込んで見る(Windows)

PlayMemories Homeを使うと、簡単に画像を取り込めます。

### PlayMemories Homeを使わずに画像をパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、  
[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM]または  
[MP\_ROOT]をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピー  
してください。

### ファイル名について

フォルダー	ファイルの種類	ファイル名
DCIM フォルダー	JPEG ファイル	DSC□□□□.JPG
	JPEG ファイル(AdobeRGB)	_DSC□□□□.JPG
	RAW ファイル	DSC□□□□.ARW
	RAW ファイル(AdobeRGB)	_DSC□□□□.ARW
MP_ROOT フォルダー	MP4 ファイル	MAH0□□□□.MP4

- (ファイル番号)は0001～9999の半角数字です。
- []を[RAW+JPEG]で撮影した場合、RAWファイルとJPEGファイル名の数字部分は同じです。

### ご注意

- XAVC S動画やAVCHD動画を取り込むなどの操作はPlayMemories Homeを使用してください。
- 本機とパソコンを接続した状態で、パソコンから本機のAVCHD動画ファイルやフォルダーを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。パソコンから本機のメモリーカード上のAVCHD動画を削除したり、コピーをしたりしないでください。このような操作をした結果に対し、当社は責任を負いかねます。

## 画像を取り込んで見る(Mac)

PlayMemories Homeを使うと、簡単に画像を取り込めます。

### PlayMemories Homeを使わずに画像をパソコンに取り込むには

- 1 本機とパソコンを接続したら[デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン] → [取り込みたい画像の入ったフォルダ]の順にダブルクリックする。
- 2 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップする。  
ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。
- 3 [ハードディスクアイコン] → [画像ファイル]の順にダブルクリックする。  
画像が表示される。

### Mac用ソフトウェアについて

その他Mac用ソフトウェアの詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

## パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、1～2の手順をあらかじめ行ってください。

- マイクロUSBケーブルを抜く。
- メモリーカードを取り出す。
- 本機の電源を切る。

---

**1 タスクトレイの⏏ (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す)をクリックする。**

---

**2 [DSC-RX1RM2の取り出し]をクリックする。**

---

### ご注意

- Mac使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。
- Windows 7、Windows 8使用時は、切断アイコンが出ない場合があります。その場合は前記の手順を行わずに切断できます。
- アクセスランプが点灯しているときは、マイクロUSBケーブルを抜かないでください。データが壊れことがあります。

# 動画のディスクを作成する

## 動画ディスクの作りかたを選ぶ

本機で記録した動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。作成方法は、PlayMemories Homeを使ってパソコンで作成する方法(Windowsのみ)と、レコーダーなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

### ご注意

- Mac版のPlayMemories Homeではディスクを作成できません。
- MP4動画とXAVC S動画からのディスク作成は、ブルーレイディスクとDVD(AVCHD記録ディスク)のみ対応しています。また、PlayMemories Home Ver.4.3.00以上へのアップデートが必要です。

## 作成できるディスクの種類と動画記録方式

ディスクの種類/目的	記録方式			再生機器
	XAVC S	AVCHD	MP4	
<b>Blu-ray</b> (ブルーレイディスク) ハイビジョン画質で残したい	<input type="radio"/> *1	<input type="radio"/> *2	<input type="radio"/> *1	ブルーレイディスク再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイスチョン3など)
<b>DVD</b> ハイビジョン画質 (AVCHD記録ディスク) で残したい	<input type="radio"/> *1	<input type="radio"/> *3	<input type="radio"/> *1	AVCHD規格対応再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイスチョン3など)
<b>DVD</b> 標準画質で記録して残したい	×	<input type="radio"/>	×	一般的なDVD再生機器 (DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)

\*1 [記録方式]をXAVC SまたはMP4にして撮影した動画は、PlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。

そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。

\*<sup>2</sup> [記録方式]をAVCHD、[記録設定]を[60p 28M (PS)]にして撮影した動画からブルーレイディスクを作成するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

\*<sup>3</sup> [記録設定]を[60p 28M (PS)]または[60i 24M (FX)]、[24p 24M (FX)]にして撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

## パソコンで動画ディスクを作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってディスクを作成できます(Windowsのみ)。お使いのパソコンが各ディスクの作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルで本機を接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます(インターネット接続が必要です)。標準画質でDVDを作成する場合は、画面の指示に従って専用のアドオンソフトウェアをインストールしてください。

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細は、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

## PlayMemories Homeで使えるディスクの種類について

PlayMemories Homeでは以下の12 cmのディスクを使えます。

ディスクの種類	特徴
BD-R* / DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできない。
BD-RE* / DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できる。

\* 追加記録はできません。

## パソコン以外の機器で動画ディスクを作成する

ブルーレイレコーダーなどでもディスクを作成することができます。機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

使用する機器	作成できるディスクの種類
 ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質のディスクを作成する。	<b>Blu-ray</b> (ブルーレイディスク) ハイビジョン画質 <b>DVD</b> 標準画質
 HDDレコーダーなどを使って標準画質のディスクを作成する。	<b>DVD</b> 標準画質

### ご注意

- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- [60p 28M (PS)]で撮影した動画からブルーレイディスクを作成するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクを再生するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。

# 困ったときは

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 220 ~ 228ページの項目をチェックし、本機を点検する。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする(53ページ)。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

[http://www.sony.jp/support/cyber-shot/repair\\_service/](http://www.sony.jp/support/cyber-shot/repair_service/)



❺ 相談窓口に電話で問い合わせる。

## バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの先端でロックレバーを押しながら入れてください(55ページ)。
- バッテリーはNP-BX1のみ使用できます。NP-BX1かどうか確認してください。
- バッテリーの向きを確認してください。

---

## バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。電源が入らない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です(233ページ)。
  - バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください(56ページ)。
  - バッテリーの寿命です(239ページ)。新しいバッテリーと交換してください。
  - バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(56ページ)。
- 

## 電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れことがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- 

## 充電できない。

- 本機の電源を切った状態で充電してください。
- 

## バッテリー充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーはNP-BX1のみ使用できます。NP-BX1かどうか確認してください。
  - バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
  - 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
  - 充電に適した範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。バッテリーの充電は周囲温度が10°C ~30°Cの環境で行うことをおすすめします。
- 

## 電源を入れてもモニターがつかない。

- [FINDER/MONITOR]が[ファインダー (マニュアル)]になっています。[FINDER/MONITOR]を[オート]にしてください(188ページ)。

## 撮影する

### ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度を正しく調整してください(23ページ)。

### ファインダーに画像が映らない。

- [FINDER/MONITOR]が[モニター (マニュアル)]になっています。  
[FINDER/MONITOR]を[オート]または、[ファインダー (マニュアル)]にしてください(188ページ)。
- ファインダーに接眼してください。

### モニターに画像が映らない。

- [FINDER/MONITOR]が[オート]でウェストレベル撮影をする場合、アイセンサーが反応してモニターが消灯します。[FINDER/MONITOR]を[モニター (マニュアル)]にしてください。

### [カスタムキー (撮影)]または[カスタムキー (再生)]で[FINDER/MONITOR切換]を割り当てたが、うまく動作しない。

- [FINDER/MONITOR]が[オート]になっています。[FINDER/MONITOR]を[ファインダー (マニュアル)]または[モニター (マニュアル)]にしてください(188ページ)。

### シャッターが切れない。

- 書き込み禁止スイッチまたは誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。
- メモリーカードの空き容量を確認してください。
- [メモリーカードなしリリーズ]を[許可]にしてください(181ページ)。  
ただし、本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。
- セルフタイマーになっている。

### 撮影に時間がかかる。

- ノイズ軽減処理機能が働いています(155ページ)。故障ではありません。
- RAWモードで撮影しています(143ページ)。RAWモードでの撮影はデータ量が大きいため、撮影に多少時間がかかる場合があります。
- オートHDR処理中です(131ページ)。
- マルチショットNR処理中です(128ページ)。

---

## 同じ画像が数枚撮影される。

- ドライブモードが連続撮影、またはブラケット撮影になっています。  
[1枚撮影]にしてください(115ページ)。
- 

## ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎます。
- マニュアルフォーカスになっている。フォーカスマードダイヤルを「MF(マニュアルフォーカス)」以外にしてください(97ページ)。
- 光量が不足している。
- マクロ切り換えリングの位置が正しくありません。マクロ切り換え指標に、「0,3m-∞」(通常撮影)または「0,2m-0,35m」(マクロ撮影)の指標を合わせてください(69ページ)。

---

## 正しい撮影日時が記録されない。

- 日付・時刻を合わせてください(65ページ)。
- エリア設定で現在地と異なる場所が設定されています。[エリア設定]を設定し直してください(65ページ)。

---

## シャッターボタンを半押しすると絞り値、シャッタースピード、測光インジケーターが点滅する。

- 被写体が明るすぎる、または暗すぎるため、本機の調整の範囲を超えていません。設定し直してください。

---

## 画像が白っぽくなる(フレア)。

## 光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 強い光源にカメラを向けるとレンズに余分な光が入ることで画像が白っぽくなったり(フレア)、光のにじみが現れたり(ゴースト)することがあります。故障ではありません。
- レンズフード(別売)を取り付けてください。また強い光源に向けないように構図を工夫して撮影してください。

---

## 画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合(光量低下)があります。この場合は[周辺光量補正](190ページ)で補正することができます。

---

## **被写体の目が赤く写る。**

- ・[赤目軽減発光]を[入]にしてください(122ページ)。
  - ・被写体に近づいてフラッシュ調光距離内で撮影してください。
- 

## **モニターに点が現れて消えない。**

- ・故障ではありません。これらの点は記録されません(15ページ)。
- 

## **モニターの表示が普段と異なる。**

- ・DISPボタンを押して、モニターの表示をお好みの設定に変えてください(92ページ)。
- 

## **画像がブレる。**

- ・暗いところでフラッシュを使わずに撮影したので、手ブレを起こしています。暗いところでの撮影はシャッタースピードが遅くなるので、三脚またはフラッシュの使用をおすすめします(121ページ)。
- 

## **音声が正しく記録されない。**

- ・録音レベルを調節してください(164ページ)。
  - ・録音レベルを調節して音量を最大にすると、音声が割れやすくなります。
- 

## **画像を見る**

### **再生できない。**

- ・パソコンでフォルダー / ファイルの名前を変更したためです(214ページ)。
  - ・パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
  - ・パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeを使って画像をコピーしてください。
  - ・USBモードになっています。USB接続を終了してください(216ページ)。
- 

### **画像が表示されるまでに時間がかかる。**

- ・非圧縮RAW形式で撮影したファイルを拡大再生すると、画像が表示されるまでに時間がかかります。

---

## サムグリップ(別売)を使用時にモニターに画像が映らない。

- フайнダーがポップアップした状態で ▶ (再生)ボタンを押すときにグリップ部を倒すと、アイセンサーが反応する場合があります。その場合は、ファインダーを収納するか、あらかじめ[カスタムキー (撮影)](183ページ)または[カスタムキー (再生)](186ページ)で[FINDER/MONITOR切換]を割り当てるボタンを押してファインダー表示とモニター表示を切り換えてください。

## 画像を削除する

### 削除できない。

- 画像のプロテクトを解除してください(171ページ)。

### 誤って消してしまった。

- 一度削除した画像は元に戻せません。誤消去を防止したい画像には、あらかじめプロテクトをかけてください(171ページ)。

## パソコン

最新サポート情報は、サイバーショット専用サポートサイトをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/cyber-shot/>

### 対応しているOSがわからない。

- ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認いただけます。

<http://www.sony.net/pcenv/>

---

## **本機がパソコンに認識されない。**

- 本機の電源が入っているか確認してください。
- バッテリー残量が少ないとときは、充電されたバッテリーを取り付けてください(55ページ)。
- 接続には、付属のマイクロUSBケーブルを使ってください(213ページ)。
- 一度パソコンと本機からUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください(213ページ)。

---

## **画像をコピーできない。**

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください(213ページ)。
- OSに対応した手順でコピーしてください(214、215ページ)。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードで撮影した場合、画像をパソコンへコピーできないことがあります。本機でフォーマットしたメモリーカードで撮影してください(191ページ)。

---

## **画像を再生できない。**

- PlayMemories Homeをお使いの場合はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

---

## **USB接続をしたときにPlayMemories Homeが自動起動しない。**

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をしてください(213ページ)。

### **メモリーカード**

---

## **本機に入らない。**

- メモリーカードを入れる向きが違っています。正しい向きにして入れてください(61ページ)。

---

## **記録できない。**

- メモリーカードの容量がいっぱいになっています。不要な画像を削除してください(73、174ページ)。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています(62、236ページ)。

---

## 誤ってフォーマットしてしまった。

- フォーマットすると、メモリーカード内のデータはすべて削除され、元に戻せません。

## プリントする

### プリントできない。

- RAW画像はプリントできません。RAW画像をプリントするには、Image Data ConverterでJPEG画像に変換してください。

### 画像の色合いがおかしい。

- AdobeRGBで撮影した画像を、AdobeRGB (DCF2.0/Exif2.21)に対応していないsRGB環境下のプリンターで印刷すると、低彩度な画像になります(157ページ)。

### 両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に横縦比が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなしプリント機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

### 日付を入れてプリントできない。

- [□日付書き込み]を[入]にすると静止画に日付を記録できます(188ページ)。一度日付を入れると削除できないのでご注意ください。
- PlayMemories Homeを使うと、日付を記録せずに撮影した静止画にも日付挿入できます(Windows版のみ)(209ページ)。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れてプリントできます。

## その他

### レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用してください(233ページ)。

---

### 電源を入れると、[エリア/日付/時刻を設定してください]というメッセージが表示される。

- バッテリーが消耗したまま、または本機のバッテリーを取り出したまま放置したため、日時の設定が失われました。バッテリーを充電して、日時を再設定してください(65、234ページ)。バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があるため、相談窓口にお問い合わせください。

---

### 撮影残り画像数が減らなかったり、一度に2枚減ったりする。

- JPEG画像の場合、画像によって圧縮率や圧縮後のファイルサイズが変わるためにです(143ページ)。

---

### リセット操作をしていないのに、設定内容がリセットされる。

- ON/OFF(電源)スイッチが「ON」のままバッテリーを取り出すと、設定内容がリセットされることがあります。バッテリーを取り出すときは、ON/OFF(電源)スイッチを「OFF」にして、アクセスランプが点灯していないのを確かめてから取り出してください(24、60ページ)。

---

### 本機が正常に作動しない。

- 本機の電源を切ってバッテリーを一度取り出し、入れ直してください。温度が上がっているときには、いったんバッテリーを取りはずし、本機の温度が下がってからこれらの処置を行ってください。
- 別売のACアダプター使用時は、一度コードを抜いて、電源を入れ直してください。それでも直らない場合や何度も繰り返す場合は故障ですので、お買い上げ店または相談窓口にお問い合わせください。

---

### 画面に「--E-」が表示される。

- メモリーカードを一度取り出し、入れ直してください。それでも直らない場合は、メモリーカードをフォーマットしてください。

# 警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

## エリア/日付/時刻を設定してください

- エリアと日付、時刻を設定する。長時間使用していない場合は内蔵の充電式バックアップ電池を充電する(65、234ページ)。

## このメモリーカードは使えません フォーマットしますか？

- パソコンでフォーマットを行い、ファイルシステムを変更した。  
[実行]を選んでフォーマットを行ってください。フォーマットをすると本機で使用できるようになりますが、カード内のデータはすべて削除されます。また、フォーマットに多少時間がかかることがあります。
- それでもメッセージが出る場合は、カードを交換してください。

## メモリーカードエラー

- 本機では使えないカードが入っている。または、フォーマットに失敗した。

## メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っている。
- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードの端子が汚れている。

## メモリーカードがロックされています

- 書き込み禁止スイッチまたは誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除する。

## メモリーカードが入っていないのでシャッターが切れません

- メモリーカードが入っていない。
- 本機にメモリーカードを入れずにシャッターを切る場合は、  
[メモリーカードなしレリーズ]を[許可]にする。その際、画像は保存されません。

## ノイズリダクション実行中

- 長秒時ノイズリダクション、高感度ノイズリダクションが機能した場合、シャッターが開いていた時間分だけ、ノイズ軽減処理を行う。この間は次の撮影はできない。

## 表示できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像や、パソコンで画像を加工した場合は表示できないことがある。
- パソコンで画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください(193ページ)。

## DPOF指定できません

- RAW画像をDPOF指定しようとしている。

## しばらく使用できません

カメラの温度が下がるまでお待ちください

- 連続撮影したため、本機の温度が上がった。  
本機の電源を切って、本機の温度が下がり再び撮影可能になるのを待ってから撮影してください。

## [回]

- 長時間撮影したため、本機の温度が上がった。撮影を終了してください。

## この動画記録方式では

撮影できません

- [ 記録方式]を[MP4]にしてください。



FULL

- 本機で日付を管理できる枚数を越えている。



ERROR

- 本機の管理ファイルへの記録ができない。PlayMemories Homeで、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカードを修復してください。

## カメラエラー 電源を入れなおしてください

## システムエラー

- 本機の電源を切ってバッテリーを一度取り出し、入れ直す。何度も繰り返す場合は相談窓口にお問い合わせください。

## 管理ファイルに不整合が見つかりました

## 修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているため、AVCHD動画の撮影、再生ができない。画面の指示に従い修復してください。

## 拡大できません

## 回転できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像は、拡大/回転できないことがある。

---

## これ以上フォルダー作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダーがメモリーカード内にある。本機でこれ以上のフォルダーを作成できない。
- 

### **[MACRO](点滅)**

- マクロ切り換え指標が「0,3m-∞」(通常撮影)と「0,2m-0,35m」(マクロ撮影)の中間にあるとき、**[MACRO]**が点滅します。マクロ切り換えリングを回して、指標をどちらかに合わせてください(69ページ)。

# 本体のお手入れ

## カメラ本体の清掃

- 本体表面の清掃は、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりがあるので、以下のことは行わないでください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
  - 上記が手についたまま本機を扱うこと
  - ゴムやビニール製品との長時間の接触

## レンズの清掃

- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
- レンズ面を清掃するときは、市販のプロアーでほこりなどを取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽くふいてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけないでください。

# 使用上のご注意

## 使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温になる場所  
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管  
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所  
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起る場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 湿度の高い場所  
レンズにカビが発生することがあります。

## 保管方法

使用しないときは、必ずレンズキャップを付けてください。

## 持ち運び時のご注意

本機に三脚を取り付けたまま、持ち運ばないでください。  
三脚取り付け部が破損するおそれがあります。

## 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0°C～40°Cです。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

## 結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

## 結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからお使いください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

## 内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するため内蔵式充電式バックアップ電池を内蔵しています。充電式バックアップ電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し3か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バックアップ電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問合せください(裏表紙)。

## 内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプターを使ってコンセントにつないで、本機の電源を切ったまま24時間以上放置する。

## メモリーカードについて

メモリーカードおよびカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。故障の原因になります。

## 本機の廃棄/譲渡に関するご注意

個人情報保護のため、本機を廃棄、譲渡するときは以下の操作を行ってください。

- ・[設定リセット] → [初期化](53ページ)

## メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[フォーマット]や[削除]では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

## 撮影・再生に関してのご注意

- ・本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- ・砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- ・結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(233ページ)。
- ・本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることができます。
- ・本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。メモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# 海外で使用するには

付属のACアダプターは全世界(AC100V ~ 240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によってはコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねのうえ、ご用意ください。

コンセント形状例			
地域	主に北米	主にヨーロッパ	
変換プラグアダプター	不要	必要	

## ご注意

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は不要です。故障の原因となるので使わないでください。

## 海外のテレビで見る(カラーテレビ出力方式)

本機で撮影した画像をテレビで見るときは、本機と同じカラーテレビ方式(NTSC)のテレビが必要です。カラーテレビ出力方式は、国や地域によって異なります。

### NTSC方式

日本、アメリカ、エクアドル、カナダ、韓国、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、台湾、中央アメリカ、チリ、バハマ、フィリピン、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコ、など

### PAL方式

イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、クウェート、クロアチア、シンガポール、イス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国大陆、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、ルーマニア、など

### PAL-M方式

ブラジル

### PAL-N方式

アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ

### SECAM方式

イラク、イラン、ウクライナ、ギリシャ、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、モナコ、ロシア、など

# メモリーカードについて

## メモリーカード使用上の ご注意

- ・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のある場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがいる場所
- ・長時間使用した直後のメモリーカードは熱くなっています。ご注意ください。
- ・アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切らないでください。データが壊れことがあります。
- ・強い磁気のそばにメモリーカードを近づけたり、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが壊れことがあります。
- ・大切なデータは、パソコンのハードディスクなどにバックアップを取つておくことをおすすめします。
- ・メモリーカードの持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ・水にぬらさないでください。
- ・端子部には手や金属で触れないでください。

- ・書き込み禁止スイッチや誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると画像の記録や消去などができなくなります。この場合はロックを解除してください。
- ・パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。本機でフォーマットしてください。
- ・お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- ・メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- ・メモリーカード本体にラベルなどを貼らないでください。
- ・分解したり、改造したりしないでください。
- ・小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。

## 本機で使用できるメモリースティックについてのご注意

本機で使用できるものは下記のとおりです。ただし、すべてのメモリースティック PRO デュオの動作を保証するものではありません。

### メモリースティック PRO デュオ<sup>1)2)3)</sup>

### メモリースティック PRO-HG デュオ<sup>1)2)</sup>

- 1) マジックゲート™搭載のメモリースティック デュオです。  
“マジックゲート”とは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。  
本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。
- 2) パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。
- 3) 動画撮影時はMark2マークの付いたもののみ使えます。

- 使用可能なメモリースティックについての最新情報は、ホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください。

[http://www.sony.jp/  
memorystick/compatible/](http://www.sony.jp/memorystick/compatible/)

## メモリースティック マイクロ™ (別売)使用上のご注意

- 本製品はメモリースティック マイクロ(M2)に対応しています。M2はメモリースティック マイクロの略称です。
- メモリースティック マイクロを本機でお使いの場合は、必ずメモリースティック マイクロをデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入すると、メモリースティック マイクロが取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロは小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

# バッテリーの充電について

- NP-BX1以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 充電終了後はACアダプターをコンセントからはずす、もしくは本体からUSBケーブルを抜いてください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- 本体側面の充電ランプには以下の2つの点滅パターンがあります。  
速い点滅・・・約0.3秒の点灯と消灯を繰り返す  
遅い点滅・・・約1.3秒の点灯と消灯を繰り返す
- 充電ランプが速い点滅をしている場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付ける、もしくはUSBケーブルを一度抜いてから挿し直してください。再び充電ランプが速く点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入されている、ACアダプターやUSBケーブルの不具合が考えられます。指定のバッテリーかどうか、またはACアダプターおよびUSBケーブルに傷、破損がないか確認してください。指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入して正常に充電できるか確認してください。  
正常に充電できる場合はバッテリーの異常が考えられます。別のバッテリーを挿入しても正常に充電できな

い場合、ACアダプターもしくはUSBケーブルの不具合が考えられます。別のACアダプターまたはUSBケーブルに交換して正常に充電できるか確認してください。

- 充電ランプが遅い点滅をしている場合は充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲外にある場合は自動的に充電を一時止め、待機状態になります。充電に適切な温度範囲に戻れば充電を再開し、充電ランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10°C ~ 30°Cの環境で行うことをおすすめします。

## バッテリー使用上のご注意

- バッテリーはNP-BX1をご使用ください。
- 使用状況や環境によっては、残量表示は正しく表示されません。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

## バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いと、バッテリーの性能は低下し、使用できる時間は短くなります。また、連写の速度も遅くなります。バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影や連続撮影、電源の入り切りなどを頻繁にしたり、モニターを明るく設定すると、バッテリーの消費が早くなります。

## バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

## 保管方法について

バッテリーを長持ちさせるためには、長時間使用しない場合でも、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

# ライセンスについて

## ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記載されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] - [LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：  
(i) 消費者が個人的、又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO (消費者が個人的、又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

## GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] - [LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

# 保証書とアフターサービス

## 必ずお読みください

### 記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかつた場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

### 保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを  
“困ったときは”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

# ヘルプガイドについて



「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。パソコンやスマートフォンでご覧ください。

さらに詳しい使いかたをご覧いただけます。

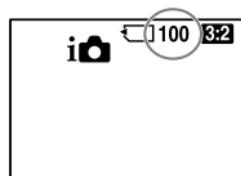
## URL :

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1550/ja/>



# 撮影可能枚数/時間を確認する

メモリーカードを入れてON/OFF（電源）スイッチを「ON」にすると、画面に、撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。



## ご注意

- 撮影可能枚数が「0」で黄色く点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください（61、174ページ）。
- 撮影可能枚数が「NO CARD」で黄色く点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

## 1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

画像サイズ：[L:42M]

横縦比3:2のとき\*

本機でフォーマットしたメモリーカード

（単位：枚）

画質	容量	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード		770	1550	3100	6200
ファイン		520	1000	2100	4200
エクストラファイン		270	540	1050	2150
RAW+JPEG（圧縮RAW）		130	260	520	1050
RAW（圧縮RAW）		170	350	700	1400
RAW+JPEG（非圧縮RAW）		75	150	300	600
RAW（非圧縮RAW）		88	175	355	710

\* [□横縦比]を[3:2]以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（RAW設定時はのぞく）。

# バッテリーの使用時間と撮影/再生可能枚数

		使用時間	枚数
静止画撮影	モニターモード時	—	約220枚
	ファインダーモード時	—	約200枚
実動画撮影	モニターモード時	約30分	—
	ファインダーモード時	約30分	—
連続動画撮影	モニターモード時	約50分	—
	ファインダーモード時	約50分	—
静止画再生		約170分	約3400枚

- ・ 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- ・ 使用時間や撮影可能枚数は以下の条件で撮影した場合です。
  - 温度が25°C
  - 当社製のメモリースティック PRO デュオ (Mark2) (別売) 使用時
  - [ファインダー明るさ] : [マニュアル] [±0]
  - [モニター明るさ] : [マニュアル] [±0]
  - [表示画質] : [標準]
- ・ 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。  
(CIPA : カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
  - DISP : [全情報表示]
  - フォーカスマード : S (シングルAF)
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 10回に一度、電源を入/切する
- ・ 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  - 動画画質 : 60i 17M (FH)
  - 実動画撮影 : 撮影、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
  - 連続動画撮影 : 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を続ける。その他の操作はしない。

## 動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルの合計記録時間の目安です。[記録方式]が[XAVC S HD]、[AVCHD]の数値は、[同時ビデオ記録]を[切]で使用したときの数値です。

### 本機でフォーマットしたメモリーカード

記録方式 サイズ	容量	8GB	16GB	32GB	64GB
XAVC S HD 60p 50M	—	—	—	—	2時間35分
XAVC S HD 30p 50M	—	—	—	—	2時間35分
XAVC S HD 24p 50M	—	—	—	—	2時間35分
XAVC S HD 120p 50M	—	—	—	—	2時間35分
AVCHD 60i 24M (FX)	40分	1時間25分	3時間	6時間	
AVCHD 60i 17M (FH)	55分	2時間	4時間5分	8時間15分	
AVCHD 60p 28M (PS)	35分	1時間15分	2時間30分	5時間5分	
AVCHD 24p 24M (FX)	40分	1時間25分	3時間	6時間	
AVCHD 24p 17M (FH)	55分	2時間	4時間5分	8時間15分	
MP4 1920×1080 60p 28M	35分	1時間15分	2時間35分	5時間20分	
MP4 1920×1080 30p 16M	1時間	2時間	4時間10分	8時間25分	
MP4 1280×720 30p 6M	2時間35分	5時間20分	10時間55分	22時間	

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です。ただし、XAVC S HD 120p撮影時は約5分です(商品仕様による制限)。また、記録方式の設定をMP4 (28M)にした場合、連続で撮影できる時間は約20分です(ファイルサイズ4GBによる制限)。

## ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR (Variable Bit-Rate) 方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 表の数値は連続撮影時間ではありません。
- 撮影環境や使用するメモリーカードによって記録時間が異なる場合があります。
- 動画の再生については71ページをご覧ください。

## 動画の連続撮影についてのご注意

- イメージセンサーを使った高精彩な動画や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。温度の上昇は画質への影響やカメラ内部に対して負荷が生じるので自動的に電源が切れる仕様となっています。
- 連続動画撮影時間は温度環境や動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、連続動画撮影時間は短くなります。
- []が表示された場合は動画撮影を終了してください。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまま数分間放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
  - できるだけ直射日光を避ける
  - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 動画の連続撮影は最長でも約29分で停止します。
- [記録方式]が[AVCHD]の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。
- [記録方式]が[MP4]の場合は、1つの動画ファイルは約4GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約4GBになると、自動的に記録が止まります。

# 主な仕様

## 本体

### [撮像部]

撮像素子	35 mmフルサイズ(35.9 mm×24.0 mm)、CMOSイメージセンサー
カメラ有効画素数	約42 400 000画素
総画素数	約43 600 000画素

### [レンズ]

レンズ ZEISS ゾナー T\* 35mm単焦点レンズ

焦点距離 f=35 mm

動画撮影時：

[手ブレ補正]が[切]：37 mm

[手ブレ補正]が[入]：44 mm

F値 F2.0

最短撮影距離 マクロ切り替えリングが「0,3m-∞」：0.3 m

マクロ切り替えリングが「0,2m-0,35m」：0.2 m

- 最短撮影距離とはイメージセンサー位置表示から被写体までの距離を表します。

最大撮影倍率 マクロ切り替えリングが「0,3m-∞」：0.15倍

マクロ切り替えリングが「0,2m-0,35m」：0.26倍

最小絞り F22

フィルター径 49 mm

### [手ブレ補正]

形式 電子式(動画時のみ)

### [オートフォーカス]

形式 位相差検出方式/コントラスト検出方式

## [ファインダー]

形式	電子式ビューファインダー
総ドット数	2 359 296ドット
視野率	100%
倍率	約0.74倍(50 mmレンズ換算、無限遠、視度 $-1\text{ m}^{-1}$ 時)
アイポイント	最終光学面から約19 mm、接眼枠から約18.4 mm (視度 $-1\text{ m}^{-1}$ 時)(CIPA規格準拠)
視度調整	$-4.0\text{ m}^{-1} \sim +3.0\text{ m}^{-1}$

## [モニター]

液晶モニター	7.5 cm (3.0型) TFT駆動
ドット数	1 228 800 (640×4 (RGBW)×480) ドット

## [記録方式]

静止画記録方式	JPEG (DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline) 準拠、RAW (ソニー ARW 2.3フォーマット)
---------	---

動画記録方式(XAVC S方式)	MPEG-4 AVC/H.264 XAVC S ver.1.0規格準拠 映像 : MPEG-4 AVC/H.264 音声 : LPCM 2ch (48kHz 16bit)
------------------	---

動画記録方式(AVCHD方式)	AVCHD規格 Ver2.0準拠 映像 : MPEG-4 AVC/H.264 音声 : Dolby Digital 2ch ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載 • ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
-----------------	---

動画記録方式(MP4方式)	映像 : MPEG-4 AVC/H.264 音声 : MPEG-4 AAC-LC 2ch
---------------	---

## [記録メディア]

- メモリースティック、SDカード  
• 詳細は「使用できるメモリーカード」(62ページ)をご参照ください。

## [入/出力端子]

マルチ/マイクロUSB端子\*

USB通信 Hi-Speed USB (USB 2.0)

HDMI端子

HDMIタイプD マイクロ端子

●(マイク)端子

Ø 3.5 mmステレオミニジャック

\* この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

## [電源]

バッテリー

リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1

消費電力(撮影時)

ファインダー使用時：約2.7 W

モニター使用時：約2.5 W

## [その他]

Exif Print

対応

DPOF

対応

PRINT Image Matching III

対応

外形寸法

113.3 mm×65.4 mm×72 mm (幅×高さ×奥行き、突起部を除く)

本体質量

約507 g (バッテリー、メモリースティック PRO デュオを含む)

約480 g (本体のみ)

動作温度

0°C~40°C

## [ワイヤレスLAN]

対応規格

IEEE 802.11 b/g/n

使用周波数帯

2.4 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) /マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

NFC

NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

Model No. WW843944

## バッテリーチャージャー BC-DCX

定格入力	DC 5 V
定格出力	DC 4.2 V、0.86 A
動作温度	0°C～40°C
保存温度	-20°C～+60°C

## ACアダプター AC-UUD11/AC-UUD12

定格入力	AC100 V～240 V、50 Hz/60 Hz、0.2 A
定格出力	DC 5 V、1.5 A

## リチャージャブルバッテリーパック NP-BX1

使用電池	リチウムイオン蓄電池
最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.6 V
容量	4.5 Wh (1 240 mAh)

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

### 画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

## 商標について

- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™ および Blu-ray™ はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、シスコの登録商標または商標です。
- iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- Facebook、「f」ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Eye-Fiは、Eye-Fi, Incの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

LITHIUM ION  TYPE

 MEMORY STICK  
 SD XC<sup>TM</sup> CLASS 4

 HDMI<sup>®</sup>  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

 AVCHD  
Progressive

  XAVC S

# 安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

## 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプター・バッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

## 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見るることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

## 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

## 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

## 機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品やメモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

## 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。



指示

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

## 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

## フラッシュやAF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けてない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

## カメラのファインダーやレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。



禁止



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

### 長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくとも皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- ・ 気温の高い環境でご使用になる場合。
- ・ 血行の悪いかた、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

### ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

### フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

### ワイヤレス機能ご使用上のご注意

#### 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

#### 航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

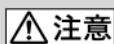
#### 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

困ったときは／本機について



△注意



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

## 水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

## 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

## コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

## 通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

## 使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

## 長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



スラグをコンセントから抜く

## フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。



禁止

## レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

## 電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

## 直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。



禁止

**△危険 電池についての  
安全上のご注意とお願い**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや  
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事  
項をよくお読みください。



- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



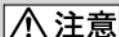
禁止



- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止



- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。



指示

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になつたり  
チウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テー  
プを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。



**Li-ion**

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、

一般社団法人JBRCホームページ

<http://www.jbrc.com/> を参照してください。

困ったときは／本機について

# 索引

## ア行

アイコン一覧	28
アイセンサー	21
アイピースカップ	26
赤目軽減発光	122
アクセスポイント簡単登録	204
アクセスポイント手動登録	204
圧縮率	143
アップロード設定(Eye-Fi)	194
後幕シンクロ	122
位相差AFエリア表示	103
一覧表示	167
イメージセンサー	98
イラスト調	134
色温度(ホワイトバランス)	140
色空間	157
印刷	172
インデックス	167
エクストラファイン	144
エリア設定	65
オートHDR	131
オートスローラシャッター	160
オートフォーカス	97, 108
オートフレーミング	148
オートホワイトバランス	139
オートモード	75
オートレビュー	181
お手入れ	232
おまかせオート	75
主な仕様	247
音声記録	165
音声レベル表示	165
音量設定	50, 71

## カ行

JP 絵画調HDR	134
-----------	-----

回転	169
顔検出	145
拡大	166
拡張フレキシブルスポット	100
画質	143
カスタムキー(再生)	186
カスタムキー(撮影)	183
カスタム(ホワイトバランス)	140
画像サイズ	142
カメラ内ガイド	54
画面表示	28, 92, 93
カラーフィルター(ホワイトバランス)	140
感度	127
管理ファイル修復	193
機器名称変更	49
強制発光	122
記録画像の回転表示	170
記録可能枚数	243
記録設定(動画)	161
記録方式(動画)	161
クイックナビ	33
グラフィック表示	94
クリエイティブスタイル	135
グリッドライン	181
黒つぶれ	95
蛍光灯:温白色(ホワイトバランス)	139
蛍光灯:昼光色(ホワイトバランス)	139
蛍光灯:昼白色(ホワイトバランス)	139
蛍光灯:白色(ホワイトバランス)	139
結露	233
言語	14
高感度NR	155

個人顔登録	147
コンティニュアスAF	97
コンティニュアスAFエリア表示	103
コントラスト	137

## サ行

再生	71, 166
彩度	137
削除	73, 174, 191
削除確認画面	51
撮影可能枚数	243
撮影モード	74
シーンセレクション	77
自動発光	122
視度調整	25
絞り	84
絞り優先	84
シャープネス	137
シャッタースピード	85
シャッタースピード優先	85
シャッター半押しAEL	46
充電	55
情報表示なし	92
初期化	191
初期値	53
白とび	95
シングルAF	97
人物ブレ軽減	79
水彩画調	134
水準器	94
スイングパノラマ	80
ズーム	152, 166
ズーム設定	153
スクロール再生	82
スタイルポックス	135
スタンダード	144
スポーツ	77
スポット測光	114
スマートズーム	153

スマートテレコンバーター	152
スマートフォン転送	200
スマイル検出感度インジケーター	150
スマイルシャッター	150
スライドショー	169
スローシンクロ	124
静止画撮影	68
ゼブラ	112
セルフタイマー	115
全画素超解像ズーム	153
全情報表示	94
操作音	51
速度優先連続撮影	115
測光インジケーター	88, 118
測光モード	114
ソフトウェア	208, 209, 211
ソフトハイキー	133
ソフトフォーカス	133

## タ行

ダイヤル/ホイールロック	48
太陽光(ホワイトバランス)	139
タイルメニュー	38
ダイレクトマニュアルフォーカス	107
縦記録画像の再生	170
縦横比	143
中央重点	114
中央(フォーカスエリア)	100
中央ボタン押しロックオンAF	101
調光補正	126
長秒時NR.	155
著作権情報	189
定常光	46, 111, 118
ディスク作成	217
ディスプレイ	92
デジタルズーム	153
手ブレ防止	66
手持ち夜景	78

デモモード	51	パワーセーブ	188
テレビ鑑賞(Wi-Fi)	48	パワーセーブ開始時間	188
テレビやモニターにつなぐ	176	半押し	68
電球(ホワイトバランス)	139	ピーキング	105
電子音	51	ピーキング色	105
電池	55, 238	ピーキングレベル	105
トイカメラ	133	日陰(ホワイトバランス)	139
動画	70, 158	ピクチャーエフェクト	133
動画音声記録	165	飛行機モード	48
動画記録設定	161	ヒストグラム	95
動画記録方式	161	日付	65
同時ビデオ記録	163	日付書き込み	188
登録	196	日付ビュー	166
登録呼び出し	197	日付プリント	173
時計合わせ	65	瞳AF	108
ライブモード	115	美肌効果	146
曇天(ホワイトバランス)	139	ビューモード	166
<b>ナ行</b>			
日時設定	65	表示画質	187
認証マーク表示	53	表示切り替え	92, 93
ネットワーク設定リセット	49	ピント	97
ノイズリダクション	128, 155	ピント拡大	106
<b>ハ行</b>			
バージョン表示	198	ピント拡大時間	44
パートカラー	133	ファイル番号	191
ハイコントラストモノクロ	133	ファイン	144
背面モニター	92, 93	ファインダー	25, 92
パソコン	208, 209, 211, 212	ファインダー明るさ	187
パソコン保存(Wi-Fi)	203	ファインダー色温度	50
発光禁止	122	ファインダー撮影用 (背面モニター)	93
バッテリー	55, 238	ファインダー / モニター切換設定	188
バッテリー残量	59	ファンクションボタン	36
パノラマ	80	ファンクションメニュー設定	37
パノラマ : 画像サイズ	142	風音低減	165
パノラマ再生	82	風景	77
パノラマ : 撮影方向	82	フォーカスエリア	100
JPパルプ撮影	89	フォーカス表示	98
		フォーカスモード	97
		フォーカスロック	99
		フォーマット	191

フォルダー形式	192
フォルダー新規作成	193
フォルダー選択	192
フォルダービュー	166
ブライトモニタリング	185
ブラケット	117
ブラケット設定	119
フラッシュブラケット	118
フラッシュ (ホワイトバランス)	139
フラッシュモード	121, 125
ブラビアリンク	179
プリAF	103
プリント	172
プリント指定	172
フレキシブルスポット	100
プレミアムおまかせオート	75
プログラムオート	83
プロテクト	171
ヘルプガイド	242
ポートレート	77
ポスタリゼーション	133
ポップカラー	133
ボリューム	50
ホワイトバランス	138
ホワイトバランスブラケット	117

## マ行

マーカー設定(動画)	182
マーカー表示(動画)	182
マクロ	69
マスクストレージ	212
マニュアルシフト	88
マニュアルフォーカス	104, 108
マニュアル露出	87, 160
マルチ	114
マルチインターフェースシュー	23
マルチショットNR	128
ミニチュア	134
ムービー	70, 158

メディア残量表示	52
メニュー	38
メモリーカード	61, 62, 191, 236
メモリーカードなしレリーズ	181
モードダイヤルガイド	75
モニター	92
モニター明るさ	186
モニター表示	28
モニターミュート	185

## ヤ行

夜景	78
夜景ポートレート	78
夕景	78
横縦比	143

## ラ行

ライブビュー表示	96
リッチトーンモノクロ	134
レトロフォト	133
連写	115
レンズ補正(周辺光量)	190
レンズ補正(倍率色収差)	190
レンズ補正(歪曲収差)	190
連続撮影	115
ロー	143
ローパスフィルター効果	120
ローパスフィルターブラケット	117
録音レベル	164
露出設定ガイド	45
露出補正	110
露出補正值のリセット	111
露出補正の影響	111

## ワ行

ワイド(フォーカスエリア)	100
ワイヤレス(フラッシュモード)	123
ワントッチ(NFC)	199

## 数字/アルファベット順

1枚撮影	115	M	87
1枚ブラケット	117	MACアドレス表示	49
4K静止画再生	180	MENU	38
A	84	MF	104, 108
AdobeRGB	157	MFアシスト	107
AEL	113	MOVIE	70, 158
AEロック	113	MOVIE (動画)ボタン	48, 70
AF-C	97	MP4	161
AF-C時の優先設定	104	MR	196
AF/MFコントロール	108	MTP	212
AF-S	97	NFC	199
AF-S時の優先設定	104	P	83
AF補助光	102	PCリモート	212
AUTO	68, 75	PlayMemories Camera Apps	205
AVCHD	161	PlayMemories Home	209
AVCHDビュー	166	PlayMemories Mobile	199
DISP	92	RAW	143
DISPボタン(背面モニター)	92	RAW+J	143
DISPボタン(ファインダー)	92	RAW記録方式	144
DMF	107	Remote Camera Control	211
DPOF指定	172	S	85
DRO/オートHDR	130	SCN	77
DROブラケット	117	sRGB	157
Dレンジオプティマイザー	130	SSID・PWリセット	49
Eye-Fi	194	STD	144
FINDER/MONITOR	188	USB	212
FINE	144	USB LUN設定	213
Fn	36, 37	USB給電	52
HDMI	176	USB接続	212
HDMI解像度	178	WB	138
HDMI機器制御	178	Wi-Fi	199
HDMI設定	178	XAVC S	159, 161
HDR	130	XAVC S HD	161
Image Data Converter	208	XAVC S HDビュー	166
ISO AUTO低速限界	128	X.FINE	144
ISO感度	127		
JPEG	143		





